

YAMAHA

MUSIC ACCOMPANIMENT PLAYER

**QR10**

OWNER'S MANUAL

取扱説明書

## はじめに

このたびは、ヤマハ ミュージック アカンパニメント プレーヤー QR10をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

QR10は、これ一台さえあれば、ひとりで手軽にセッションが楽しめて、作曲や編曲もできるという、伴奏にもってこいのシーケンサーです。

QR10のバラエティあふれる機能を駆使して演奏をお楽しみいただくために、是非この取扱説明書をご活用いただきますようご案内申し上げます。

また、ご一読いただいた後も不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

### 付属品

単3乾電池 (×6)

取扱説明書

保証書

## この取扱説明書の見方

この取扱説明書は、QR10の機能や操作方法を、細かなステップに分けてわかりやすく説明しています。順を追って読みながら、実際に各機能にトライしてみましょう。

また、以下の通り目的に応じてお読みになるのも良いでしょう。

### とりあえず音を聴いてみる

「まず鳴らしてみよう」(→P12)を見る。

### ボタンのはたらきがわからなくなったとき

「各部の名称とはたらき」(→P8)を見る。





もっと詳しく知りたいときは、各ボタンの説明のところに記載してある参照ページを見る。

### 個々の機能がわからなくなったとき

「目次」(→P3)や「索引」(→P73)を見る。

## 表記について

この取扱説明書では、それぞれの機能を説明する上で、以下のアイコンを使用しています。

記号	意味
	その機能を使うための具体的な操作を説明しています。
	その機能に関する補足説明や、使用上のヒントを説明しています。
 注意	その機能を使う上での注意を示しています。
	その操作を行うことによって、データが消えたり、QR10本体や接続した外部機器が破壊される恐れがあることを示しています。

# 目次

<b>1. ご使用前に</b>		<b>5. パターンモード</b>	
1. QR10の特長	4	1. パターンプレイ (パターンの演奏)	38
2. ご使用上の注意	5	パターンナンバーの選択	39
3. QR10のしくみ	7	パターンのスタート/ストップ	39
<b>2. 各部の名称とはたらき</b>		セクションの選択	40
1. 操作パネル	8	トラックのミュート (音を消す)	40
2. サイドパネル	10	コードの選択	40
3. リアパネル	10	2. パターンレコード (パターンの録音)	41
4. 底面	11	ユーザーパターンの録音	41
<b>3. まず鳴らしてみよう</b>		パターンナンバーの選択	41
1. デモ曲を聴いてみよう	12	コードの設定	42
2. ソングを聴いてみよう	13	セクションの選択	42
3. パターンを聴いてみよう	14	ボイスの選択	43
初期化 (工場出荷時の状態に戻す) の方法	16	テンポの設定	43
<b>4. ソングモード</b>		クオンタイズの設定	43
1. ソングプレイ (ソングの演奏)	17	拍子の設定	44
ソングナンバーの選択	18	小節数の設定	45
ソングのスタート/ストップ	18	録音の開始と終了	45
フレーズの演奏	19	データのデリート (削除)	46
フレーズタイプの選択	19	練習 (ユーザーパターンの録音)	46
トラックのミュート (音を消す)	20	パターンの各トラックの録音にトライしてみよう	46
2. ソングレコード (ソングの録音)	20	リズムトラックを録音します	47
アカンパニメントトラックの録音	20	ベーストラックを録音します	48
ソングナンバーの選択	21	コードトラックを録音します	48
アカンパニメントトラックの選択	21	コンビネーションパターンの録音	49
録音するパターンの選択	21	3. パターンジョブ (その他の機能)	51
テンポの設定	22	ボリュームの設定	51
最初のセクションとコードの選択	22	パターンのコピー	52
コードの録音 (リアルタイム録音)	24	パターンのクリア (消去)	53
コードの録音 (コードプログレス録音)	25	スイングの設定	54
メロディトラックの録音	26	<b>6. システム機能について</b>	
ソングナンバーの選択	26	サンプリングボイスの録音	55
メロディトラックの選択	27	ボイスナンバーの選択	55
ボイスの選択	27	サンプリング時間の設定	56
クオンタイズの設定	27	サンプリング開始	56
メロディの録音	28	MIDI機能	57
データのデリート (削除)	29	MIDIバルクダンプ	57
アカンパニメントトラックの		MIDIバルクレシーブ	58
各データの削除	29	MIDIシンクの設定	58
メロディトラックの		MIDI ABC機能	59
各データの削除	30	MIDI ABCゾーンのON/OFF	59
3. ソングジョブ (その他の機能)	30	MIDI ABCゾーンの最低音の設定	60
ボリュームの設定	30	MIDI ABCゾーンの最高音の設定	60
ソングのコピー	31	フットスイッチ機能	61
ソングのクリア (消去)	32	フレーズタイプの選択	62
ソングのリピート (繰り返し)	33	トランスポーズ	63
練習 (アカンパニメントトラック) の録音	34	入力レベルの設定	63
コード進行の録音にトライしてみましよう	34	<b>7. 資料</b>	
それでは実際の手順に沿って説明します	34	1. 仕様	64
いよいよ録音開始です	36	2. プリセットパターン&ソングリスト	65
間違えたら	36	3. ボイスリスト	66
コードプログレスを使ってタイミングを合わせます	36	4. ドラム・キアサインリスト	67
間違えたとき	37	5. 故障かな?と思ったら	68
最後にエンディングを入力します	37	6. エラーメッセージとその対応	69
		7. MIDIデータフォーマット	70
		8. MIDIインプリメンテーションチャート	72
		9. 50音順索引	73
		サービスについて	74

# 1. ご使用の前に

## 1. QR10の特長

- ・すべてのミュージックジャンルをカバーする50種類のプリセットパターンと、50種類のプリセットソング——ヤマハの誇るABC（オートベースコード）機能で、いつでも、どこでも、一人でも、QR10のバックキングで気軽にセッションが楽しめます。（→P15、24）
- ・むずかしいコードだって、QR10におまかせ。ポンとボタンを押すだけで、24種類のコードが選べます。キーボードの経験が無くても安心です。おまけに、コードの構成音がディスプレイに表示されるというスグレモノです。（→P15）
- ・100種類のメロディックなフレーズで、あなたもQR10の演奏に仲間入り——演奏を愉快地に盛り上げます。（→P19）
- ・自分でプログラムできるユーザーエリアも充実——ユーザーパターンや40種類のコンビネーションパターンで、あなただけのパターンを作りましょう。また、ユーザーソングで、パターンにメロディ演奏を加え、作・編曲することも自由自在です。（→P28、41）
- ・録音するといってもコード入力のタイミングがむずかしいからね——なんて心配は、もう過去のもんです。QR10のコードプログレス機能を使えば、簡単にコード録音のタイミングをあとで修正できます。（→P25）
- ・音源は、もちろん、ヤマハの誇るリアルなAWM（Advanced Wave Memory）音源——楽器音をサンプリングした69種類の音色と60種類のドラム／パーカッションサウンドが自慢です。（→P66、67）このほかに、自分の声や身のまわりの音を自由にQR10の音源として使えるボイスサンプリング機能も付いています。あなただけのユニークな演奏にチャレンジして、明日からあなたも人気者。（→P55）
- ・乾電池と電源アダプターの2ウェイ電源方式で、スピーカーも内蔵されているので、いつでも、どこでも、気軽に演奏が楽しめます。（→P5、11）
- ・わかり易く体系的な液晶ディスプレイで、操作もスピードアップ——スムーズな音楽制作が実現します。
- ・このほかにも、あなたの音楽の世界を広げる機能が満載——取扱説明書を読みながら、すべての機能を確かめましょう。
  - MIDI（→P57）
  - スイング（パターン：→P54）
  - リピート（ソング：→P33）
  - トランスポーズ（→P63）

## 1. ご使用の前に

### 2. ご使用上のご注意

QR10は精密機器です。いつまでもご使用いただくために、次の注意を守り、大切にお取り扱いください。



#### 設置場所について

次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・ 窓際などの直射日光のあたる場所や、窓を閉め切った自動車内、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・ 温度の特に低い場所
- ・ 湿気やホコリの多い場所
- ・ 振動の多い場所



#### お取り扱いについて

- ・ スイッチや端子に、過度の圧力を加えないでください。
- ・ コード類をはずすときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ・ 移動するときは、接続コードをはずした状態で行なってください。



#### 外装のお手入れについて

お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどいときは少し（微量）水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。



#### 電源について

QR10は電源として、単3電池（6本）もしくは別売の電源アダプターをご利用いただけます。

電池が消耗した場合は（画面に“Err04”と表示されます）、すみやかにすべて同じ種類の新しい電池と交換してください。

電源アダプターでご使用になる場合は、必ず別売のヤマハ電源アダプター PA-3 をご使用ください。

PA-3以外の電源アダプターを使用すると、故障の原因になる場合があります。

また、長時間ご使用にならないときは、電源アダプターをはずしてください。

データバックアップ用の内蔵リチウム電池が消耗した場合は（画面に“Err09”と表示されます）、ヤマハ特约店、もしくは巻末の弊社電気音響製品サービス拠点に電池交換をお申し出ください。



#### 他の電気機器への影響

QR10はデジタル回路を多く使用しているため、近くのテレビやラジオに雑音などが生じることがあります。この場合は十分に距離を離してお使いください。



#### 改造について

QR10を改造したり、内部を開けたりすることは、事故や故障につながりますので絶対におやめください。改造された後の保証はいたしかねます。



**落雷に対する注意**

落雷などの恐れがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。



**保証書の手続き**

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを取ってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただく場合がありますので、充分ご注意ください。



**保管**

取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

●音楽を楽しむエチケット●



これは日本電子機械工業会“音のエチケット”キャンペーンのロゴマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。

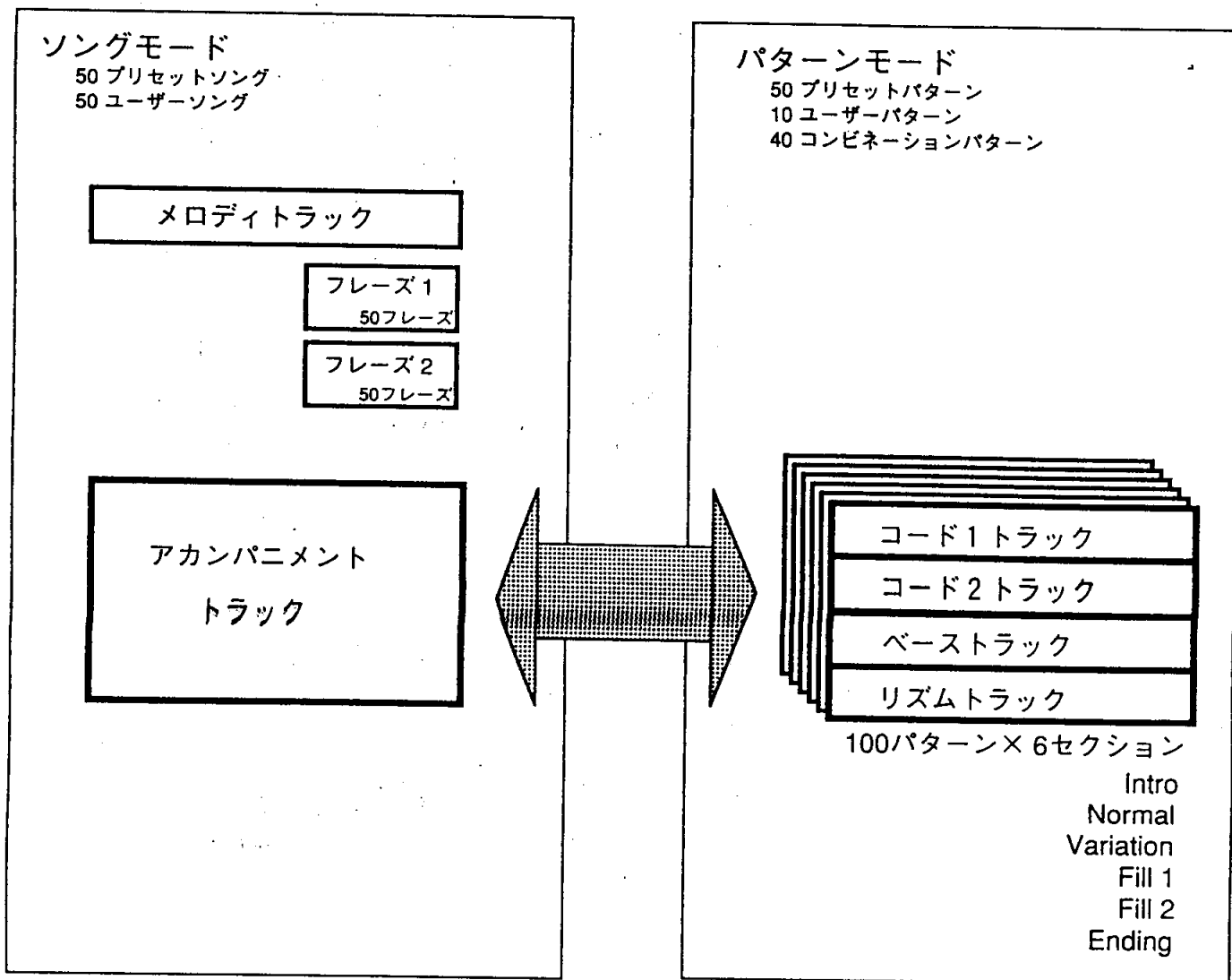
静かな夜間は小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。

適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

# 1. ご使用の前に

## 3. QR10のしくみ



ソングモードは、アカンパニメントトラック、メロディトラック、フレーズ1、フレーズ2で構成されています。

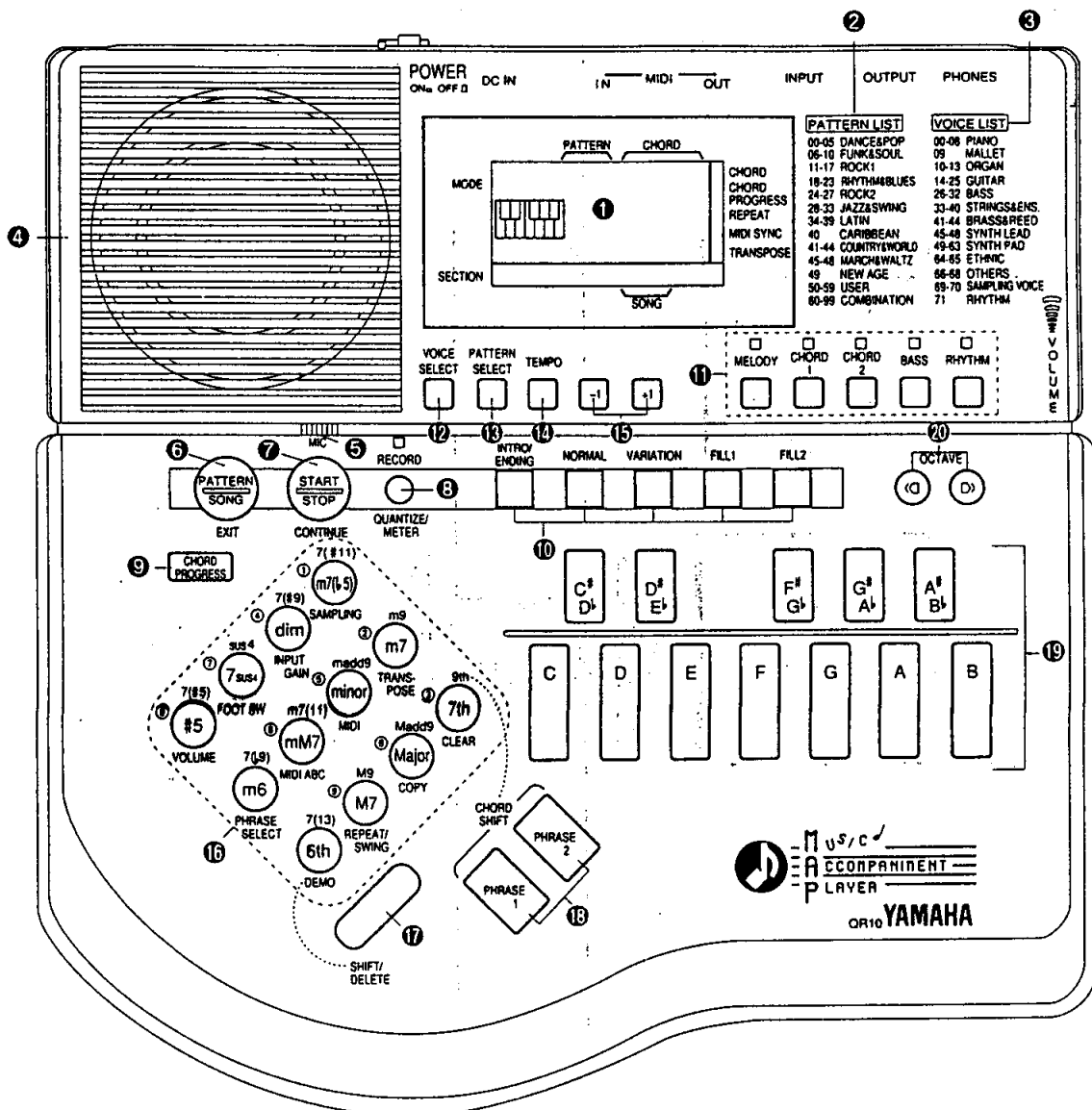
アカンパニメントトラックには、コード進行、パターンやセクションの切り替えなどを録音し演奏することができます。

メロディトラックには、メロディ、フレーズ1、フレーズ2を録音し演奏することができます。

パターンモードは、アカンパニメントトラックを更に4つのトラック（コード1、コード2、ベース、リズム）に分け、セクションごとに、各トラックに録音し演奏することができます。

## 2. 各部の名称とはたらき

### 1 操作パネル



#### ① ディスプレイ

- ・モード、セクション、パターンナンバー、ソングナンバー、コードネーム、コードの構成音、その他の機能名やデータを表示します。

- ・ディスプレイの右側に示された機能がオンのときは、それぞれ **|** マークが表示されます。

**| CHORD:** ミニ鍵盤でコードルートが選択できます。MIDI ABC が機能します。

**| CHORD**

**| PROGRESS:** コードプログレスがオンになっています。

**| REPEAT:** リピートがオンになっています。

**| MIDI SYNC:** MIDI シンクがオンになっています。

**| TRANSPOSE:** トランスポーズが設定されています。

#### ② PATTERN LIST (パターンリスト: →P65)

- ・パターンの一覧表です。巻末に全パターンを載しています。

#### ③ VOICE LIST (ボイスリスト: →P66)

- ・ボイス (音色名) の一覧表です。巻末に全ボイスを掲載しています。

#### ④ スピーカー

- ・モニター用のスピーカーです。

#### ⑤ MIC (マイク: →P56)

- ・サンプリング録音に使用します。



## 2. 各部の名称とはたらき

### ⑥ PATTERN/SONG

(パターン/ソング:→P13、14)

- ・パターンモードとソングモードを切り替えます。
- ・また、EXIT (エグジット) ボタンとしても使用します。いろいろな状態 (たとえば録音状態など) から抜けるときに、このボタンを押します。

### ⑦ START/STOP (スタート/ストップ:→P18、39)

- ・ボタンを押すたびに演奏をスタート/ストップします。
- ・また、CONTINUE (コンティニュー) ボタンとしても使用します。SHIFT (シフト) を押しながらSTART/STOPを押すと、ストップしたところからコンティニュー (継続) スタートができます。

### ⑧ RECORD (レコード:→P21、27、42、43)

- ・パターン、ソングのレコードに使用します。
- ・また、QUANTIZE/METER ボタンとしても使用します。SHIFT (シフト) を押しながらRECORDを押すと、クオンタイズ、拍子記号、小節数の設定ができます。

### ⑨ CHORD PROGRESS

(コードプログレス:→P25)

- ・ソングモードで、コードの変わるタイミングを自由に変更することができます。

### ⑩ セクションボタン (→P23)

- ・各パターンを構成する以下の6つのセクションを選択することができます。

INTRO (イントロ) / ENDING (エンディング)

NORMAL (ノーマル)

VARIATION (バリエーション)

FILL 1 (フィル1)

FILL 2 (フィル2)

演奏中に、自由に各セクションを選ぶことができます。

### ⑪ トラックボタン (→P20、40)

- ・5つのトラックを選択することができます。

MELODY (メロディ)

CHORD 1 (コード1)

CHORD 2 (コード2)

BASS (ベース)

RHYTHM (リズム)

演奏中に、自由にトラックを選択して、オン/オフすることができます。

### ⑫ VOICE SELECT (ボイスセレクト:→P27、43)

- ・各トラックで使用するボイスナンバーを選択します。

### ⑬ PATTERN SELECT (パターンセレクト:→P21、39)

- ・パターンやソングで使用するパターンナンバーを選択します。

### ⑭ TEMPO (テンポ:→P22、43)

- ・演奏や録音の速さを設定します。

### ⑮ [-1] [+1] (→P12、18、33)

- ・パターンナンバーやソングナンバーを選択したり、テンポやボリュームなどの数値を増減します。[-1] [+1]を押し続けると、数値が連続して変化します。
- ・ソングモードで、SHIFT (シフト) を押しながら[-1] [+1]を押すと、ソングの途中の小節が選べ、その小節から演奏をスタートすることができます。
- ・また、いろいろな機能のオン ([+1]) オフ ([-1]) にも使用します。

### ⑯ 数字/コードタイプボタン (→P12、15、55)

- ・[-1] [+1]ボタンと同じように、パターンナンバーやソングナンバーを選択したり、テンポやボリュームなどの数値を設定します。
- ・ボタンに印刷された12種類のコードタイプを選択することができます。また、CHORD SHIFT (コードシフト) を押しながら数字/コードタイプボタンを押すと、ボタンの上部パネルに印刷された別の12種類のコードタイプを選択することができます。
- ・SHIFT (シフト) を押しながら数字/コードタイプボタンを押すと、ボタンの下部パネルに印刷してある13の機能 (システム機能) を呼び出すことができます。

を掲

ボイ

## 2. 各部の名称とはたらき

### ⑰ SHIFT/DELETE (シフト/デリート：→P12、29、46)

- ・上記の各項目で説明したように、それぞれのボタンの副機能を選択するときに使用します。(たとえば、SHIFT+数字/コードタイプボタン)
- ・録音状態で、SHIFT/DELETEを使用して、入力ミスしたデータを削除することができます。

### ⑱ PHRASE 1、2 (フレーズ 1、2：→P19)

- ・ソング演奏中にPHRASE 1、2のパッドを押して、メロディックな装飾音のフレーズパターンを加え、演奏に彩りをそえることができます。PHRASE パッドを押している間、フレーズパターンは繰り返し演奏されます。

- ・また、CHORD SHIFT (コードシフト：→P16)としても使用します。

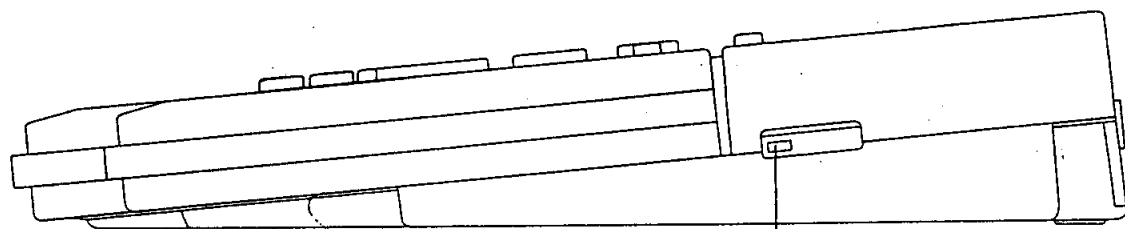
### ⑲ ミニ鍵盤 (→P15、28)

- ・コードのルートを設定したり、メロディを演奏することができます。

### ⑳ OCTAVE (オクターブ：→P27)

- ・ミニ鍵盤の音程を上下に2オクターブ移動することができます。

## 2 サイドパネル

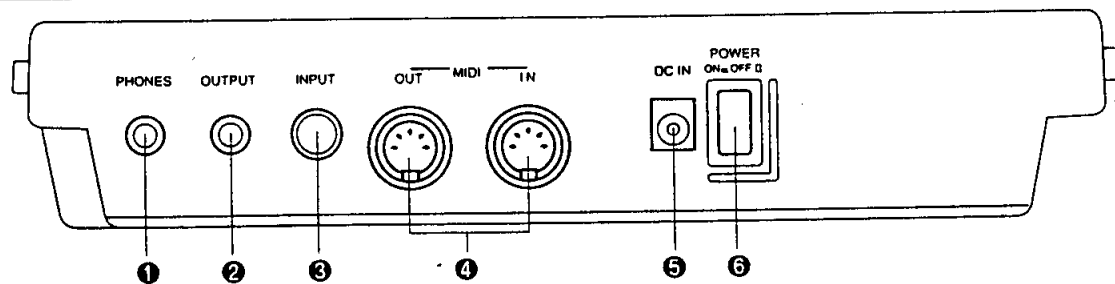


VOLUME (ボリューム)  
小 ← 大

### ① VOLUME

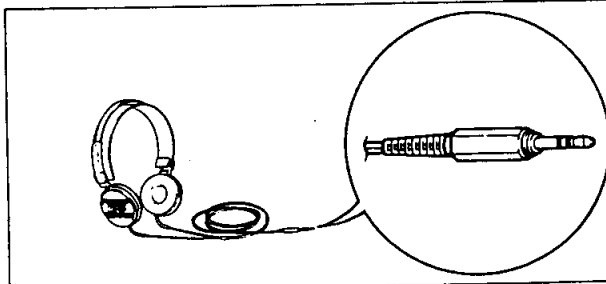
- ・音量を調節します。  
手前に引くと音量が下がります。

## 3 リアパネル



### ① PHONES

- ・ステレオミニプラグ仕様のヘッドフォンを接続します。  
適当な音量でお楽しみください。
- ・プラグを差し込むとスピーカーの音はオフになります。



## 2. 各部の名称とはたらき

### ② OUTPUT

- ・ QR10 の音を外部の機器で鳴らします。ステレオミニプラグを使用します。

### ③ INPUT

- ・ 外部音声入力として、マイク、ギター、キーボード、ステレオなどの信号を入力します。フットスイッチの接続も兼用になっています。

### ④ MIDI IN/OUT

- ・ 他の楽器や機器と接続して、MIDIの送受信をします。

### ⑤ DC IN

- ・ 電源アダプターPA-3 (別売) を接続します。



PA-3 以外の電源アダプターは絶対に使用しないでください。PA-3 以外の電源アダプターを使用すると、QR10 本体やアダプターに重大な損傷を与える恐れがあります。また、ご使用にならない時は、コンセントからプラグを抜いてください。

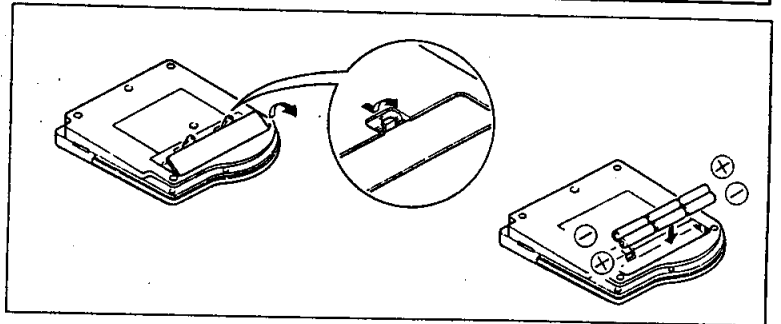
### ⑥ POWER (電源スイッチ)

- ・ 一度押すとオン、もう一度押すとオフになります。

## 4 底面

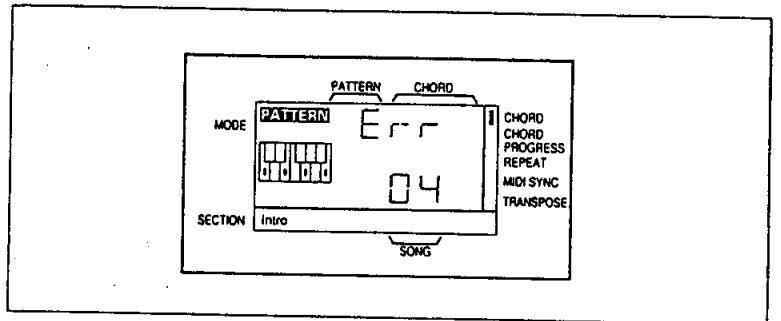
### 乾電池ホルダー

- ・ 単3乾電池を6本使用します。マンガン乾電池を使い最大音量でご使用の場合、乾電池寿命は約1時間です。また、同条件でアルカリ乾電池の場合は、約5時間です。別売の電源アダプターPA-3のご使用をお勧めします。



### 乾電池の交換

- ・ 乾電池が消耗すると、音が歪んだり、その後演奏や録音が突然ストップする場合があります。また、ディスプレイ上にはErr 04のメッセージが表示されます。更に乾電池が消耗すると、ディスプレイ上に意味の無い表示が現れます。6本すべて同じ種類の新しい乾電池と交換してください。

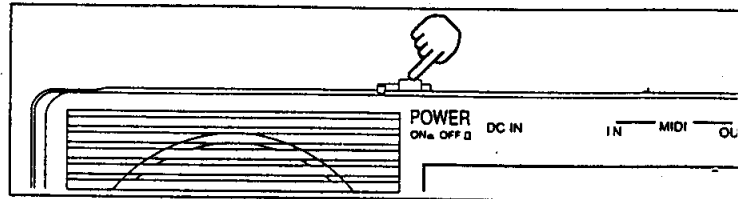


危険ですから、決して、種類の違う乾電池(たとえば、アルカリとマンガン)を混ぜないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜないでください。

# 3. まず鳴らしてみよう

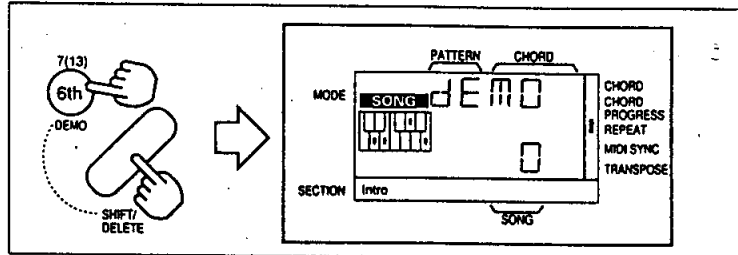
## 1. デモ曲を聴いてみよう

1 電源スイッチをオンにします。



2 [SHIFT]を押しながら[6th/DEMO]を押します。

ディスプレイ上にDEMO (デモ)が表示されます。デモ曲は3曲(0~2)入っています。

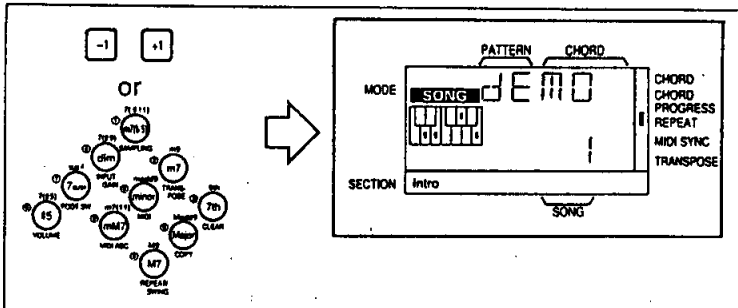


- デモ曲0：メロディとアカンパニメントで構成された完全な楽曲になっています。
- デモ曲1：QR10の特長の一つであるフレーズ機能の使い方の例を示した曲です。この曲のように、あなかもパネル上の[PHRASE 1][PHRASE 2]を押すことで、ソングの演奏に彩りをそえることができます。
- デモ曲2：QR10のプリセットソング50曲を順番に演奏します。

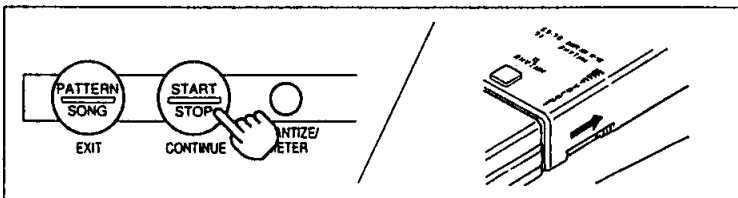
3 デモ曲のナンバーを[-1][+1]ボタンで選びます。



- 数字ボタンを押して、直接デモ曲のナンバーを選ぶこともできます。

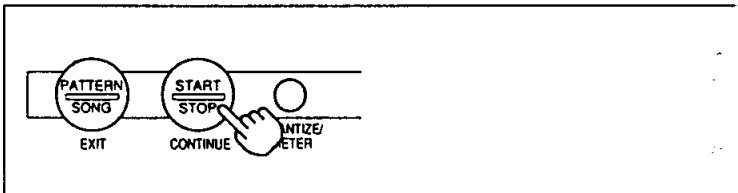


4 [START/STOP]を押して演奏をスタートします。サイドパネルのボリュームで、音量を調節してください。

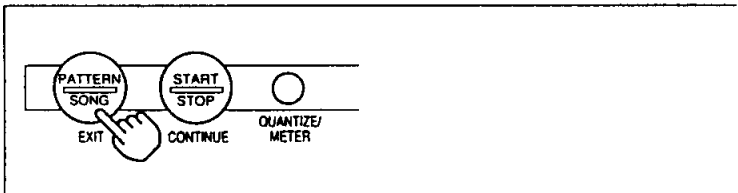


- デモ曲のナンバー0または1を選ぶと、もう一度[START/STOP]を押すまで0と1が交互に演奏されます。ナンバー2を選ぶと、もう一度[START/STOP]を押すまで2が演奏されます。

5 [START/STOP]をもう一度押して、演奏をストップします。

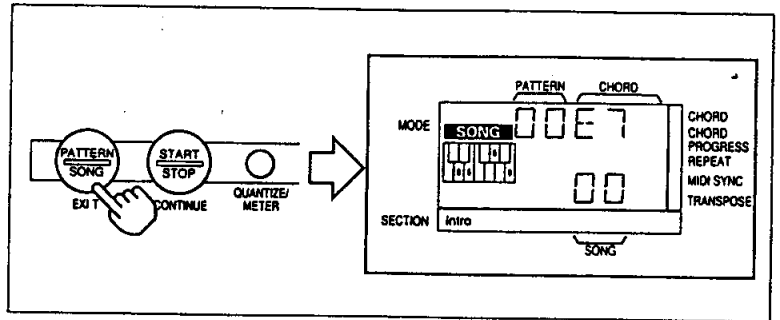


6 [EXIT] ([PATTERN/SONG])を押すとデモの画面から抜けます。

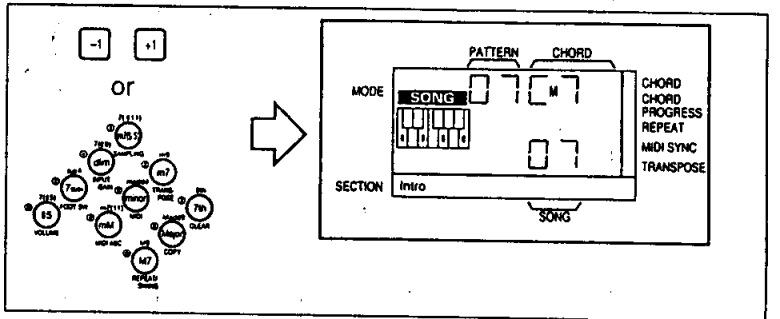


2. ソングを聴いてみよう

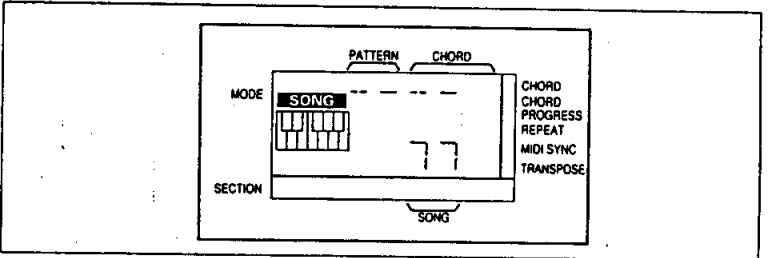
1 [PATTERN/SONG] を押して  
ソングモードを選択します。  
ディスプレイ上に **SONG**  
が表示されます。



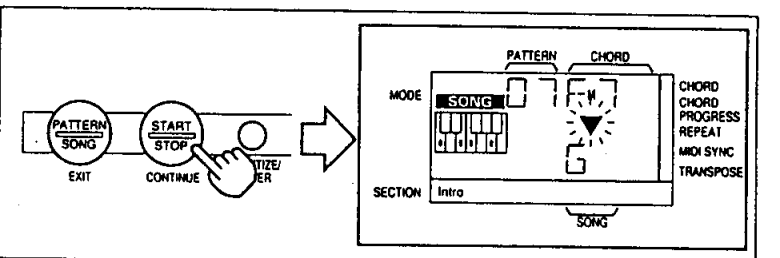
2 [-1] [+1] ボタンや数字ボタン  
を押して、ソングナンバーを  
選びます。  
演奏できるプリセットソング  
は、ナンバー 00~49 です。  
「プリセットパターン&ソング  
リスト」 (→P65) をご参  
照ください。



・ ソングナンバー50~99は録音用のユー  
ザーソングで、自分で録音するまでは  
なにもデータは入っていません。50~  
99のナンバーを選ぶと、ディスプレイ  
上になにもデータが入っていないこと  
を示す "-----" が表示されます。

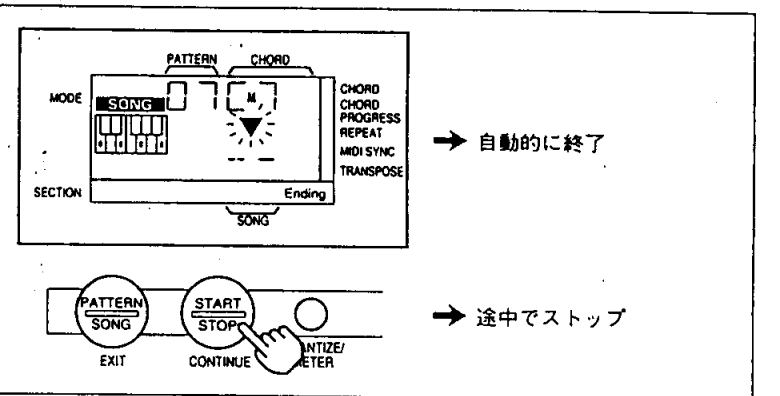


3 [START/STOP] を押して演奏  
をスタートします。



4 曲の最後までくると、エン  
ディングパターンが入って演  
奏が自動的に終了します。

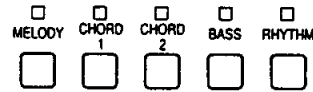
・ 演奏途中に [START/STOP] をもう  
一度押して、演奏をストップするこ  
ともできます。



### 3. まず鳴らしてみよう

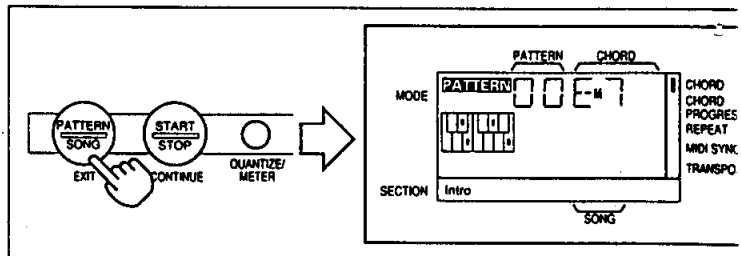


- ・ ソングの演奏を聴きながらパネル右上のトラックボタンをオン、オフして、曲の構成を調べてみましょう。
- ・ ソングモードには、この他にもいろいろな機能があります。詳細は「ソングモード」(→P17)をご参照ください。

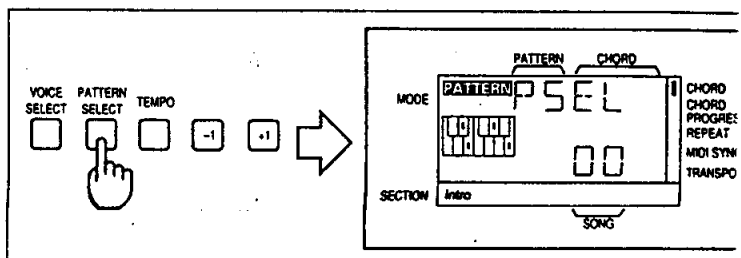


### 3. パターンを聴いてみよう

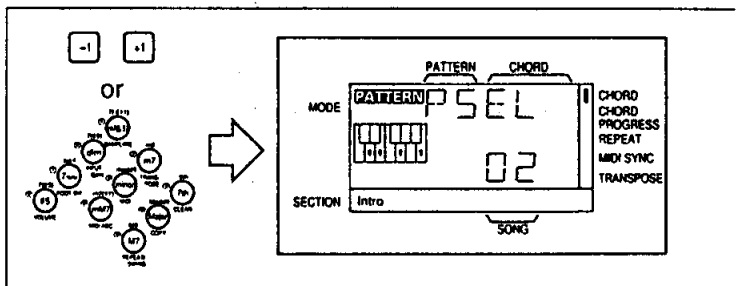
- 1 [PATTERN/SONG]を押してパターンモードを選択します。ディスプレイ上に**PATTERN**が表示されます。



- 2 [PATTERN SELECT]を押します。ディスプレイにPSELが表示され、パターンセレクト(選択)が可能になったことを示します。

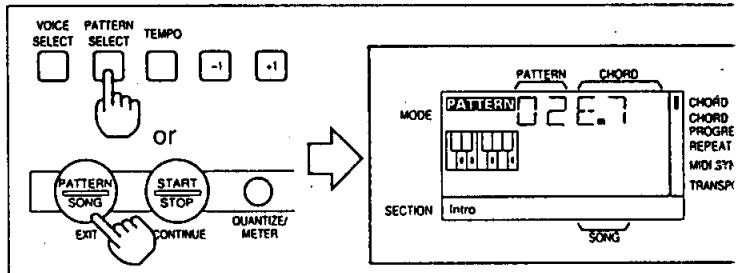


- 3 [-1] [+1] ボタンや数字ボタンを押して、パターンナンバーを選びます。演奏できるプリセットパターンは、ナンバー00~49です。パネルのパターンリストや「プリセットパターン&ソングリスト」(→P65)をご参照ください。



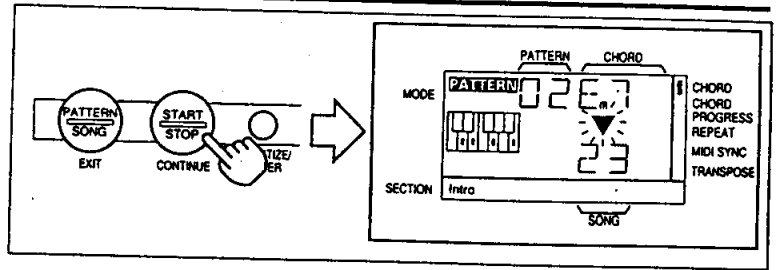
- ・ パターンナンバー 50~59 は録音用のユーザーパターンで、録音するまではなにもデータは入っていません。
- ・ パターンナンバー 60~99 は、自由に組み合わせを作ることができるコンビネーションパターンです。コンビネーションパターンにはあらかじめ00~39と同じものが割り当てられています。

パターンを選択したら、[PATTERN SELECT]をもう一度押すか、[EXIT]([PATTERN/SONG])を押してパターンセレクトの画面から抜けます。(パターンセレクトの画面のままパターンの演奏をスタートさせると、演奏を聴きながらパターンの選択ができます。)

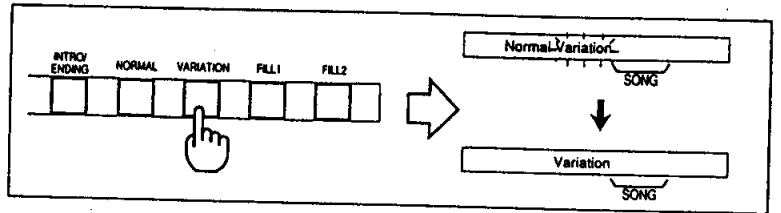


### 3. まず鳴らしてみよう

- 4 [START/STOP]を押して演奏をスタートします。



- 5 セクションボタンを押して、いろいろなセクションを試してみましょう。  
QR10のパターンは、INTRO、NORMAL、VARIATION、

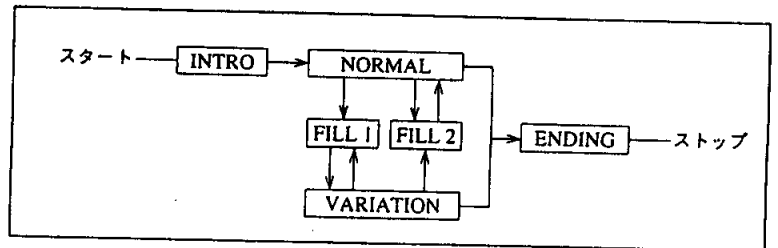


FILL1、FILL2、ENDINGの6つのセクションで構成されています。(INTROとENDINGのボタンは兼用で、押さえるたびに切り替わります。)

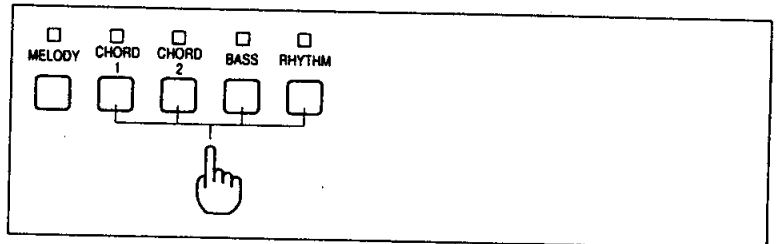
セクションが切り替わるとき、選ばれたセクション名が点滅します。



- 各セクションの関係は右図の通りです。(→P23)

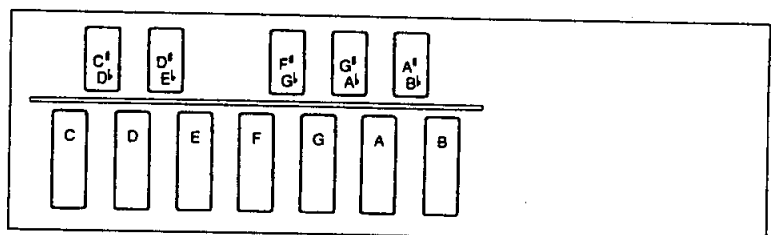


- 6 トラックボタンを押し、各トラックをミュート（音を消す）オン、オフして、パターンの構成を調べてみましょう。

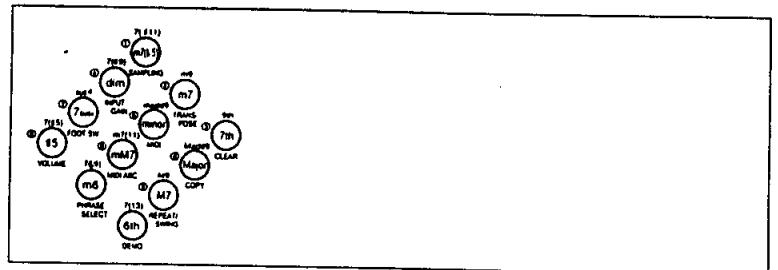


- パターンモードではメロディトラックは点灯しません。

- 7 ミニ鍵盤を押してコードルートを変えてみましょう。  
コードルート表示のある鍵盤を押さえるだけで、コードルートが変わります。

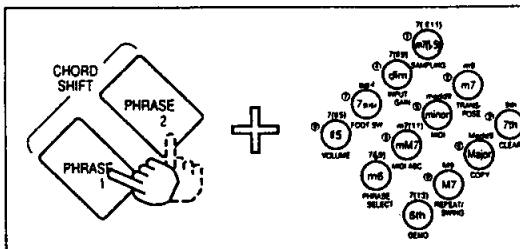


また、ボタンにコードタイプ名が印刷されたコードタイプボタンを押さえるだけで、12種類のコードを選ぶことができます。



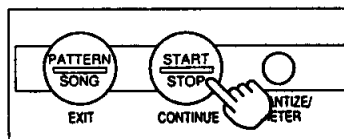
### 3. まず鳴らしてみよう

コードタイプボタンの上部パネルに印刷された別の12種類のコードを選ぶ場合は、どちらかの[CHORD SHIFT]を押しながら該当するコードタイプボタンを押してください。



- ・ パターン演奏がストップしている場合も、ミニ鍵盤を弾いてコードの種類を聴いて確かめることができます。

8 [START/STOP]をもう一度押して演奏をストップします。パターンは、ストップするまで繰り返し演奏されます。



- ・ パターンモードには、この他にもいろいろな機能があります。詳細は「パターンモード」(→P38)をご覧ください。

## 初期化 (工場出荷時の状態に戻す) の方法

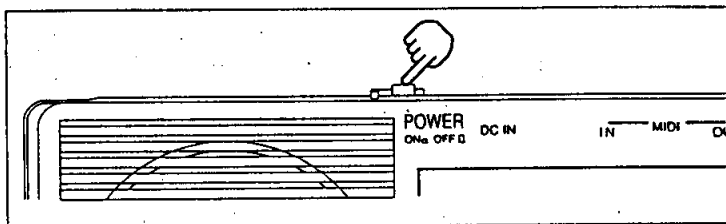
すべてのユーザーソングやユーザーパターンを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。



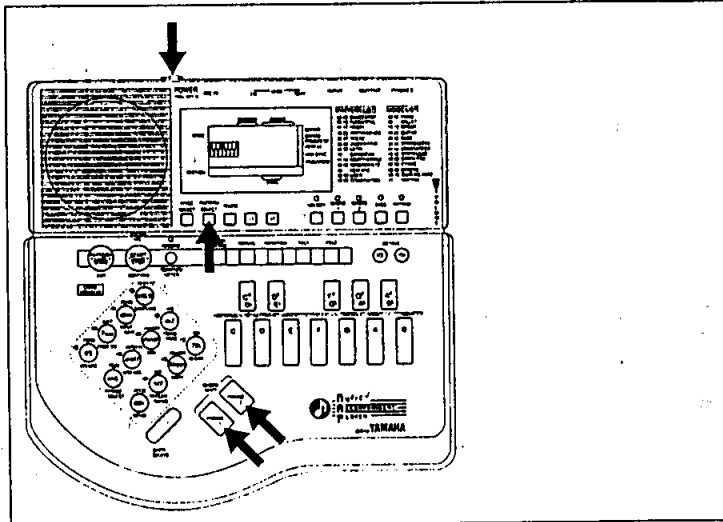
注意

- ・ この操作を行うと、あなたが作ったすべてのデータが消去されます。大切なデータは、この操作を行う前にMIDIデータファイラー MDF2などに保存してください。(→P57)

1 QR10の電源をオフにします。



2 [PHRASE 1]、[PHRASE 2]、[PATTERN SELECT]の3つのボタンを同時に押しながら、電源をオンにします。ディスプレイ上にINITが表示され、3つのボタンを離すと工場出荷時の状態に戻ります。





## 4. ソングモード

ソングナンバー [00~99] の100ソングがあります。

[00~49] はプリセットソングです。

いろいろなジャンルの曲が録音されています。

[50~99] は自分でプログラムできるユーザーソングです。

パターンモードのパターンにメロディやコードを付けてオリジナルソングを作ることができます。

(パターンモード参照→P38)

また、プリセットソングをコピーして、修正することでオリジナルソングを作ることができます。

- ・ ソングモードではソングを再生したり、コードを付けて録音します。
  - ・ ソングには次の3つのサブモードがあります。
1. ソングプレイ (ソングの演奏)
    - ・ ソングナンバーを選択して演奏を聴きます。
    - ・ ソングの演奏に合わせて、リアルタイムでメロディックなフレーズを演奏します。
  2. ソングレコード (ソングの録音)
    - ・ [50~99] のユーザーソングにメロディ、コード進行、フレーズなどを録音します。
    - ・ コードプログレス録音を行います。
  3. ソングジョブ (その他の機能)
    - ・ ボリュームの設定
    - ・ ソングのコピー (複写) [50~99]
    - ・ ソングのクリア (消去) [50~99]
    - ・ ソングリピート (繰り返し) の設定

### 1. ソングプレイ (ソングの演奏)

プリセットソングやユーザーソングを選んで演奏するモードです。[00~49] はプリセットソング、[50~99] はユーザーソングです。

プリセットソングを自由に演奏したり、ユーザーソングの演奏のしかたを色々試すことができるように、「ボイス」「パターン」「テンポ」「セクション」「ボリューム」を一時的に変更したり、トラックをミュートすることができます。

また、ミニ鍵盤やフレーズ機能を使用することで、QR10 の演奏にリアルタイムですばらしいパフォーマンスを加えることができます。

- ・ [VOICE SELECT] を押し、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、各トラックの音色を一時的に変えることができます。  
「ソングレコード ボイスの選択」を参照 (→P27)
- ・ [PATTERN SELECT] を押し、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、再生中のパターンを一時的に変えることができます。  
「ソングレコード 録音するパターンの選択」を参照 (→P21)
- ・ [TEMPO] を押し、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、演奏テンポを一時的に変えることができます。  
「ソングレコード テンポの設定」を参照 (→P22)
- ・ セクションボタンのいずれかを押し、セクションを一時的に変えることができます。  
「ソングレコード 最初のセクションとコードの選択」を参照 (→P22)
- ・ [SHIFT] を押しながら数字ボタンの①を押し、トラックごとのボリュームを表示させ、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、各トラックの音量を一時的に変えることができます。  
「パターンジョブ ボリュームの設定」を参照 (→P51)
- ・ フレーズボタンのいずれかを押し、フレーズ演奏を一時的に加えることができます。  
「ソングプレイ フレーズの演奏」を参照 (→P19)

## 4. ソングモード

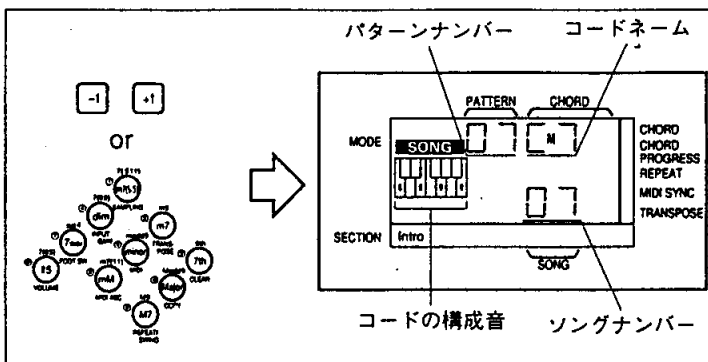
### ソングナンバーの選択



- ・ **PATTERN** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**SONG** を表示させます。

1 [-1] [+1] ボタンか数字ボタンで、ソングナンバーを選択します。

- ・ 現在選んでいるソングナンバーが表示されます。
- ・ 選んでいるソングに使用している、パターンナンバーとコードネームが表示され、左にコードの構成音が表示されます。

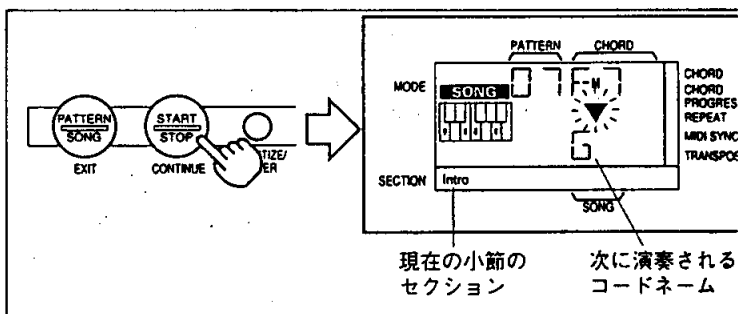


- ・ 演奏できるプリセットソングは 00~49 です。(プリセットパターン&ソングリスト参照→P65)
- ・ 50~99 のソングはユーザーソングです。ユーザーソングに録音されていない場合、50~99 を選択するとディスプレイに“-----”が表示されます。
- ・ メロディトラックだけ録音したソングを選んだ場合、画面 **SONG** の右には何も表示されません。



### ソングのスタート/ストップ

2 [START/STOP] を押し、ソングの演奏をスタートします。



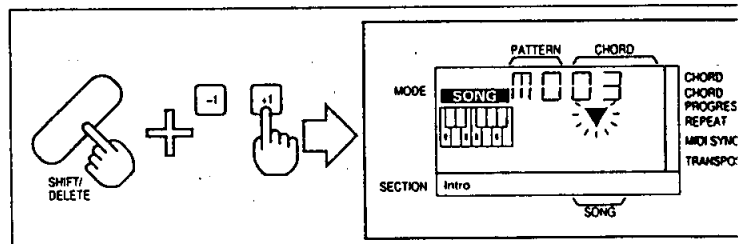
- ・ 演奏をスタートすると、ソングナンバーに変わり、次に演奏されるコードネームが表示されます。
- ・ ソングの、現在の小節のセクションが表示されます。

3 ソングの最後までくると、エンディングが入って、演奏が自動的に終了します。[START/STOP] を押して、途中で演奏を停止させることもできます。

- ・ [START/STOP] を押すと、曲の頭から演奏します。
- ・ [SHIFT] を押しながら [START/STOP] を押すと、直前に停止したところから演奏します。
- ・ 途中の小節から演奏したい場合は、[SHIFT] を押しながら [-1] [+1] で希望する小節まで進め、[SHIFT] をしながら [START/STOP] を押します。ただし、パターンを変更してこの操作を行った場合は、一度曲の先に戻ります。



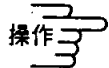
- ・ 演奏中に現在何小節目を演奏しているかを確認したい場合は、[SHIFT] を押しながら [-1] [+1] を押します。



- ・ [START/STOP] の代わりにフットスイッチを使って演奏をスタート/ストップすることができます。(フットスイッチ機能参照→P61)

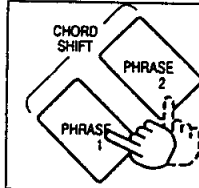
## フレーズの演奏

ソング演奏中に好きなところで、[PHRASE] を押すと、QR10 が最も適した形で演奏にフレーズを加えて演奏します。



1 ソング演奏中に [PHRASE1] か [PHRASE2] を押します。

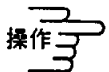
- ・ 同時に押すと [PHRASE1]、[PHRASE2] の両方の音が出ます。
- ・ フレーズの1と2は、それぞれ 50 種類のフレーズを持っています。



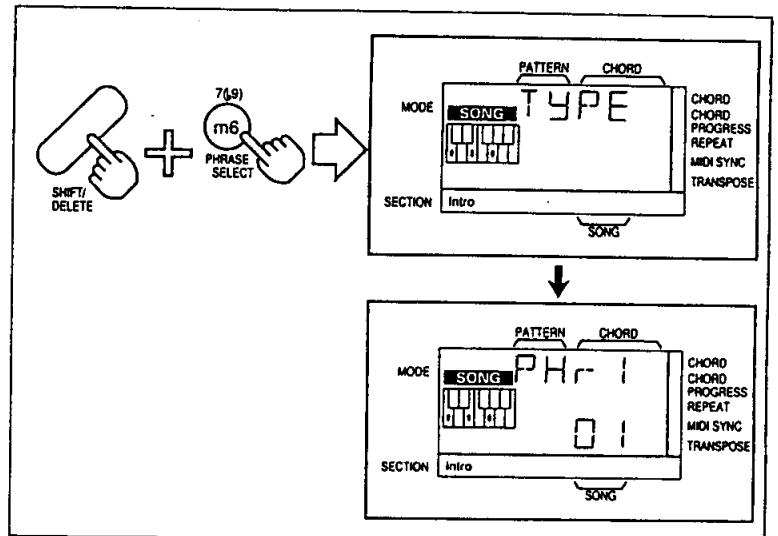
- ・ ソング停止中に [PHRASE1] か [PHRASE2] を押すと、フレーズを音で確認することができます。
- ・ フレーズは押している間鳴り続けます。
- ・ フレーズはソングのコード、テンポに自動的に合わせて演奏されます。

## フレーズタイプの選択

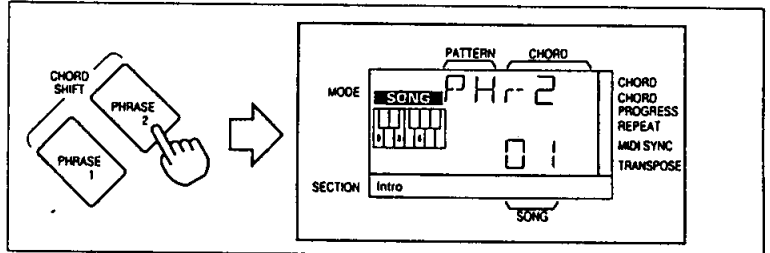
50 種類のフレーズから好きなフレーズを選びます。



1 [SHIFT] を押しながら [PHRASE SELECT] を押します。

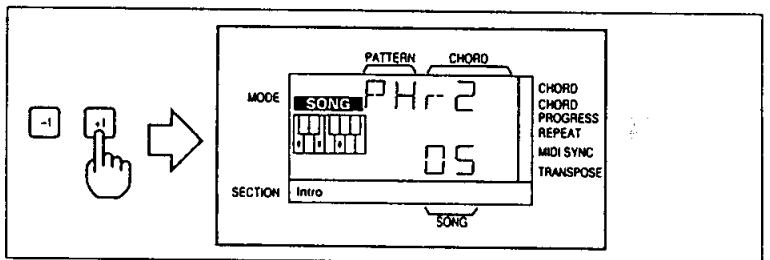


2 [PHRASE1] または [PHRASE2] (選みたい側) を押します。



3 数字ボタンまたは、[-1] [+1] でフレーズナンバーを選択します。

- ・ 選んだ [PHRASE1/2] を押すと、音で確認できます。



4 選択が済んだら [PATTERN/SONG] を押してフレーズ選択から抜けます。

ID  
ID  
RESS  
AT  
SYNC  
SPOSE

いる

ART/

を押  
り先頭

ID  
ID  
GRESS  
EAT  
I SYNC  
NSPOSE

(フッ

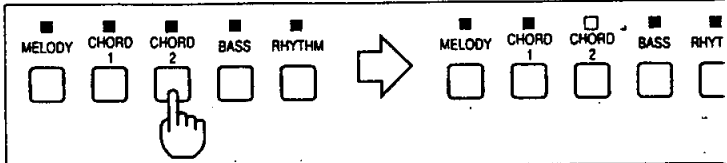
## 4. ソングモード

### トラックのミュート（音を消す）

演奏したくないトラックの音をミュート（消す）します。



ミュートしたいトラックボタンを押し、そのトラックのランプを消します。



- ・ トラックボタンを押すたびにトラックの ON（音が出る） / OFF（音が消える）を繰り返します。
- ・ 演奏中にも ON、OFF できます。



- ・ QR10 の電源を入れ直したりパターンモードからソングモードに移ると、すべてのトラックは自動的に ON になります。

## 2. ソングレコード（ソングの録音）

ユーザーソングを選んで、ソングの録音をします。

ソングレコードには、アカンパニメントトラックの録音とメロディトラックの録音の2種類があります。録音は重ねて録音できます。入力したデータを修正するには、デリート（削除）の機能があります。

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| アカンパニメントトラックの録音        | (→P20) |
| ・ ソングナンバーの選択           | (→P21) |
| ・ アカンパニメントトラックの選択      | (→P21) |
| ・ 録音するパターンの選択          | (→P21) |
| ・ テンポの設定               | (→P22) |
| ・ 最初のセクションとコードの選択      | (→P22) |
| ・ コードの録音               |        |
| リアルタイム録音               | (→P24) |
| コードプログレス録音             | (→P25) |
| メロディトラックの録音            | (→P26) |
| ・ ソングナンバーの選択           | (→P26) |
| ・ メロディトラックの選択          | (→P27) |
| ・ ボイスの選択               | (→P27) |
| ・ クオンタイズの設定            | (→P27) |
| ・ メロディの録音              | (→P28) |
| データのデリート（削除）           | (→P29) |
| ・ アカンパニメントトラックの各データの削除 | (→P29) |
| ・ メロディトラックの各データの削除     | (→P30) |

### アカンパニメントトラックの録音

パターンナンバー・セクション・テンポを選び、コード進行を録音します。

- ・ アカンパニメントトラックとは、コード1、コード2、ベース、リズムの4つのトラックをまとめて称名前で、いずれか一つを押すと4つのトラックが一度に選ばれ、トラックのランプが点灯します。
- ・ アカンパニメントトラックの各トラックの録音は、パターンレコードで行います。（パターンレコード：→P41）
- ・ **PATTERN** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**SONG** 表示にします。

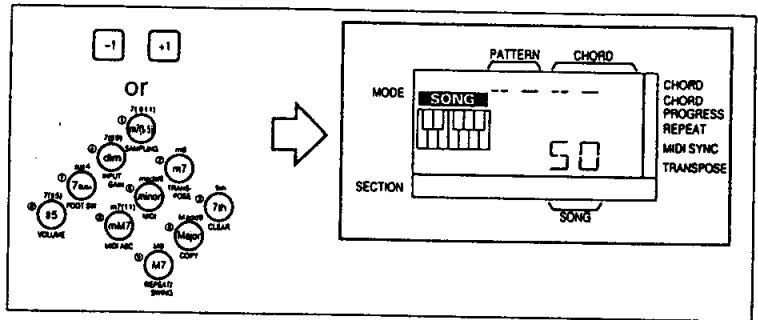
ソングナンバーの選択



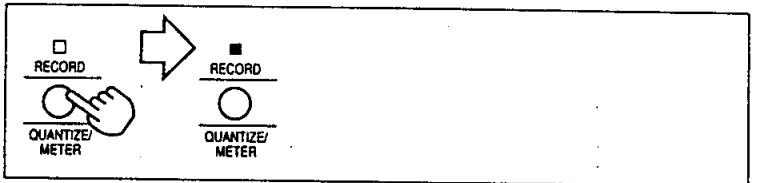
1 [-1] [+1]、数字ボタンで、ユーザーソング [50~99]の中から録音するソングナンバーを選択します。(ソングナンバーの選択参照→P18)

- 録音されていないソングを選んだ場合、ディスプレイには、ソングナンバーと“-----”が表示されます。

- メロディだけ録音されているソングを選んだ場合、画面 **SONG** の右には、何も表示されません。



2 [RECORD] を押してレコードスタンバイにします。

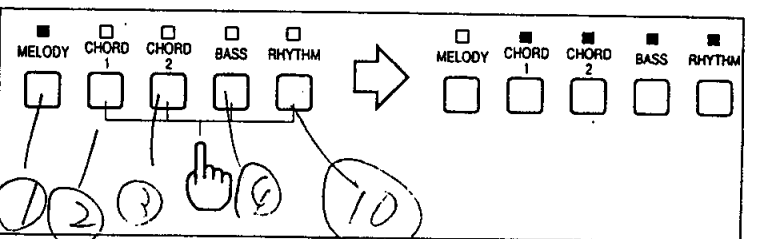


- 録音を中止するには、[PATTERN/SONG] または [RECORD] を押します。

アカンパニメントトラックの選択

3 [CHORD1]/[CHORD2]/[BASS]/[RHYTHM]の4つのボタンのいずれかを押しします。

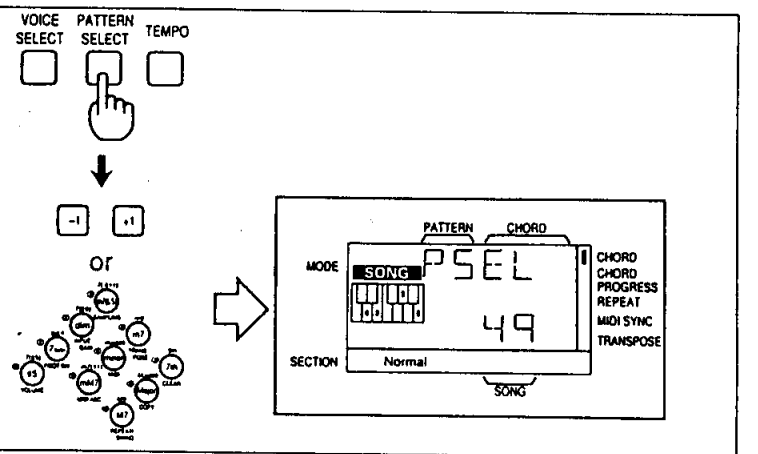
Tch = ① ② ③ ④ ⑤ ⑩



録音するパターンの選択

4 [PATTERN SELECT] を押しします。

5 [-1] [+1] か数字ボタンで、パターンナンバーを選択します。



6 選択したら、もう一度 [PATTERN SELECT] を押すか、[PATTERN/SONG] を押してレコードスタンバイの画面に戻します。

- 録音をスタートしてからでも、パターンを切り替えたいところで [PATTERN SELECT] を押し、[-1][+1] か数字ボタンを使って、パターンナンバーの変更データを録音することができます。

- プリセットソングをコピーし、それにコードを付ける方法もあります。(ソングのコピー参照→P31)

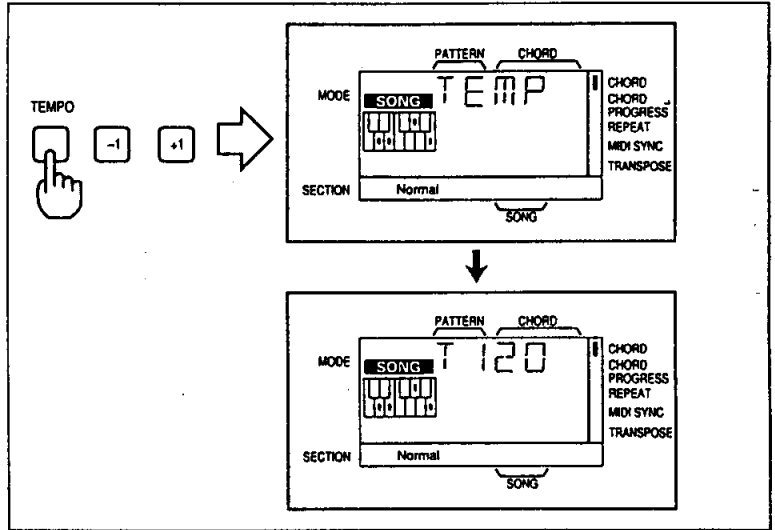


する  
参照

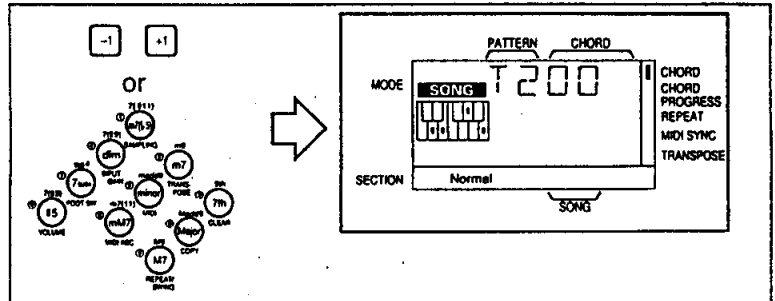
## 4. ソングモード

### テンポの設定

7 [TEMPO] を押します。



- [-1] [+1] か、数字ボタンでテンポを設定します。
- 40～250 まで設定できます。
- ここで設定したテンポは、ソングのイニシャルテンポとして記憶されます。プリセットソングやプリセットパターンのテンポは、ほかのソング／パターンを選んだり、電源をオフにするとあらかじめ設定されていた(工場出荷時の)テンポに戻ります。



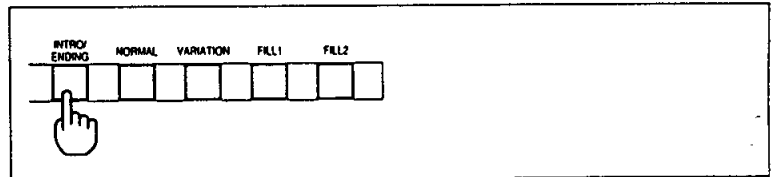
- 録音をスタートして曲の途中で、テンポを替えたいところで [TEMPO] を押し、[-1] [+1] か数字ボタンを使って、テンポの変更データを録音することもできます。
- MIDI シンクが ON の場合は、テンポの設定はできません。

8 セットしたら、もう一度 [TEMPO] を押すか [PATTERN/SONG] を押して録音スタンバイ画面に戻します。

### 最初のセクションとコードの選択

ここでは録音前に、曲の最初のセクション (例えばイントロ) とコードを入力します。

9 セクションボタンを押してセクションを入力します。



Tea Time



セクションの機能について

各パターンは、6つのセクションを持っており、それぞれ次のような機能を持っています。

I [INTRO] (イントロ)

- ・ 曲のイントロ部分に使える演奏をします。
- ・ イントロを演奏後、ノーマルへ自動的に切り替わります。

II [NORMAL] (ノーマル)

- ・ 最もオーソドックスな演奏をします。
- ・ 次のセクションが選択されるまで繰り返し演奏されます。

III [VARIATION] (バリエーション)

- ・ ノーマルに対して少し華やかな演奏をします。
- ・ 次のセクションが選択されるまで繰り返し演奏されます。

IV [FILL 1] (フィル1)

- ・ フィルイン部分に使える演奏をします。
- ・ フィル1を演奏後、バリエーションへ自動的に切り替わります。

V [FILL 2] (フィル2)

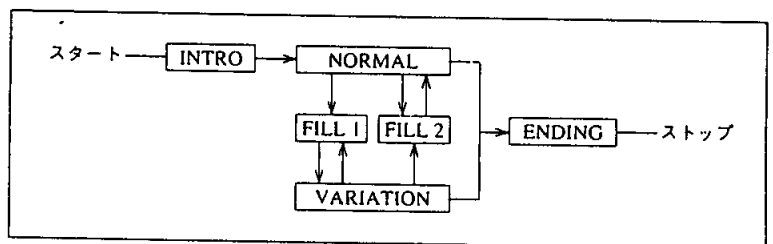
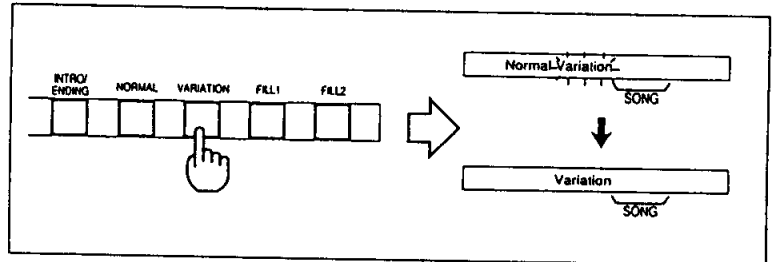
- ・ フィル1とは少し違ったフィルイン部分に使える演奏をします。
- ・ フィル2の演奏後、ノーマルへ自動的に切り替わります。

VI [ENDING] (エンディング)

- ・ 曲のエンディングに使える演奏をします。
- ・ エンディングを演奏後、止まります。
- ・ イントロと同じボタンで選択します。ソングが止まっている状態で1回押すと、イントロ、2回押すとエンディング、後は押すごとにイントロとエンディングが繰り返し選択されます。(演奏中は、1回押すとエンディング、2回目にイントロ、後は押すごとにエンディングとイントロを繰り返します。)

- ・ イントロ/エンディング、ノーマル、バリエーションは小節単位で切り替わります。また、フィル1、フィル2は4分音符単位で切り替わります。
- ・ フィル1/2は、セクションボタンを押し続けると繰り返し演奏されます。
- ・ ユーザーパターンの演奏中、録音されていないセクションを選択すると、その間無音状態で演奏されます。

- ・ 演奏中にイントロ/エンディング、ノーマル、バリエーションを選択すると画面のセクション表示が点滅します。それぞれのセクションに切り替わったタイミングで、点滅から普通の表示に変わります。点滅の表示は予約中を意味します。



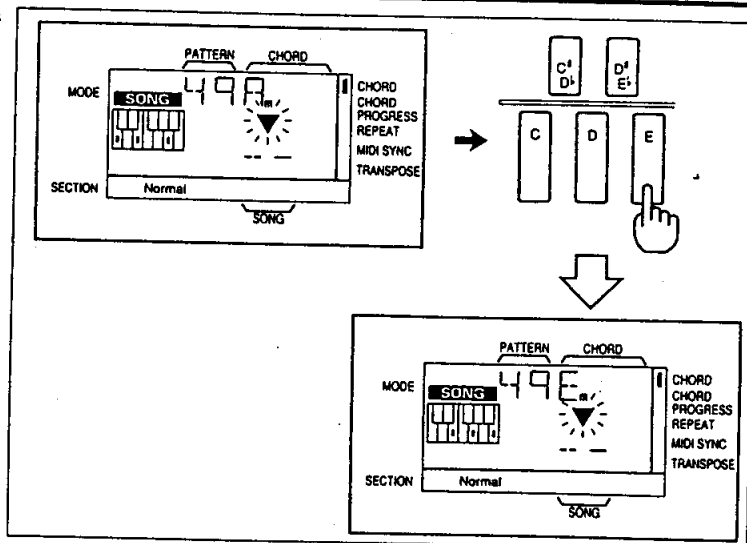
使っ

バイ





- ② Am→Em (コードタイプが同じでルートが変わる)  
 この場合は A+minor の入力後、次のコードを入力するとき、ミニ鍵盤の E (ルート) だけを押します。



- ・ 録音が始まると入力したコードのルートとタイプが画面に表示されます。
- ・ コード進行データと同様に、セクションの変更データ、パターンの変更データ、テンポの変更データも、リアルタイム録音できます。(オーバーダブルコードなので、何回かに分けて入力できます。)
- ・ 曲の途中から録音をやり直すこともできます。録音スタンバイの状態です[SHIFT]を押しながら [-1] [+1] で希望する小節まで進め、[SHIFT] を押したまま [START/STOP] を押します。

12 コード進行の入力が終わったら [START/STOP] を押して録音を終了させます。

- ・ コードは外部 MIDI キーボードを使用して録音することもできます。
- ・ 録音しているソングのデータ量が規定量に達すると、メモリーフル (エラーメッセージの Err 03) を表示し、録音することはできません。(→P69)
- ・ 録音中や録音をストップした後 (WAIT を表示中) に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。

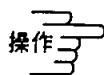


コードの録音 (コードプログレス録音)

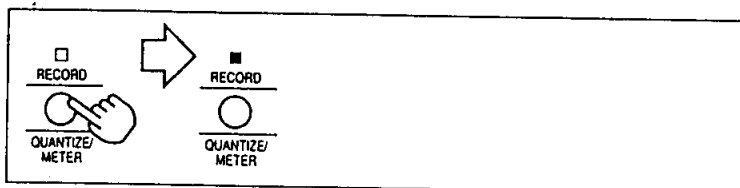
市販されている楽譜を見ながら、QR10 にコード進行をリアルタイムで録音するのは、むずかしい場合があります。

このような場合、コードの切り替わるタイミングを無視して録音し、コードプログレスの機能を使ってコード進行の順序を変えずに、タイミングだけを録音しなおすことができます。

- ・ 演奏中のときはストップさせます。
- ・ この機能は、アカンパニメントトラックだけに有効な機能です。
- ・ コードプログレス録音を行うと、パターン切り替えデータ、セクションデータ、テンポチェンジデータの内容はすべて消えてしまいます。



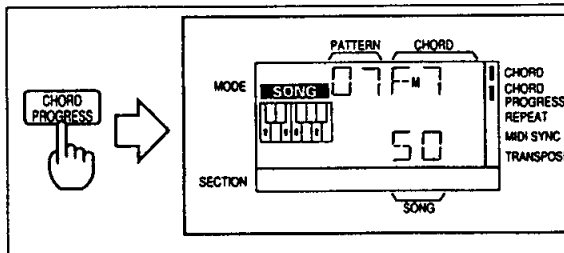
- 1 [RECORD] を押し、レコードスタンバイにします。



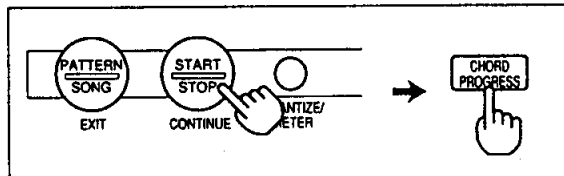
- ・ 録音を中止するには、[PATTERN/SONG] または [RECORD] を押します。

## 4. ソングモード

- 2 [CHORD PROGRESS] を押し、コードプログレスモードにします。



- 3 [START/STOP] を押し、コードのタイミングを録音しなおします。



- 4 演奏を聴きながらコードが変わるタイミングで [CHORD PROGRESS] を押します。

- ・ ディスプレイの下側に、次に切り替わるコードが表示されます。
- ・ [CHORD PROGRESS] を押し続けると、連続してコードが変わります。タイミング良く押してください
- ・ 次に切り替わるコードがなくなると“—”が表示されます。
- ・ [CHORD PROGRESS] の代わりにフットスイッチを使うことができます。(→P61)
- ・ [START/STOP] を押してコードプログレス録音を中止すると、コードプログレス録音をしなかった残りのデータは8分音符間隔で自動的に録音されます。
- ・ 録音しているソングのデータ量が規定量に達すると、メモリーフル (エラーメッセージのErr 03) を表示し録音することはできません。(→P69)
- ・ 録音中や録音をストップした後 (WAITを表示中) に電源を切らないでください。データがすべて消滅の原因になります。



コードプログレス録音の後、セクションやパターンやテンポなど、必要な変更を加えてアンパニメントを完成させます。

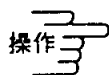
## メロディトラックの録音

メロディトラックにボイスナンバー (音色番号)、ノートデータ (押鍵)、プログラムレンジ (音色変更) サステインのオン/オフ、ピッチベンドなどの演奏データやフレーズデータを録音します。

メロディトラックに録音するには、ソングナンバーを選び、レコードスタンバイでボイス設定します。そしてクオンタイズ (分解能) の設定を行い録音を始めます。

- ・ サステインやピッチベンドは外部 MIDI キーボードで入力できます。

## ソングナンバーの選択

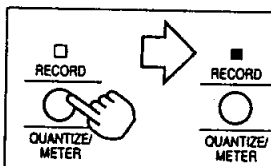


- 1 [-1][+1]、数字ボタンで、ユーザーソング [50~99] のの中から録音するソングナンバーを選択します。(ソングナンバーの選択参照→P18)

- ・ 録音されていないソングを選んだ場合、ディスプレイには、ソングナンバーと“—”が表示されます
- ・ メロディだけ録音されているソングを選んだ場合、ディスプレイには、ソングナンバーだけが表示されます

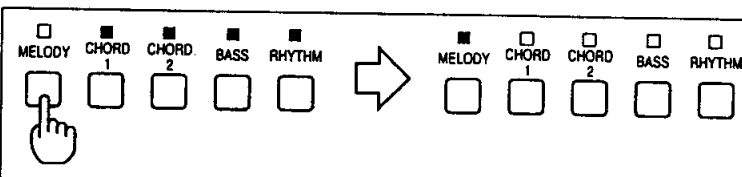
2 [RECORD]を押してレコードスタンバイにします。

- ・ 録音を中止するには、[PATTERN/SONG]または[RECORD]を押します。



### メロディトラックの選択

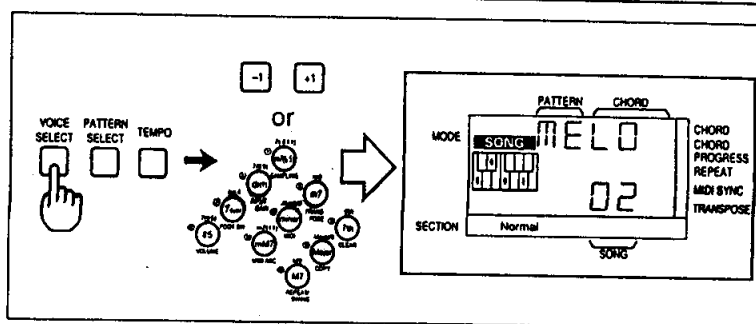
3 [MELODY]を押します。



### ボイスの選択

4 [VOICE SELECT] を押し、[-1] [+1] か数字ボタンでイニシャルボイスの設定をします。

- ・ 00~68 はプリセットボイスです。
- ・ 69、70 のサンプリングボイスは録音していないと音がでません。(→P55)
- ・ 71 はリズムボイスです。
- ・ パネルのボイスリスト、または後のボイスリスト (→P66) をご参照ください。
- ・ ミニ鍵盤を押して、選んだボイスが確認できます。
- ・ [OCTAVE] で音の高さを選びます。
- ・ [◀] [▶] で5オクターブの範囲内で設定できます。



- ・ メロディトラックのボイスはイニシャルボイスとして、ソングごとに記憶させることができます。
- ・ 外部 MIDI キーボードを使用した場合、ボイスによっては鳴らない音域があります。

5 もう1度 [VOICE SELECT] を押すと、レコードスタンバイに戻ります。

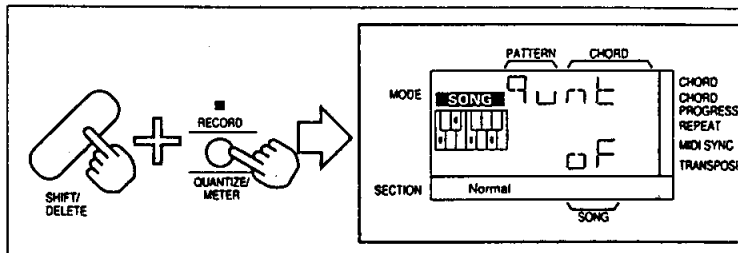
### クオンタイズの設定

- ・ ノートデータを録音するときのタイミングのずれを補正します。
- ・ 演奏中のときはストップさせます。
- ・ **PATTERN** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**SONG** 表示にします。
- ・ クオンタイズの設定は、メロディトラックのみ有効です。

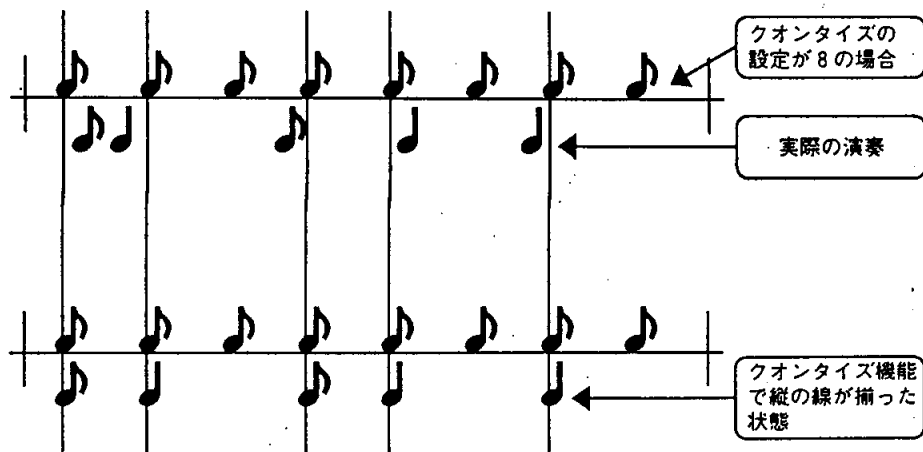


## 4. ソングモード

- 6 [SHIFT]を押しながら、  
[RECORD] を押し、[-] [+]  
でクオンタイズを設定しま  
す。



- ・ 設定範囲 oF 48 24 12 32 16 8  
o F=OFF →そのまま録音されます。  
48→4/4のとき1小節を48等分するタイミングで揃えます。  
24→4/4のとき1小節を24等分するタイミングで揃えます。  
12→4/4のとき1小節を12等分するタイミングで揃えます。  
32→4/4のとき1小節を32等分するタイミングで揃えます。  
16→4/4のとき1小節を16等分するタイミングで揃えます。  
8→4/4のとき1小節を8等分するタイミングで揃えます。
- ・ 初期値はo F (OFF) になっています。

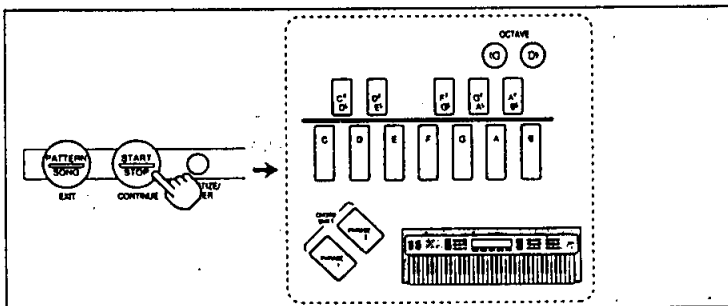


- 7 [PATTERN/SONG] を押すとレコードスタンバイに戻ります。

## メロディの録音

- 8 [START/STOP] を押して録音  
を開始します。

- ・ 2小節分のバックカウントが始まり、ミニ鍵盤と[<] [D]で旋律や和音を録音します。  
また、[PHRASE1][PHRASE2]を押してフレーズを録音します。
- ・ 録音しながら [VOICE SELECT] を押して、数字ボタンでボイスの変更も録音できます。



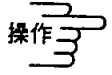
- ・ 曲の途中でボイスを変更したい場合は、ノートデータやフレーズデータなどを先に録音して、後からプログラムチェンジ (音色変更) だけを追加録音すると簡単にできます。
- ・ 外部 MIDI キーボードを使うとノートデータ、プログラムチェンジ、ピッチベンド、サステインの各データ入力が、更に簡単にできます。

- 9 [START/STOP] を押して録音を終了します。

- ・ メロディトラックの録音時は、エンディングの後も [START/STOP] を押すまで、録音が続きます。
- ・ 9の操作後 (WA I T を表示中) に電源を切らないでください。

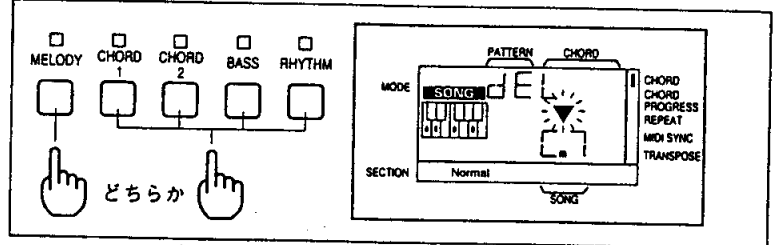


データのデリート (削除)



アカンパニメントトラックやメロディトラックに、間違って入力したデータを削除します。

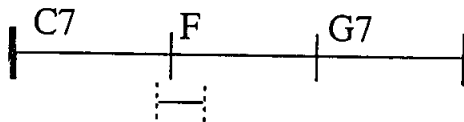
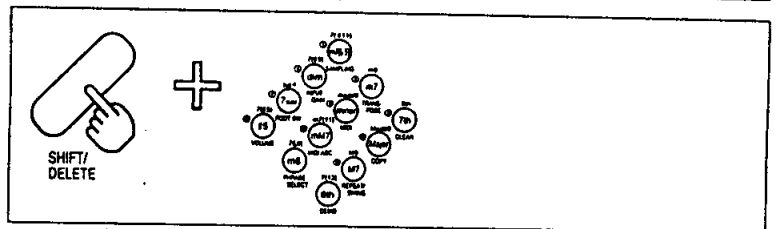
- 1 [RECORD] を押します。
- 2 削除したいトラック (アカンパニメント、メロディ) を選びます



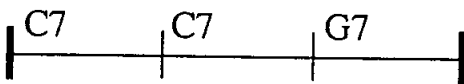
- 3 [START/STOP] を押して録音をスタートさせます。
- 4 削除したいところでデータの種別にあわせて、以下のボタン操作をします。

アカンパニメントトラックの各データの削除

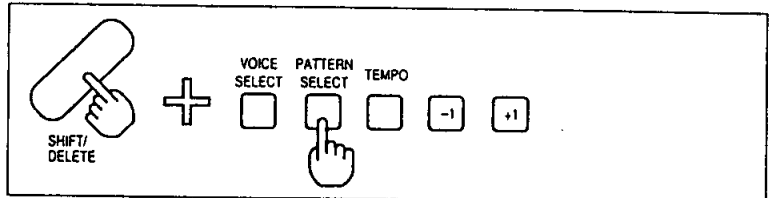
- I コードを削除する場合  
たとえば下の譜面でFのコードを削除したい場合、Fのコードが記録されているところで、[SHIFT] を押しながらかードタイプボタンのいずれかを押します。



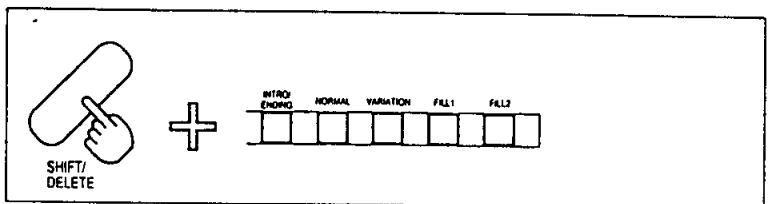
削除された結果は下の譜面になります。  
削除されたFのコードは直前のC7になります。



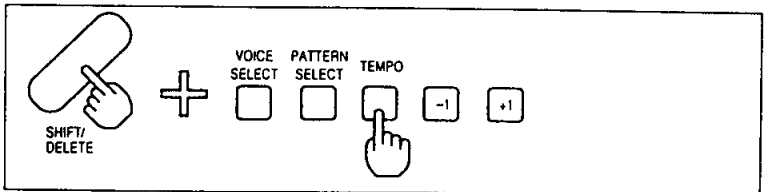
- II パターンの変更データを削除する場合  
パターンの変更データが記録されているところで、[SHIFT] を押しながらか[PATTERN SELECT]を押します。



- III セクションの切り替えデータを削除する場合  
セクションの切り替えデータが記録されているところで、[SHIFT] を押しながらかセクションボタンのいずれかを押します。



- IV テンポチェンジのデータを削除する場合  
テンポチェンジのデータが記録されているところで、[SHIFT] を押しながらか[TEMPO]を押します。



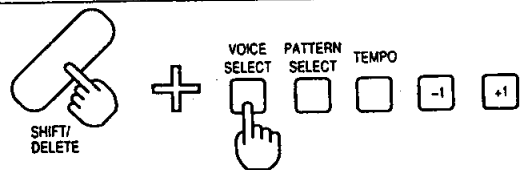
ログ  
ータ

## 4. ソングモード

### メロディトラックの各データの削除

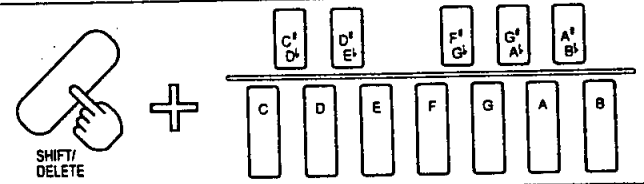
I プログラムチェンジ（音色変更）を削除する場合

プログラムチェンジが記録されているところで、**[SHIFT]**を押しながら**[VOICE SELECT]**を押します。

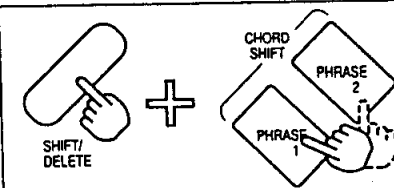


II ノートデータ（押鍵）、ピッチベンド、サステインの削除

ノートデータ、ピッチベンド、サステインが記録されているところで、**[SHIFT]**を押しながらミニ鍵盤の**いづれか**を押します。



III フレーズデータを削除する場合  
フレーズデータが記録されているところで、**[SHIFT]**を押しながら消したい側の**フレーズキー**を押します。



## 3. ソングジョブ（その他の機能）

ソングモードでは、その他の機能として以下の機能があります。

- ・ ボリュームの設定
- ・ ソングのコピー（複写）[50~99]
- ・ ソングのクリア（消去）[50~99]
- ・ ソングリピート（繰り返し）の設定

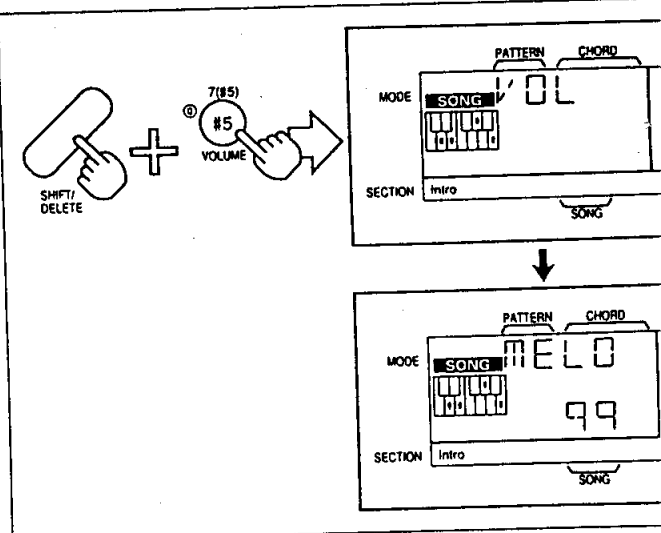
### ボリュームの設定

メロディトラック（ノートとフレーズ）とアカンパニメントトラックの音量を設定し、ここでの設定は、ソングのトラックボリュームとして記憶されます。ソングモードの画面で設定します。（→P18）

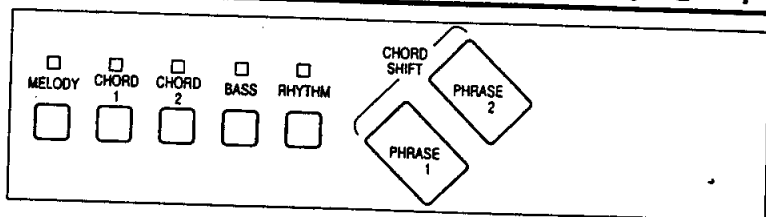


1 **[SHIFT]**を押しながら数字ボタンの**7(5)**を押します。

- ・ 押している間VOLと表示されます。
- ・ 離すとMELOまたはACMPと表示され、下側にボリューム値が表示されます。



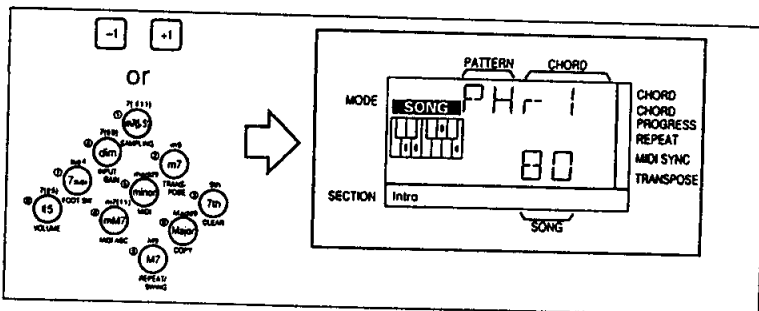
2 ボリュームを設定したいトラック（メロディ、アカンパニメント）や [PHRASE1]、[PHRASE2] を押します。



- MELO  
メロディトラックのノートデータの音量を設定します。  
ミニ鍵盤を押すとメロディトラックの音量が確認できます。
- ACMP  
ソングモードではコード1、コード2、ベース、リズムの各トラックをアカンパニメントトラックとしてまとめて音量の設定をします。  
各トラックの音量バランスは、パターンモードで行ってください。（パターンモード参照→P51）  
ミニ鍵盤を押すと、アカンパニメントトラックの音量が確認できます。
- PHr 1  
[PHRASE1] を押して演奏するフレーズの音量を設定します。  
[PHRASE1] を押すと音量を確認できます。
- PHr 2  
[PHRASE2] を押して演奏するフレーズの音量を設定します。  
[PHRASE2] を押すと音量を確認できます。

3 [-1] [+1] や数字ボタンで設定します。

- 00~99 の範囲で音量を設定します。
- プリセットソング [00~49] には、設定を記憶できません。
- ユーザーソング [50~99] には、ソングごとに設定が記憶されます。



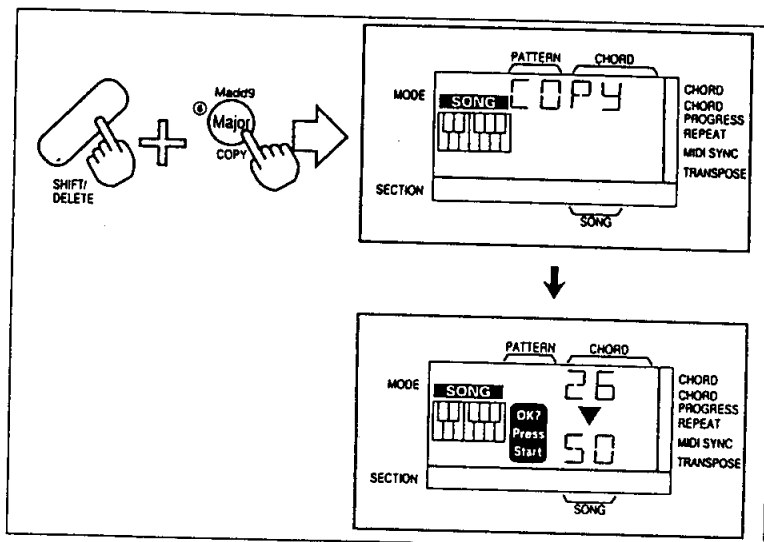
4 [PATTERN/SONG] を押すとソングモードの画面に戻ります。

### ソングのコピー

メロディトラック、アカンパニメントトラックのデータをコピーします。

- 1 [-1] [+1] や数字ボタンで、コピー元のソングを選択します。
- 2 [SHIFT] を押しながら、数字ボタンの⑥を押します。

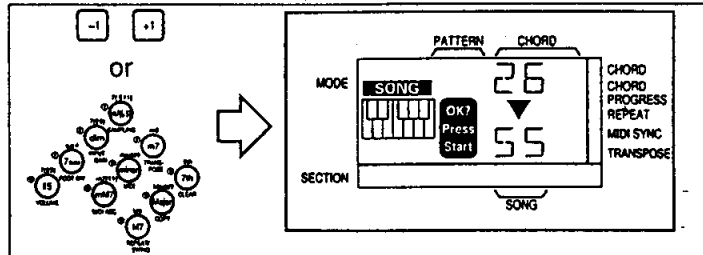
- 上側にコピー元のソングナンバーが表示されます。
- 下側にコピー先のソングナンバーが表示されます。



## 4. ソングモード

3 コピー先のソングナンバーを [-1] [+1] や数字ボタンで選択します。

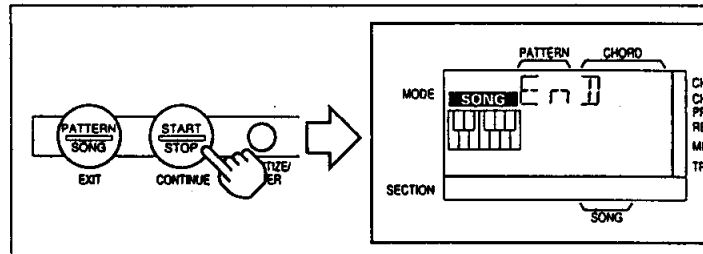
- ・ コピー先にはユーザーソング [50~99] を選択します。
- ・ コピーを中止する場合は、[PATTERN/SONG] を押します。



- ・ コピーする際、メロディトラックとアカンパニメントトラックのうち、コピーしたくない側のトラックを押してランプを消灯させることで、片方のトラックのデータだけをコピーすることができます。

4 [START/STOP] を押し、コピーを実行します。

- ・ E n Dが表示されてソングモードに戻ります。
- ・ すでにデータの入っているソングにコピーすると、新しい内容に入れ替わります。
- ・ イニシャルテンポ、メロディボイス、フレーズ、ボリュームもコピーされます。
- ・ 両方のトラックをコピーすると、全データがコピーされます。
- ・ コピーするソングのデータ量が、規定量に達すると Err 03 (メモリーフル) と表示され、コピーすることができません。(→P69)



コピー実行中 (WA I Tを表示中) に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。

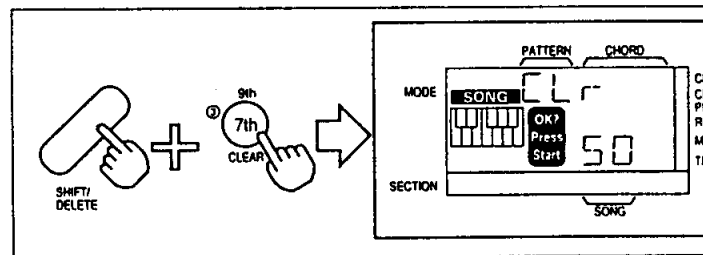
### ソングのクリア (消去)

メロディトラック、アカンパニメントトラックのデータを消去します。



1 [-1] [+1] や数字ボタンで消去するソングを選択します。

2 [SHIFT] を押しながら、数字ボタンの 7 を押します。

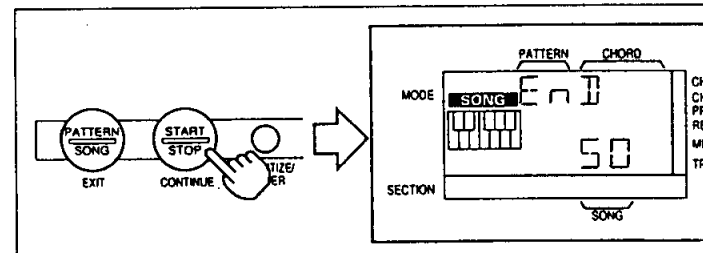


3 消去したくないトラックのランプを消します。

- ・ クリアは、ランプのついているトラックのデータを消去します。
- ・ クリアを中止する場合は、[PATTERN/SONG] を押します。

4 [START/STOP] を押し、クリアを実行します。

- ・ E n Dが表示されて消去が完了し、元の画面に戻ります。
- ・ クリアを実行してもトラックのランプは消えません。再生して確認してください。



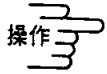
クリア実行中 (WA I Tを表示中) に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。



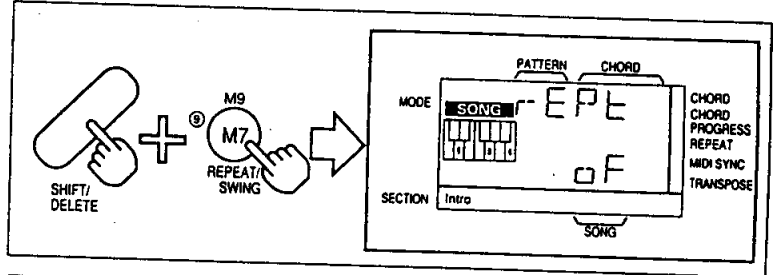
## ソングのリピート (繰り返し)

選んだソングの始めから終わりまでを繰り返す全体リピートの設定と、ソングの中の任意の区間を繰り返す区間リピートの設定の2種類のリピート設定ができます。

### 全体リピート

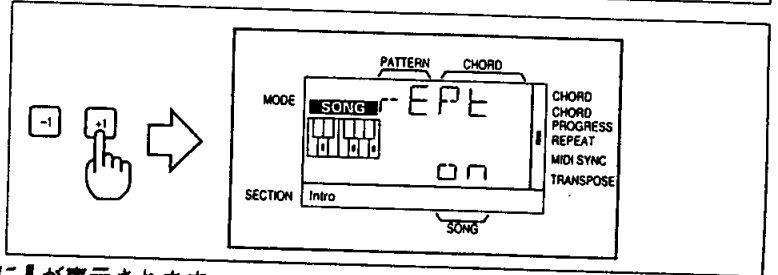


- 1 ソングを停止した状態で、[SHIFT] を押しながら数字ボタンの⑨を押します。



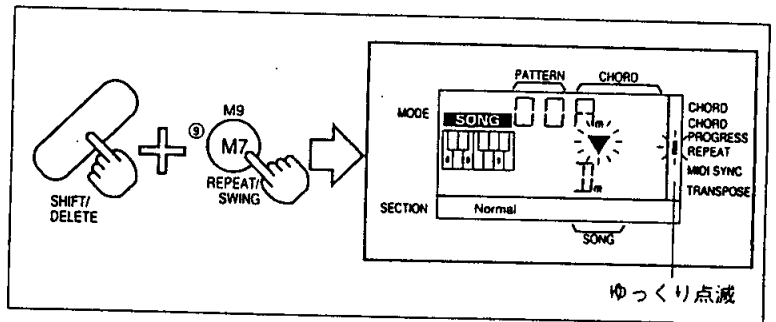
- 2 [-1] [+1] で ON/OFF の設定をします。

- [+1] で ON: 1曲全体をリピートします。
- [-1] で OFF: リピートを解除します。
- リピートが選択されると、画面右端に **■** が表示されます。
- リピートの設定を抜けるには、[PATTERN/SONG] を押します。
- リピートの設定は、他のソングにも機能しています。



### 区間リピート

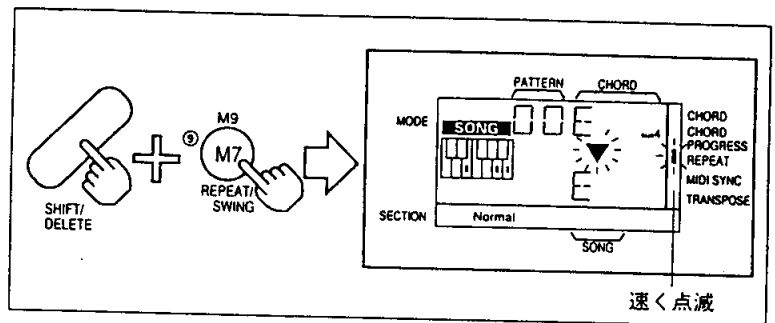
- 1 ソングをスタートさせます。
- 2 繰り返したい場所の始めで [SHIFT] を押しながら数字ボタンの⑨を押します。



- 繰り返したい場所の始めが設定されると、**■** がゆっくり点滅する。
- 曲の先頭から繰り返したい場合は、演奏をスタートする前に、[SHIFT] を押しながら数字ボタンの⑨を2回押して、繰り返したい場所の始めを設定します。

- 3 繰り返したい場所の終わりで [SHIFT] を押しながら数字ボタンの⑨を押します。

- 繰り返したい場所の終わりが設定されると、**■** が速く点滅する。



- [SHIFT] を押しながら、もう一度数字ボタンの⑨を押すとリピートを解除します。
- リピートから抜けるには [PATTERN/SONG] を押します。

区間リピートは、他のソングを選んだりモードを変えると解除されます。



ボタ

10  
10  
PRESS  
[AT  
SYNC  
[SPOSE

とが

ます。

10RD  
10RD  
10GRESS  
PEAT  
DI SYNC  
ANSPOSE

10RD  
10RD  
10GRESS  
PEAT  
DI SYNC  
ANSPOSE

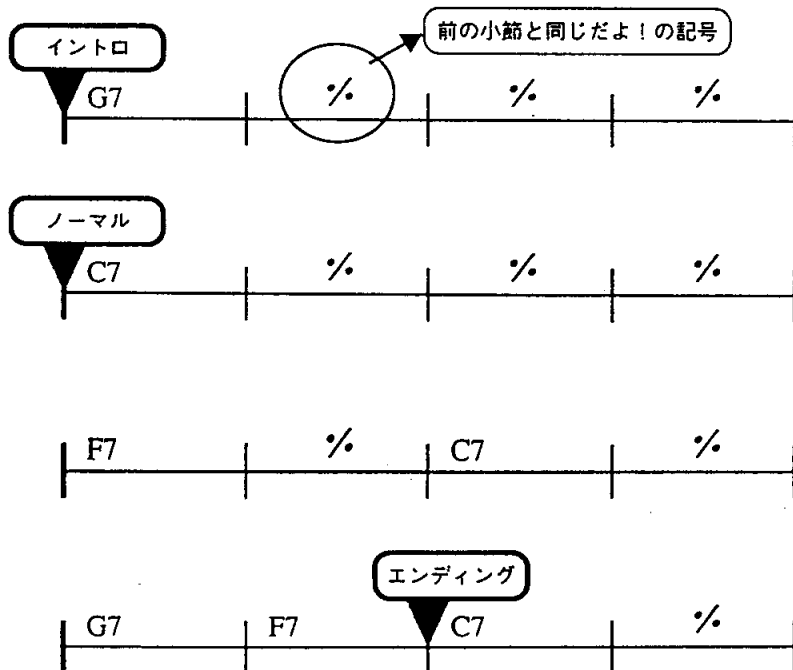
ます。

# 4. 練習 (アカンパニメントトラックの録音)

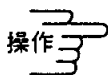
## コード進行の録音にトライしてみましょう

下のコード進行表を使って操作します。

- パターンナンバー「27」の「ROCK 2」を使います。
- コードはC7、F7、G7の3種類を使います。
- セクションはイントロ、ノーマル、エンディングを使います。



## それでは実際の手順に沿って説明します

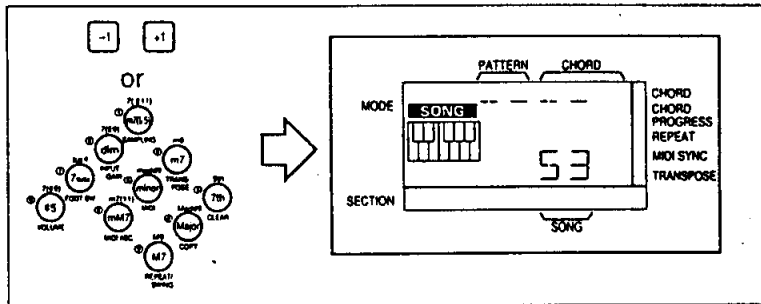


1 [PATTERN/SONG] を押して **SONG** の表示にします。

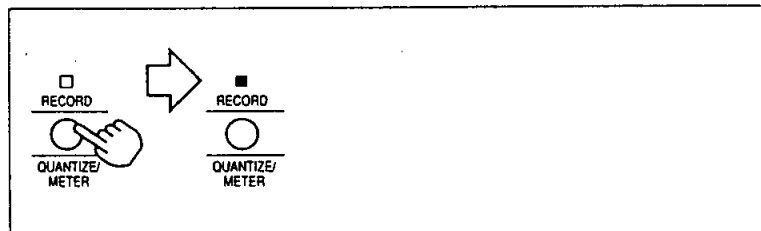
- ・ 演奏中の場合はストップさせ、[PATTERN/SONG] を押し、ソングモードにします。

2 [-1] [+1] や数字ボタンで、録音されていないソングナンバー [50~99] を選びます。

- ・ ディスプレイ上部の "-----" はデータが入っていないことを表します。



3 [RECORD] を押してレコードスタンバイにします。







- 最初の G7 はすでに録音されているので、2つ目の C7 からがコードプログレスの対象になります。
- イントロから始めて、4拍ずつ（1、2、3、4 と数えながら）の繰り返しです。次のコードが出てくる小節の先頭で [CHORD PROGRESS] を押します。
- コード進行表を見てください。（→ P34）  
5小節目、9小節目、11小節目、13小節目、14小節目、15小節目の先頭が [CHORD PROGRESS] を押すタイミングです。

### 4 最後の C7 を録音したら [START/STOP] を押して終了します。

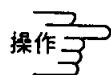
WAIT を表示中に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。



### 間違えたとき

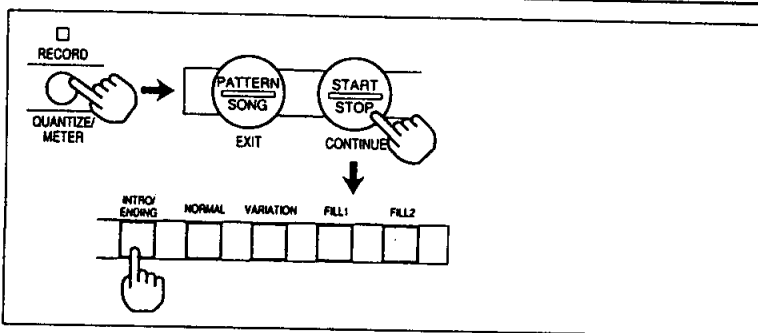
コードプログレス録音は何回でもやり直しできます。

### 最後にエンディングを入力します



- [RECORD] を押します。
- [START/STOP] を押します。
- エンディングのタイミングで [ENDING] を押します。

- エンディングが終ると自動的に録音は終了します。
- 「ソングを聴いてみよう」（→ P13）の手順で聴いてみましょう。
- パターン 27 のイントロは 4 小節演奏して自動的にノーマルに移るためこの例ではノーマルの入力は省略しています。



## 5. パターンモード

パターンナンバーは [00~99] の100パターンがあります。

[00~49] はプリセットパターンです。

いろいろなパターンがプリセットされています。

[50~59] はユーザーパターンです。

オリジナルのパターンを作ることができます。

[60~99] はコンビネーションパターンです。

プリセットやユーザーパターンをミックスしてコンビネーションパターンを作ることができます。

- ・ パターンモードでは、パターンを演奏したり、ソングモードで曲を作る為のパターンをプログラムします。
- ・ パターンモードには次の3つのサブモードがあります。
- ・ コンビネーションパターンにはあらかじめ [00~39] のパターンと同じものが割り当てられています。

### 1. パターンプレイ (パターンの演奏)

- ・ パターンを選択して演奏を聴きます。

- ・ セクションを選択し、コードやテンポを変更しながら演奏します。

### 2. パターンレコード (パターンの録音)

- ・ [50~59] のユーザーパターンにオリジナルパターンを作ることができます。

- ・ [60~99] のパターンにはコンビネーションしたパターンを作ることができます。

### 3. パターンジョブ (その他の設定)

- ・ ボリュームの設定

- ・ パターンのコピー (複写) [50~59]

- ・ パターンのクリア (消去) [50~59]

- ・ スイングの設定

## 1. パターンプレイ (パターンの演奏)

プリセットパターンやユーザー/コンビネーションパターンを選んで演奏するモードです。

[00~49] はプリセットパターン、[50~59] はユーザーパターン、[60~99] はコンビネーションパターンです。

「セクション」を選択したり、「ボイス」や「ボリューム」や「テンポ」を一時的に変更したり、トラックをミュート (音を消す) することができます。

- ・ [VOICE SELECT] を押し、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、各トラックの音色を一時的に変えることができます。

「パターンレコード ボイスの選択」を参照 (→P43)

- ・ [SHIFT] を押しながら数字ボタンの①を押してトラックごとのボリュームを表示させ、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、各トラックの音色を一時的に変えることができます。

「パターンジョブ ボリュームの設定」を参照 (→P51)

- ・ [TEMPO] を押し、[-1][+1] ボタンか数字ボタンで、演奏テンポを一時的に変えることができます。

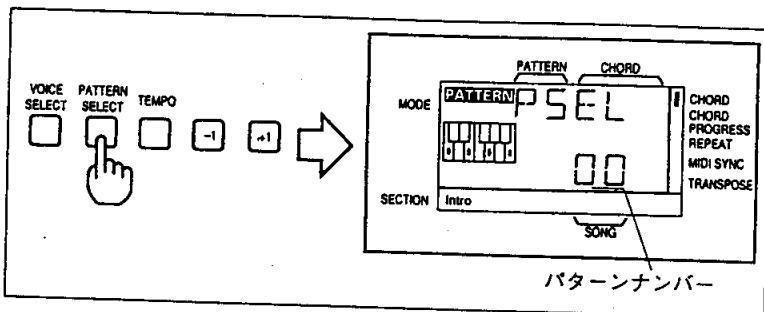
「パターンレコード テンポの設定」を参照 (→P43)

## パターンナンバーの選択

操作

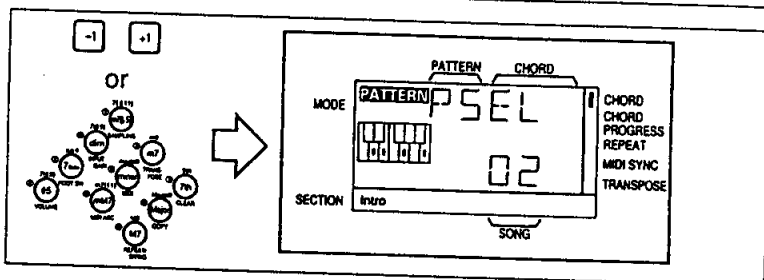
- **SONG** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**PATTERN** を表示させます。

1 [PATTERN SELECT] を押して、パターンセレクト（選択）画面にします。



- 画面上に PSEL と現在選ばれているパターンナンバーが表示されます。

2 [-1] [+1] ボタンか数字ボタンで、パターンナンバーを選択します。

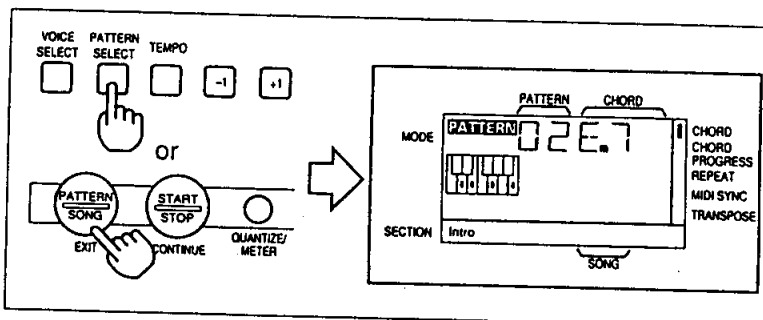


- 演奏できるプリセットパターンは 00~49 です。（プリセットパターン & ソングリスト参照→P65）

- 50~59 はユーザーパターン、60~99 はコンビネーションパターンです。ユーザーパターンにデータが入っていない場合、50~59 を選択しても音は出ません。
- 電源を入れ直したりソングモードからパターンモードに移った場合、直前に選択していたパターンナンバーが表示されます。

ヒント

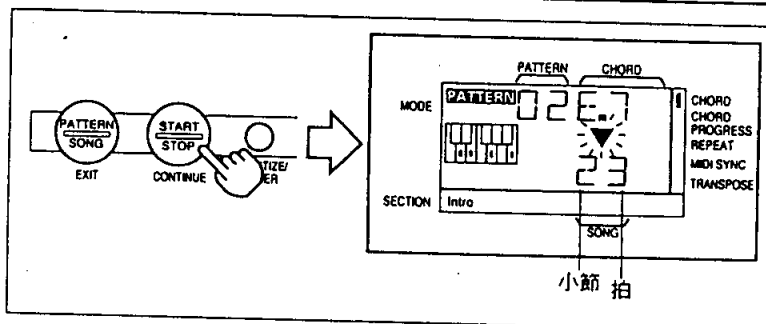
3 [PATTERN SELECT] か [PATTERN/SONG] を押して、パターンセレクトから抜けます。



- パターンセレクトの画面のまま [START/STOP] ボタンを押せば、パターンの演奏がスタートします。演奏を聴きながら、パターンを選択することができます。

## パターンのスタート/ストップ

4 [START/STOP] を押します。パターンの演奏がスタートします。



- 画面上にパターンナンバーとコードが表示されます。また、その下の画面上に小節と拍のカウンタが表示されます。
- テンポに合わせて、▼が点滅します。
- プリセットパターン（ノーマル、バリエーション）は、最長で4小節のパターンの繰り返しです。たとえば4/4拍子の場合、画面上の小節表示は1~4の繰り返し、拍表示も各小節の中で1~4の繰り返しになります。
- 各プリセットパターンはそれぞれのパターンに合ったテンポ値が設定されています。
- また、演奏中にパターンを変えた場合はテンポは変わりません。

## 5. パターンモード



5 演奏中にもう一度 [START/STOP] を押します。パターンの演奏がストップします。

- ・ 画面の小節と拍のカウント表示が消えます。
- ・ [SHIFT] を押しながら [START/STOP] を押すと、直前に停止したところから演奏します。
- ・ [START/STOP] の代わりにフットスイッチを使って演奏をスタート/ストップすることができます。(フットスイッチ機能参照→P61)

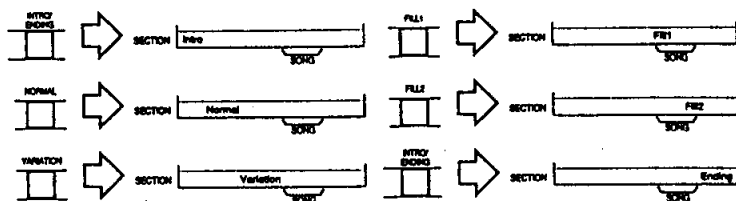
### セクションの選択

1 [START/STOP] を押して、パターンをスタートします。

2 セクションボタンを押してセクションを入力します。

- ・ それぞれのパターンにはイントロ、ノーマル、バリエーション、フィル1、フィル2、エンディングの6つのセクションがあります。
- ・ セクションボタンを押すと、画面に

Intro、Normal、Variation、Fill1、Fill2、Ending が表示され、それぞれのセクションが演奏されます。(セクションの機能について参照→P23)

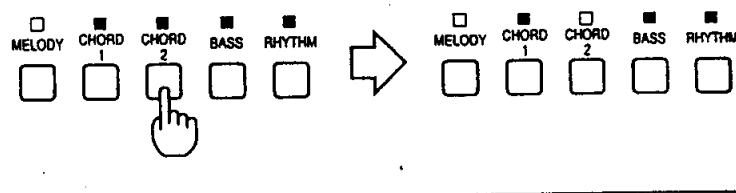


### トラックのミュート (音を消す)

演奏したくないトラックの音をミュート (消す) します。

ミュートしたいトラックのボタンを押し、そのトラックのランプを消します。

- ・ それぞれのセクションには、コード1、コード2、ベース、リズムの4つのトラックがあります。
- ・ トラックボタンを押すごとにトラックのON (音が出る) / OFF (音が消える) を繰り返します。演奏中でも設定できます。
- ・ QR10の電源を入れ直したりソングモードからパターンモードに移ると、すべてのトラックは自動的にオンになります。



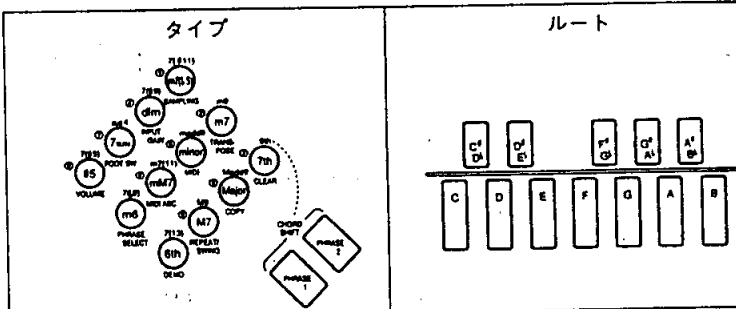
### コードの選択

パターンの演奏に合わせてコードを変えます。

ミニ鍵盤でルートを、コードタイプボタンでタイプを指定します。

- ・ 画面左に和音が表示されます。この和音表示と実際に演奏されているコード音とは異なる場合があります。

- ・ ルートは (C、C $\sharp$ 、D、D $\sharp$ 、E、F、F $\sharp$ 、G、G $\sharp$ 、A、A $\sharp$ 、B) 12種類あります。
- ・ ミニ鍵盤でルートを入力します。この場合、ミニ鍵盤で音を確認することができます。
- ・ コードタイプは24種類から選びます。





- ・コードタイプボタンでタイプを入力します。
- ・コードタイプボタンの上部に印刷してあるコードタイプを選ぶには、[CHORD SHIFT] ([PHRASE1] か [PHRASE2]) を押しながらコードタイプボタンを押してください。

## 2. パターンレコード (パターンの録音)

ユーザーパターンを選んでパターンの録音をします。  
 パターンレコードには、ユーザーパターン [50~59] にオリジナルパターンを録音する通常のパターンレコードと、コンビネーションパターン [60~99] にプリセットパターンやユーザーパターンをミックスするコンビネーションパターンレコードの2種類があります。  
 ユーザーパターンのレコードは常にオーバーラップレコーディング (一定の区間を何度も重ねて録音する) 状態です。入力したデータを修正するには、デリートの機能を使います。

### ユーザーパターンの録音

- ・パターンナンバーの選択 (→P41)
- ・コードの設定 (→P42)
- ・セクションの選択 (→P42)
- ・ボイスの選択 (→P43)
- ・テンポの設定 (→P43)
- ・クオンタイズの設定 (→P43)
- ・拍子の設定 (→P44)
- ・小節数の設定 (→P45)
- ・録音の開始と終了 (→P45)

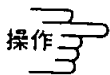
- データのデリート (→P46)
- 練習 (ユーザーパターンの録音) (→P46)
- コンビネーションパターンの録音 (→P49)

## ユーザーパターンの録音

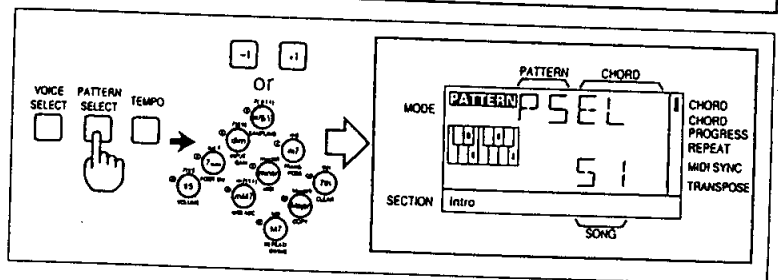
パターンの録音とは、ソングに使用するアカンパニメントトラックの各トラックの録音のことです。ソングではアカンパニメントトラックと呼んでいるトラックを、パターンでは [CHORD1]、[CHORD2]、[BASS]、[RHYTHM] の4つのトラックに分け別々に録音します。また、各パターンは [INTRO] [NORMAL] [VARIATION] [FILL1] [FILL2] [ENDING] の6種のセクションを持っており、1つのパターンには6種の録音ができます。

- ・演奏中のときは [START/STOP] を押してストップさせます。
- ・ **SONG** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**PATTERN** 表示にします。

### パターンナンバーの選択



- 1 [PATTERN SELECT] を押してパターン選択の画面を表示させ、[-1][+1]か数字ボタンで、ユーザーパターン [50~59] の中から録音するパターンナンバーを選びます。



(パターンプレイ パターンナンバーの選択参照→P39)

## 5. パターンモード



- ・ パターンを選択したら、[PATTERN/SONG] を押してパターンセレクトを終了します。
- ・ 50~59のユーザーパターンは、録音するまでなにもデータが入っていません。[START/STOP] を押しても、音は出ません。

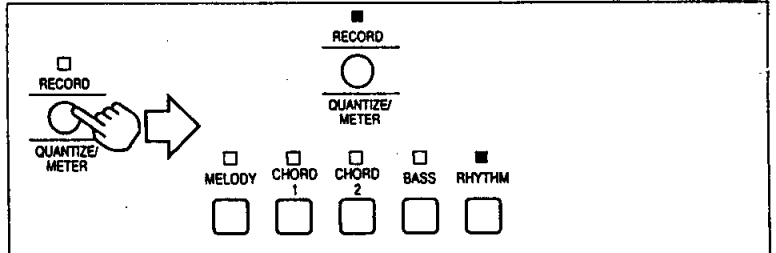
### コードの設定

パターンレコードをするためのコードを設定します。

**2** [RECORD] を押し、レコードスタンバイにします。

- ・ [CHORD1] [CHORD2] [BASS] [RHYTHM] のいずれかのトラックのランプが点灯します。

最初に録音したいトラックを選択します。(通常はリズムから始めます。)

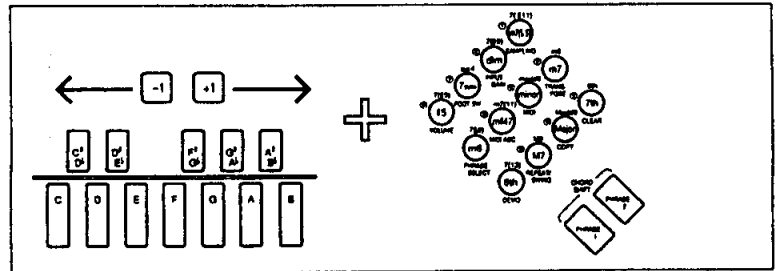


**3** [-1] [+1] でルートを、コードタイプボタンや [CHORD SHIFT (PHRASE)] を使ってコードタイプを設定します。

- ・ 画面にルートとタイプが表示されます。

- ・ パターンレコードモードに入ると、パターンレコードに入る直前のコードに設定されます。

- ・ コードタイプボタンで12種類、[PHRASE1] や [PHRASE2] を押しながらコードタイプボタンを押すことで別の12種類を選択できます。



- ・ QR10 は、すべてのパターンを C M7 に変換して記憶しています。記憶しているパターンに、コードを設定し演奏すると、ABC 機能がそのコードに最適なパターンに展開するという便利な仕組みになっています。
- ・ ルートは [-1] [+1] を使って「C」から「B」まで自由に設定できます。ABC 機能がうまく動作するように、内部的にデータを変換しているため、録音した音程と違う音程で演奏される場合があります。

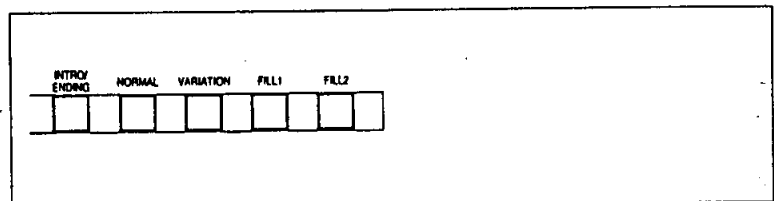


### セクションの選択

パターンレコードをするセクションを選びます。

**4** セクションボタンで録音するセクションを選びます。

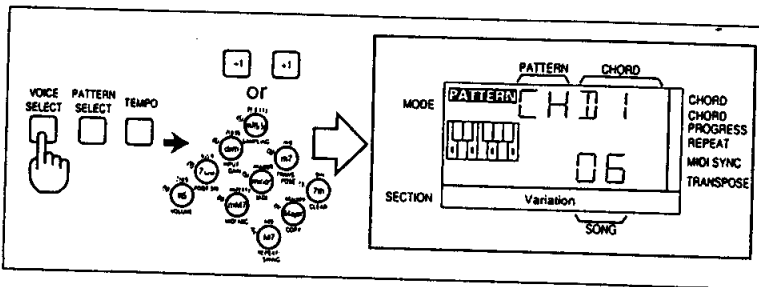
- ・ [INTRO] [NORMAL] [VARIATION] [FILL1] [FILL2] [ENDING] の中から設定します。



### ボイスの選択

[CHORD1] [CHORD2] [BASS] [RHYTHM] の各トラックに使用するボイスを設定します。

5 [VOICE SELECT] を押し、トラックごとに [-1] [+1] や数字ボタンでボイスの設定をします。

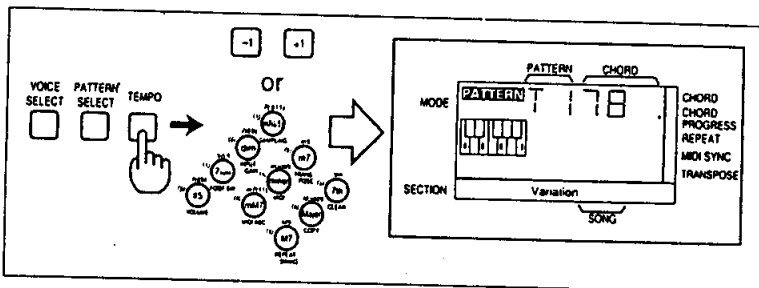


- ここで設定したボイスは、パターン演奏時のボイスとして記憶されます。
- リズムトラックのボイスは各キーごとにドラムボイス (71)、サンプリングボイス (69、70) が選択できます。
- セクションごとに違う音色が設定できます。
- パターンの途中にはプログラムチェンジ (音色変更) を録音することはできません。
- ミニ鍵盤で、設定中の音色が確認できます。
- もう一度 [VOICE SELECT] を押すと、レコードスタンバイに戻ります。
- その他、詳しくはソングレコードのボイスの選択 (→P27) をご参照ください。

### テンポの設定

パターンのイニシャルテンポを設定します。

6 [TEMPO] を押します。

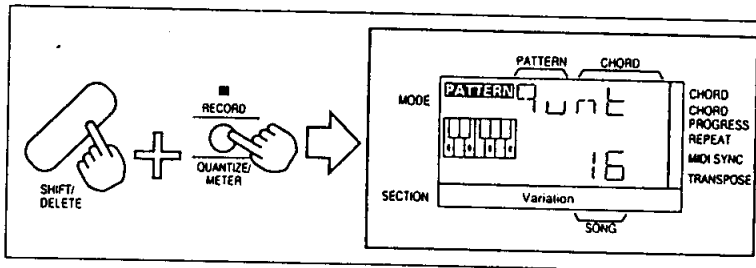


- [-1] [+1] や数字ボタンでテンポを設定します。
- ここで設定したテンポはパターンのイニシャルテンポとして記憶されます。
- ソングでパターンを使用する場合、ソングのイニシャルテンポが優先されます。
- MIDI シンクが ON の場合は、テンポの設定はできません。 (→P58)
- もう一度 [TEMPO] を押すと、レコードスタンバイに戻ります。

### クオンタイズの設定

パターンの各トラックに録音するときは、クオンタイズ (分解能) を設定することで、ノートデータ (押鍵) のタイミングのずれが補正できます。

7 [SHIFT] を押しながら、[RECORD] を 1 回押します。



- 1 回押すとクオンタイズ (quint) の設定画面になります。
- 2 回押すと拍子 (TS) の設定画面になります。
- 3 回押すと小節数 (MEAS) の設定画面になります。
- 4 回以上は→クオンタイズ→拍子→小節数の各画面を繰り返します。

## 5. パターンモード

### 8 [-1][+1]でクオンタイズを設定します。

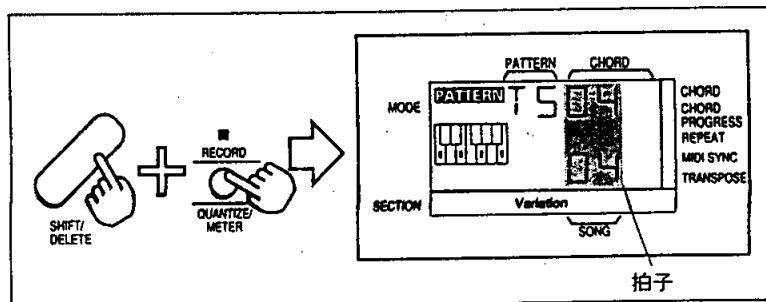
- 設定範囲 ○ F 48 24 12 32 16 8
  - F = OFF →そのまま録音されます。
  - 48 →4/4のとき1小節を48等分するタイミングで揃えます。
  - 24 →4/4のとき1小節を24等分するタイミングで揃えます。
  - 12 →4/4のとき1小節を12等分するタイミングで揃えます。
  - 32 →4/4のとき1小節を32等分するタイミングで揃えます。
  - 16 →4/4のとき1小節を16等分するタイミングで揃えます。
  - 8 →4/4のとき1小節を8等分するタイミングで揃えます。
- 詳しくは、ソングレコードのクオンタイズの設定(→P27)をご参照ください。
- [RECORD]を押すとパターンプレイ、[PATTERN/SONG]を押すと、レコードスタンバイに戻ります。

## 拍子の設定

パターンの拍子を設定します。

### 9 [SHIFT]を押しながら、[RECORD]を2回押します。

- 1回押すとクオンタイズ(quant)の設定画面になります。
- 2回押すと拍子(TS)の設定画面になります。
- 3回押すと小節数(meas)の設定画面になります。
- 4回以上はクオンタイズ→拍子→小節数の各画面を繰り返します。



### 10 [-1][+1]で拍子を設定します。

- 初期値は4/4で、図のように画面に表示されます。

$\frac{1}{4}$	$\frac{2}{4}$	$\frac{3}{4}$	$\frac{4}{4}$	$\frac{5}{4}$	$\frac{6}{4}$	$\frac{7}{4}$	$\frac{8}{4}$
01	02	03	04	05	06	07	08
04	04	04	04	04	04	04	04
$\frac{1}{8}$	$\frac{2}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{4}{8}$	$\frac{5}{8}$	$\frac{6}{8}$	$\frac{7}{8}$	$\frac{8}{8}$
01	02	03	04	05	06	07	08
08	08	08	08	08	08	08	08

- [RECORD]を押すとパターンプレイ、[PATTERN/SONG]を押すと、レコードスタンバイに戻ります。
- 拍子の設定はパターンごとに記憶され、1つのパターンの中の6種のセクションで共有されます。録音済パターンの拍子の変更は、セクションのいずれかが録音済み(録音スタートして録音済み)の場合、Err 02と表示され変更できません。変更する場合、パターンクリアを行ってください。(パターンのクリア参照→P53)
- ソングレコードには拍子の設定がありません。パターンモードで拍子の設定をしてください。

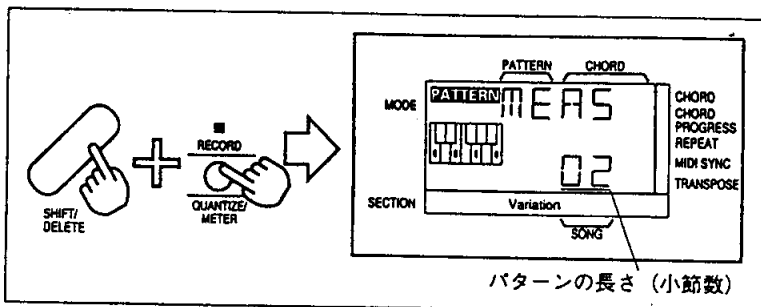


## 小節数の設定

パターンの長さ（小節数）を設定します。セクションごとに異なる長さの設定ができます。

11 [SHIFT] を押しながら、  
[RECORD] を 3 回押します。

- ・ 1 回押すとクオンタイズ (quant) の設定画面になります。
- ・ 2 回押すと拍子 (TS) の設定画面になります。
- ・ 3 回押すと小節数 (MEAS) の設定画面になります。
- ・ 4 回以上は → クオンタイズ → 拍子 → 小節数の各画面を繰り返します。



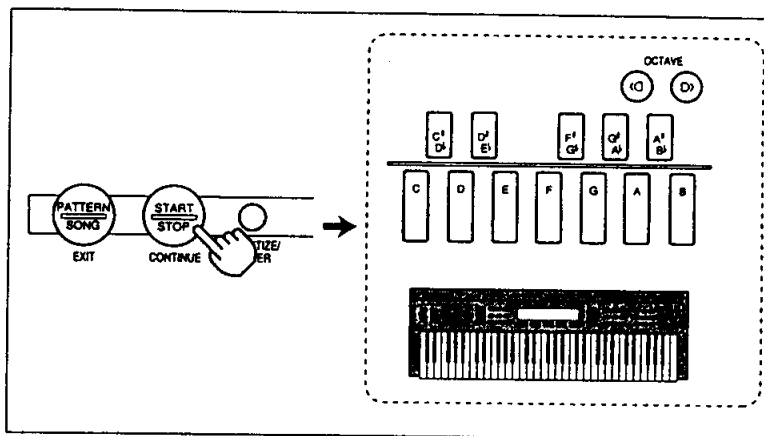
12 [-1] [+1] や数字ボタンで設定します。

- ・ 1～8 小節の範囲で設定できます。
- ・ 小節数の設定はセクションごとに記憶され、1つのパターンの中で異なる小節数のセクションが作れます。録音済セクションの小節数の変更は、トラックのいずれかが録音済み（録音スタートするだけで記憶されます）の場合、Err 02と表示され、変更できません。変更する場合、パターンクリアを行ってください。（パターンのクリア参照→P53）
- ・ [RECORD] を押すとパターンプレイ、[PATTERN/SONG] を押すと、レコードスタンバイに戻ります。

## 録音の開始と終了

13 [START/STOP] を押して、録音を開始します。

- ・ 2 小節のバックカウントが始まり、ミニ鍵盤や [C] [D] で録音します。
- ・ パターンの録音は、設定した小節の中を何度も繰り返しオーバーレコーディングされます。
- ・ むずかしい旋律や和音などのノートデータ（押鍵）や、ピッチベンドやサステインは外部 MIDI キーボードで入力すると簡単です。



14 [START/STOP] を押して、録音を終了します。

15 上記の録音の操作を繰り返してすべてのトラックを録音します。

- ・ 録音した音程は、ABC 機能で各コードに転回されるため、弾いた音程通りに鳴らない場合があります。

## 5. パターンモード

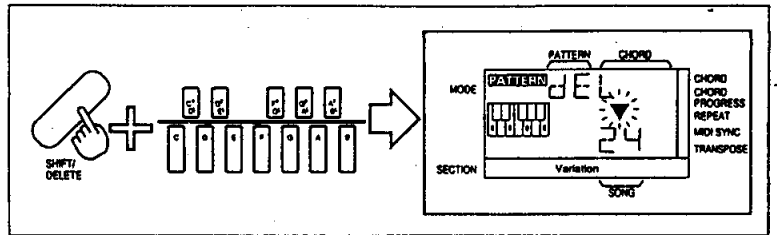
### データのデリート (削除)

間違って録音したノートデータ (押鍵)、ピッチベンド、サステインを削除します。

- ・ 通常の録音のように、録音を開始した状態で以下の操作を行います。



削除したいノートデータ、ピッチベンド、サステインが記録されているところで、[DELETE (SHIFT)] を押しながらミニ鍵盤のいずれかを押します。



- ・ [SHIFT] とミニ鍵盤を押しているあいだ、画面に d E L が表示されデータが削除されます。
- ・ リズムトラックの場合は、ミニ鍵盤の各キーに対応したドラム音が削除されます。
- ・ 詳しくはソングレコードのデータのデリート (→P29) をご参照ください。

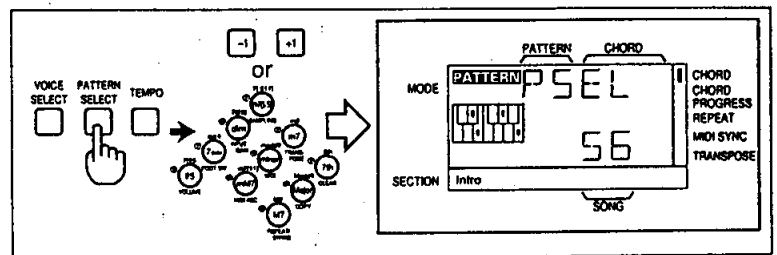
### 練習 (ユーザーパターンの録音)

#### パターンの各トラックの録音にトライしてみよう

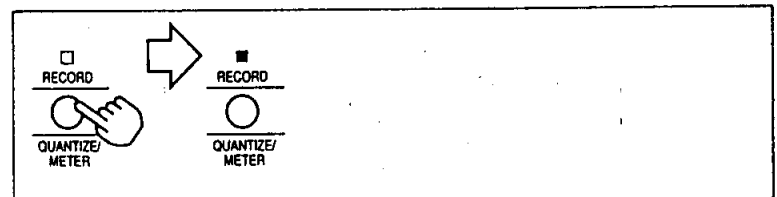


- 1 [PATTERN/SONG] を押して **PATTERN** の表示にします。  
・ 演奏中の場合はストップさせ、[PATTERN/SONG] を押してパターンモードにします。

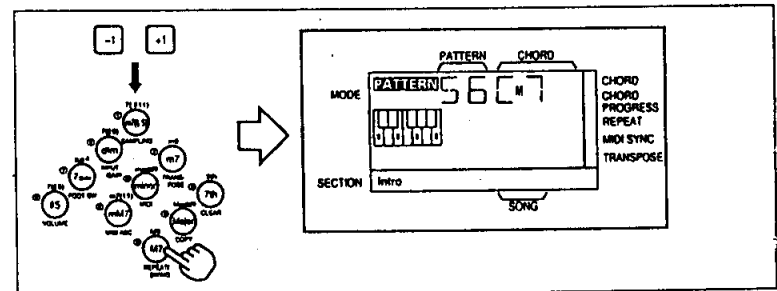
- 2 ユーザーパターン [50~59] から録音していないパターンを選びます。



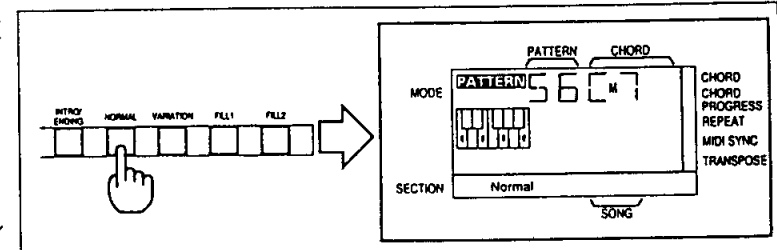
- 3 [RECORD] を押してレコードスタンバイにします。



- 4 [-1] [+1] とコードボタンで、CM7のコードを設定します。



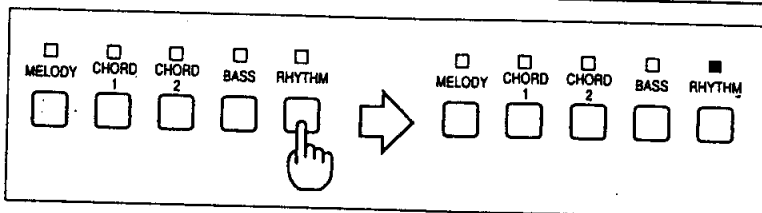
- 5 [NORMAL] セクションを選びます。
- 6 ボイス・テンポ・クオンタイズは各トラックの録音のところで設定します。
- 7 拍子・小節数は初期値の 4 / 4 と 2 小節のままで行います。



## リズムトラックを録音します

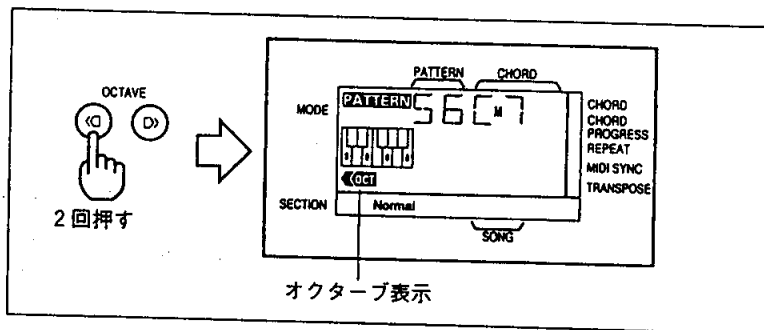
### 8 [RHYTHM]を押します。

- リズムトラックのランプが点灯します。

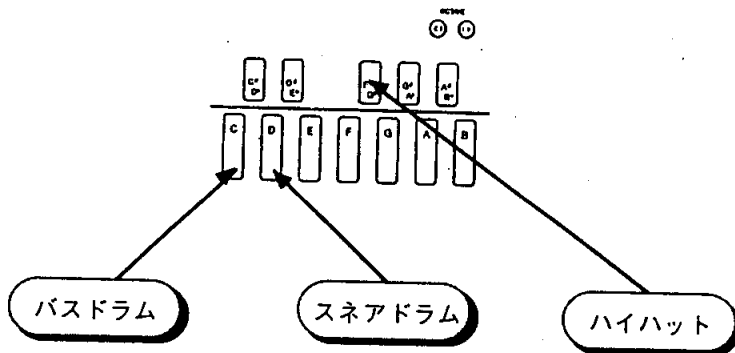


- [TEMPO]を押して、90 くらいに設定します。
- [SHIFT] を押しながら [RECORD] を押し、クオンタイズを8に設定します。

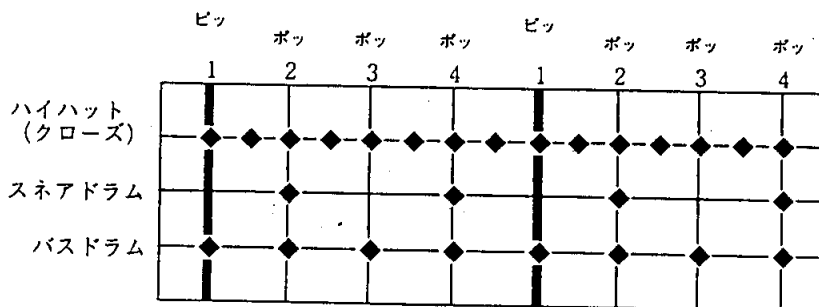
### 9 [OCTAVE]の[<<D]で一番低い音域を選びます。



- 次の鍵盤を使います。



- 録音するのは次のリズムパターンです。
- 2小節1パターンです。



### 10 [START/STOP]を押して録音を開始します。

- カウント (ビッポッポッポッ) の音に合わせてバスドラムから録音します。
- 2小節が終ると、入力したパターンが再生されます。それを聴きながら更にスネアドラム、ハイハット (クローズ) を録音します。

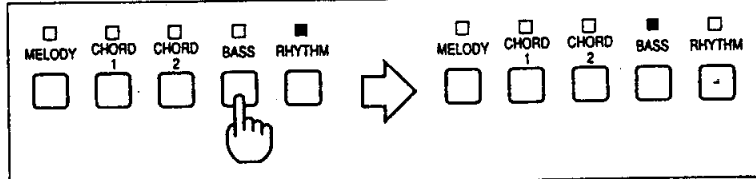
### 11 [START/STOP]を押して録音を終了します。

- 録音を間違えたときは、デリート (削除) してやりなおします。 (→P46)

## 5. パターンモード

### ベーストラックを録音します

**12** もう一度 [RECORD] を押して  
(レコードスタンバイで)  
[BASS] を押します。



- ・ ベーストラックのランプが点灯します。
- ・ [VOICE SELECT] を押して、27 になっていることを確認します。
- ・ テンポとクオンタイズ、そしてオクターブの設定は、先ほどのままで良いでしょう。
- ・ [PATTERN/SONG] を押して、レコードスタンバイに戻ります。

録音するのは次のベースパターンです。



**13** [START/STOP] を押して録音を開始します。

- ・ カウント (ピッポッポッポッ) に合わせてミニ鍵盤の低い方のCを押します。

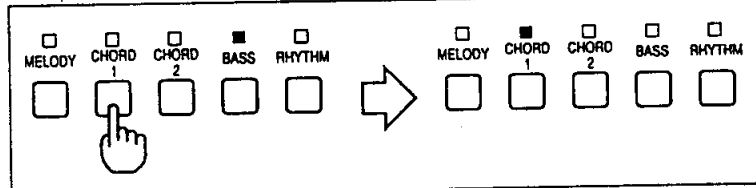
**14** [START/STOP] を押して録音を終了します。

- ・ 録音を間違えたときは、デリート (削除) してやりなおします。 (→P46)



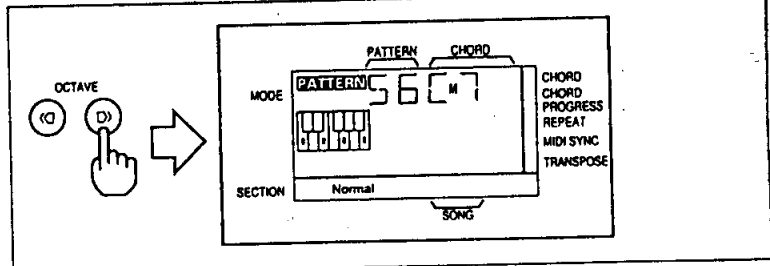
### コードトラックを録音します

**15** レコードスタンバイで [CHORD  
1] または [CHORD2] を押しま  
す。



- ・ ここでは [CHORD1] を押しま  
す。
- ・ コード1トラックのランプが点灯します。
- ・ [VOICE SELECT] を押して、00 になっていることを確認します。
- ・ テンポとクオンタイズの設定は、先ほどのままで良いでしょう。
- ・ [PATTERN/SONG] を押して、レコードスタンバイに戻ります。

**16** [OCTAVE] の [D] でまん中の  
音域を選びます。



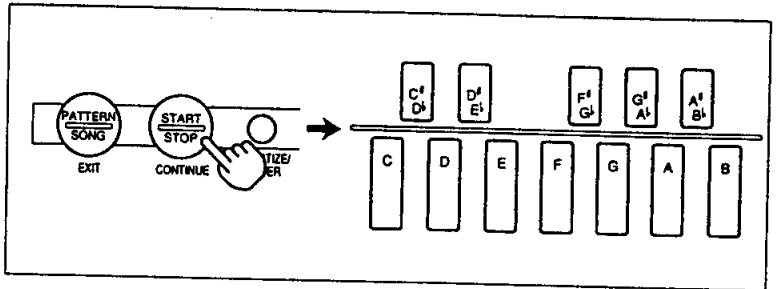


録音するのは次のアルペジオパターンです。



17 [START/STOP] を押して録音を開始します。

- ・ カウント (ピッポッポッポッ) に合わせて録音しましょう。
- ・ 和音の録音は、一度に録音せず、単音ずつ重ね録音すると簡単にできます。



18 [START/STOP] を押して録音を終了します。

- ・ 録音を間違えたときは、デリート (削除) してやりなおします。 (→P46)
- ・ 画面に表示されるコードの構成音を参考にいろいろなパターンを作ってみましょう。
- ・ 外部MIDI キーボードを使うと、もっと簡単に録音できます。またピッチベンドやサステインも録音できます。

WAIT を表示中に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。

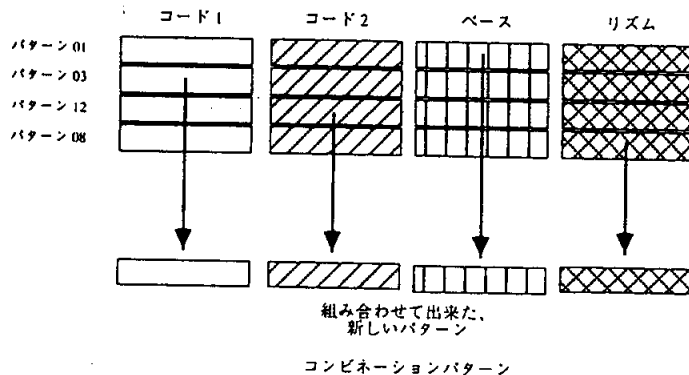


## コンビネーションパターンの録音

コンビネーションパターン [60~99] は、プリセットパターン [00~49] や、ユーザーパターン [50~59] の気に入ったトラックを組み合わせることで作るパターンです。

まずコンビネーションパターンを選び、そこに気に入ったパターンのトラックを選ぶことで作ることができます。

たとえば図のように、「パターン03のコード1」、「パターン12のコード2」、「パターン01のベース」そして「パターン08のリズム」をミックスする、という具合です。

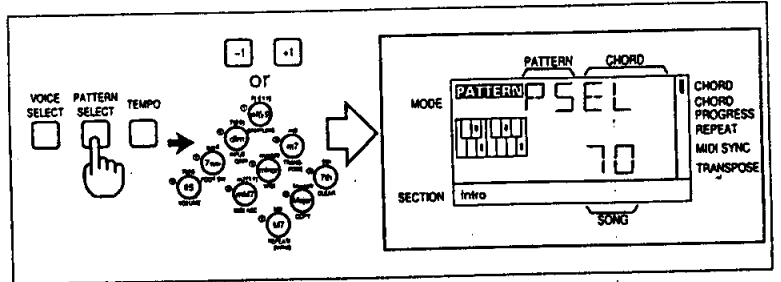


- ・ 演奏中のときは [START/STOP] を押してストップさせます。
- ・ **SONG** が表示されているときは、[PATTERN/SONG] を押して、**PATTERN** 表示にします。
- ・ レコーディングスタンバイで、コンビネーションパターンの4つのトラックに使用するソースパターンのトラックを選び [RECORD] を押して終了すると、コンビネーションパターンはできあがります。
- ・ コンビネーションパターンは録音するまで [00~39] と同じパターンが割り当てられています。

## 5. パターンモード

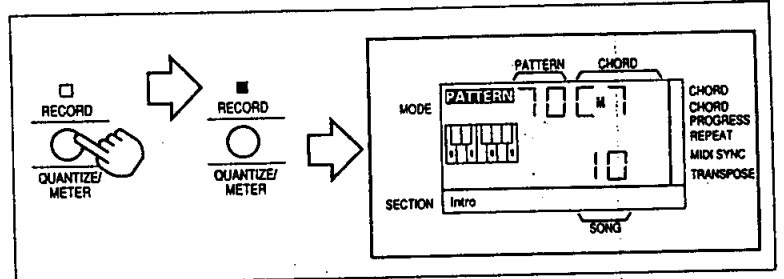
操作

- 1 [PATTERN SELECT] でパターン選択画面を表示させ、[-1] [+1] でコンビネーションパターン [60~99] を選択します。

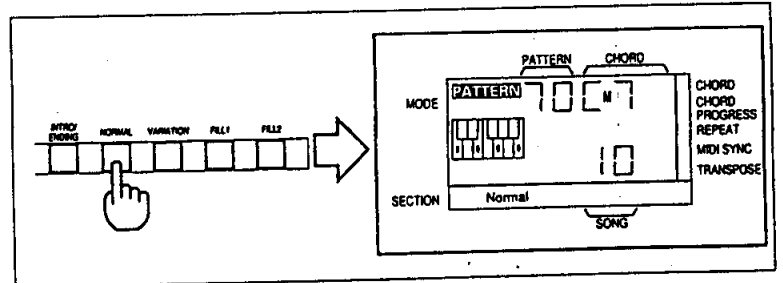


- ・画面上には現在選択されているコンビネーションパターンナンバーが表示されます。

- 2 [RECORD] を押します。

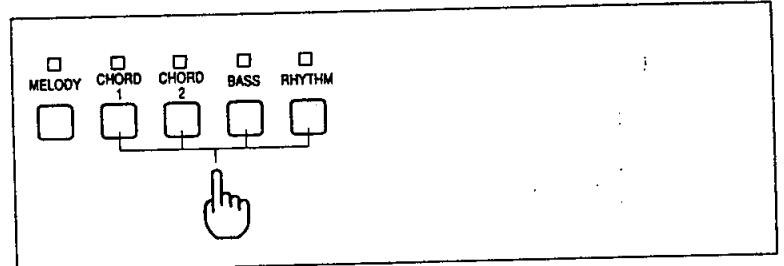


- 3 セクションを選択します。



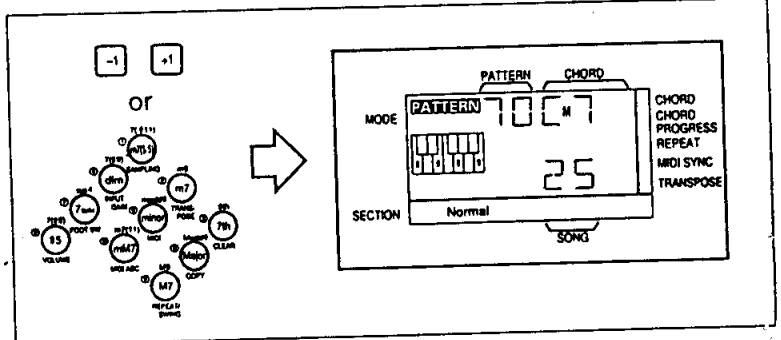
- 4 トラックを選択します。

- ・コピーしたいトラックを選びます。



- 5 [-1] [+1] や数字ボタンで使  
りたいソース (コピー元) パ  
ターンナンバーを選択しま  
す。

- ・ 選択できるナンバーは 00~59 です。
- ・ 画面下には現在選択されているソースパターンナンバーが表示されます。
- ・ 右の例では、「パターン25のNormalセクションのCHORD 2」トラックが、「パターン70のNormalセクションのコード2」トラックに設定されます。



- 6 [RECORD] をもう一度押し、プレイモードにもどります。

- ・ [START/STOP] を押し、コンビネーションパターンを確認します。

- 7 上記 4~5 の操作を繰り返してすべてのトラックを完成させます。



- ・ コンビネーションパターンは、ソーストラックのデータをコピーしているのではなく、データの番号だけを移し換え、再生しています。
- ・ コンビネーションパターンは、レコードスタートしながらでも、ソースとなるトラックデータの番号を変えることで、順次変更して録音することができます。この場合、録音中に新しいパターンナンバーを選ぶと、すぐにパターンの頭から演奏を開始します。
- ・ 各ソースパターンに小節数の違いがある場合は、一番長い小節数とそのコンビネーションパターンの小節数になります。また、小節の長さが揃うまで、短いトラックは最初から繰り返し演奏します。
- ・ ソースパターンの小節の長さが同じで、拍子が違う場合は、1小節で一番長い拍子とそのコンビネーションパターンの拍子になります。

### 3. パターンジョブ (その他の機能)

パターンモードでは、その他の機能として以下の機能があります。

- ・ ボリュームの設定
- ・ パターンのコピー (複写) [50~59]
- ・ パターンのクリア (消去) [50~59]
- ・ スィングの設定

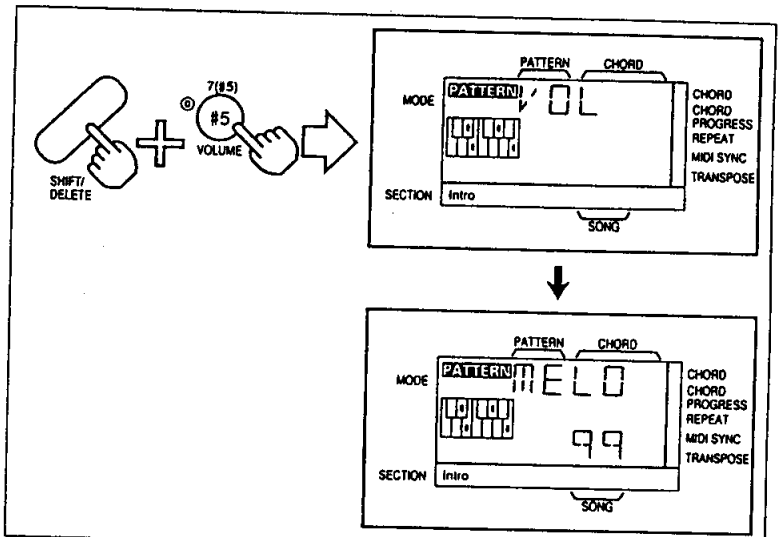
#### ボリュームの設定

メロディ、コード1、コード2、ベース、リズムのそれぞれのトラックの音量を設定します。パターンモードの画面で設定します。(→P39)

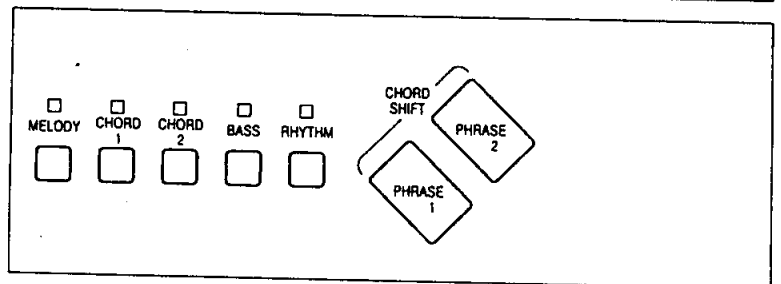


1 [SHIFT]を押しながら数字ボタンの⑤を押します。

- ・ それぞれ MELO (メロディ)、CHD1 (コード1)、CHD2 (コード2)、bASS (ベース)、rY (リズム) と表示され、その下側にボリューム値が表示されます。ソングの場合と異なり、アカンパニメントは4つのトラックそれぞれに設定できます。
- ・ ソングの場合と同じように、フレーズ1/2も設定することができます。(→P30)



2 ボリュームを設定したいトラックやフレーズを押します。



## 5. パターンモード

- ・ **MELO** (MELODY:メロディ)  
メロディトラックのノートデータの音量を設定します。  
MELO を表示させてミニ鍵盤を押すと、メロディトラックの音量を確認できます。  
ただし、パターンプレイモードではメロディトラックは選択できません。
  - ・ **CHD 1/2** (CHORD 1/2:コード1/2)、**BASS** (BASS:ベース)、**RY** (RHYTHM:リズム) も同様に設定できます。
- 3** [-1][+1] や数字ボタンで設定します。
- ・ 00~99 の範囲で音量を設定します。
  - ・ プリセットパターン [00~49] には、設定を記憶できません。
  - ・ ユーザーパターン [50~59] やコンビネーションパターン [60~99] には、パターンごとに設定が記憶されます。
- 4** [PATTERN/SONG] を押すとパターンモードの画面に戻ります。

### パターンのコピー

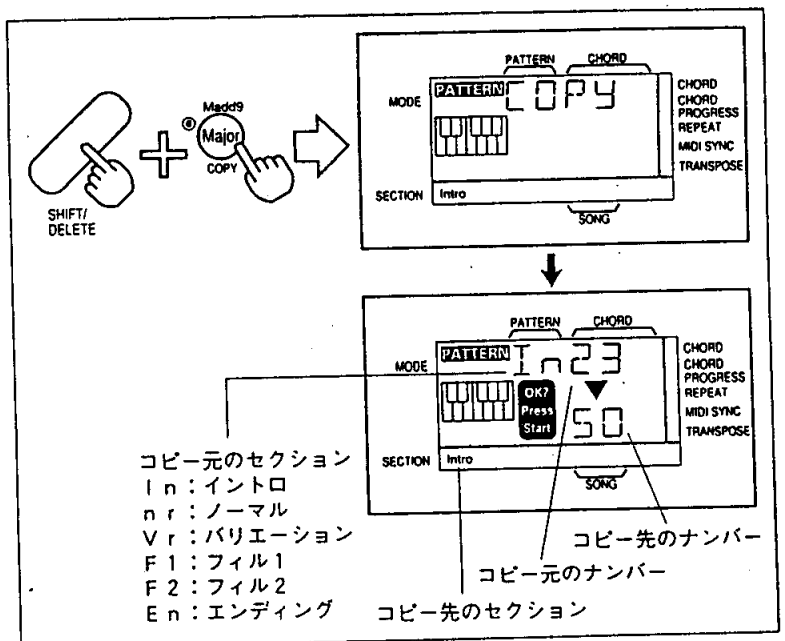
ユーザーパターン [50~59] のセクションごとに他のパターンをコピーします。  
プリセットでもコンビネーションでもユーザーでも、既存のパターン/セクションを修正して新しいパターンを作るときに便利です。

- ・ 演奏中の場合は [START/STOP] を押してストップさせます。
- ・ あらかじめ、コピー元のパターンナンバー [00~99] とセクションを選択しておきます。  
(パターンナンバーの選択参照→P39)



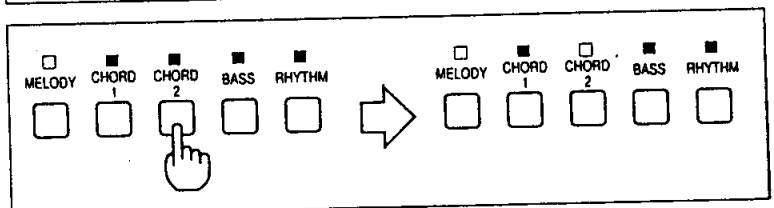
**1** [SHIFT] を押しながら数字ボタンの **6** を押します。

- ・ 押しているあいだ COPY が表示されます。
- ・ 離すと、コピー元のセクションとパターンナンバーが表示されます。また、▼の下にコピー先のナンバーとセクションが表示されます。
- ・ [PATTERN/SONG] を押すと、コピーを中断して元の画面に戻ります。



**2** コピーしたくないトラックがある場合、そのボタンを押してランプを消灯させます。

- ・ トラックボタンは押すごとに点灯、消灯を繰り返します。



3 [-1] [+1] または数字ボタンでコピー先のパターンナンバーを選択します。

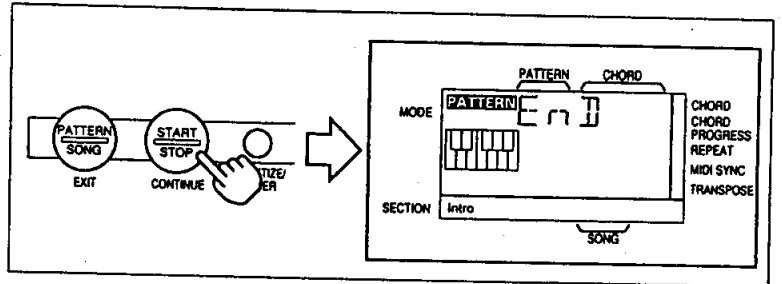
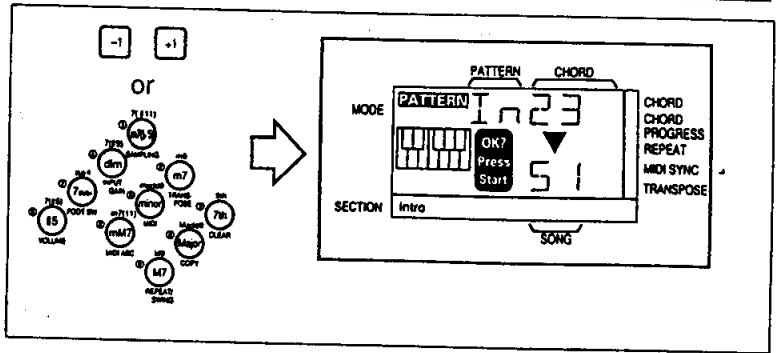
- ・ コピー先は 50~59 のユーザーナンバーだけです。

4 コピー先のセクションを選択します。

- ・ コピー元とコピー先の小節数が異なっている場合もコピーできますが、異なった拍子のパターン間ではコピーすることはできません。

5 [START/STOP] を押してコピーを実行します。

- ・ コピーが実行され END が表示されます。



- ・ ボイスデータ、スイングデータ、テンポデータ、トラックボリュームも一緒にコピーされます。
- ・ プリセットパターンをユーザーパターンにコピーするとコード変換テーブルの機能が、プリセットパターンとユーザーパターンで異なるため、オクターブの位置が変わる場合があります。
- ・ コピーされたデータはコピー先の内容に合わせるため、自動的に調整されてコピー元と一部変わる場合があります。
- ・ コピーを実行したくない場合は、[PATTERN/SONG] を押してコピーモードから抜けます。
- ・ 記録しているデータ量が規定量に達するとメモリーフル (エラーメッセージの Err 03) を表示します。(→ P69)

WAIT を表示中に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。

## パターンのクリア (消去)

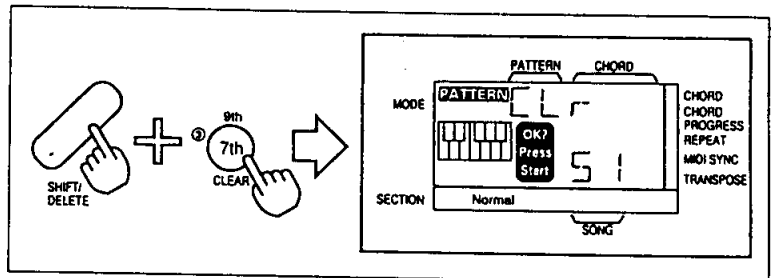
パターン [50~59] のセクションごとにデータをクリア (消去) します。

- ・ 演奏中の場合は [START/STOP] を押してストップさせます。
- ・ 50~59 の消去したいパターンとセクションを選びます。



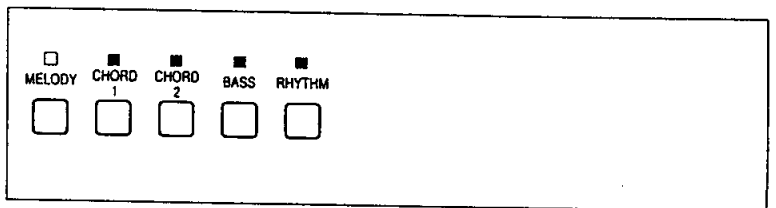
1 [SHIFT] を押しながら数字ボタンの ③ を押します。

- ・ [PATTERN/SONG] を押すと消去を中止してクリアを終了します。



2 消去したいトラックボタンを押して、ランプを点灯させます。

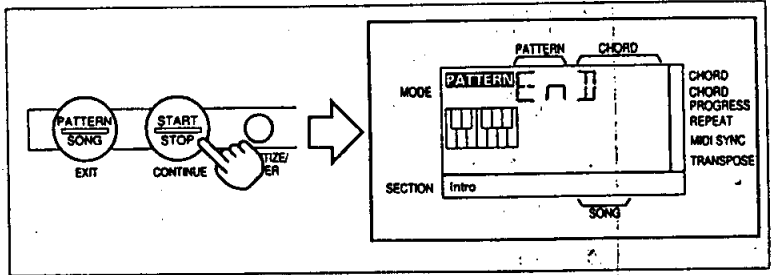
- ・ ランプが点灯しているトラックが消去されます、消去したくないトラックはそのボタンを押してランプを消します。
- ・ トラックボタンは押すごとに点灯、消灯を繰り返します。



## 5. パターンモード

3. [START/STOP] を押して、消去を実行します。

- ・ ENDが表示され、消去が実行されます。



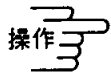
- ・ クリアを実行したくない場合は、[PATTERN/SONG] を押してクリアモードから抜けます。
- WAITを表示中に電源を切らないでください。データがすべて消え、故障の原因になります。



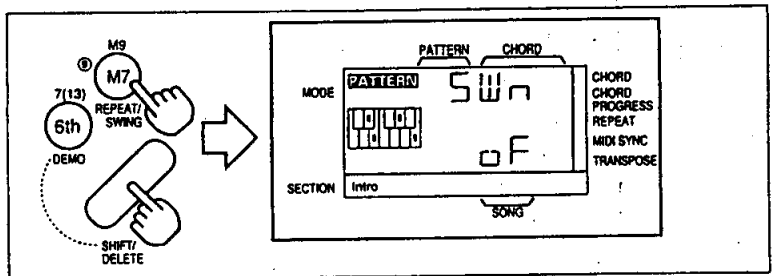
## スイングの設定

通常のリズムを弾んだ（スイングした）リズムにします。

- ・ スイングは、パターンモードで設定します。
- ・ パターンごとに異なるスイングの設定ができます。スイングの設定は記憶され、ソングモードでパターンを使用する場合にもその設定は有効です。



1 [SHIFT] を押しながら数字ボタンの 9 を押します。



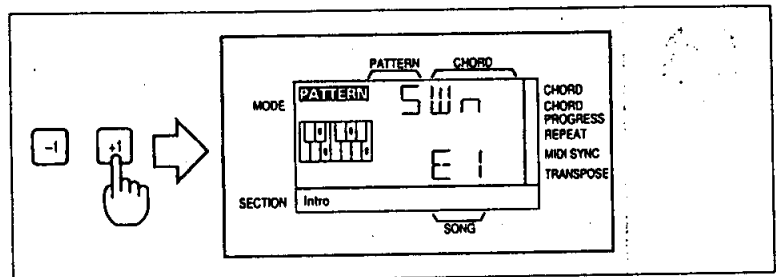
2 [-1] [+1] ボタンを押して設定します。

データ

○ F=OFF

E 1～E 9 8ビート系用

S 1～S 5 16ビート系用



- ・ E 1 よりも E 9、S 1 よりも S 5 の方が、弾んだリズムになります。
- ・ E 4 または S 2 を設定すると 3 連符の効果が出ます。
- ・ 8 ビート系のパターン（例えばパターン 11 など）に対して S 1～S 5 を設定しても効果はありません。また、その逆に 16 ビート系のパターンに対して E 1～E 9 を設定しても効果はありません。
- ・ パターンを演奏中にスイングの設定ができます。
- ・ パターンを録音中はスイングがかかりません。

## 6. システム機能について

システム機能は、パターンモード、ソングモードのどちらのモードからでも、メイン画面のときに呼び出すことができます。メイン画面とは PATTERN/SONG ボタンを押して新しく **PATTERN** や **SONG** の表示にした状態を意味します。

### サンプリングボイスの録音

- ボイスナンバーの選択
- サンプリング時間の設定
- サンプリングの開始

### MIDI機能

- MIDIバルクダンプ機能
- MIDIシンクの設定

### MIDI ABC機能

- MIDI ABCの設定
- MIDI ABCゾーンの設定 (最低音)
- MIDI ABCゾーンの設定 (最高音)

### フットスイッチ機能

- フレーズタイプの選択
- トランスポーズの設定
- 入力レベルの設定

## サンプリングボイスの録音

サンプリングボイスは、内蔵マイクや外部機器を使って録音します。録音したサンプリングボイスは他のボイスと同様に使用できます。

パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

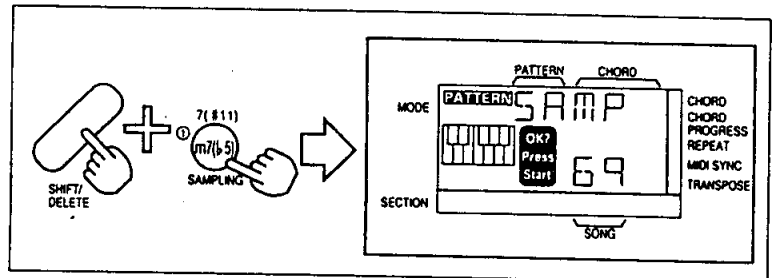
録音の画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。

## ボイスナンバーの選択



- 1 [SHIFT]を押しながら、数字ボタンの①を押します。

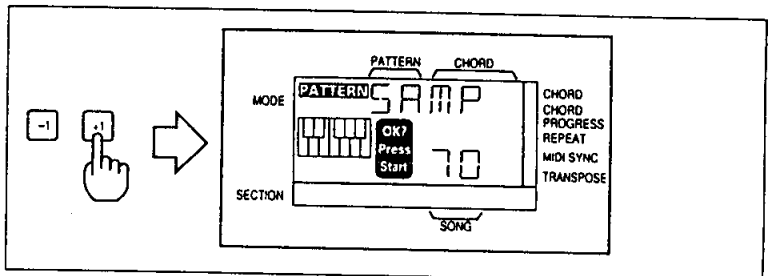
- 押すごとに、ボイスナンバーの選択画面と、次に説明するサンプリング時間の設定画面が、交互に切り替わります。



- 2 [-1] [+1] で録音するボイスナンバーを選択します。

- サンプリングボイスは [69, 70] の2つのナンバーに録音できます。
- ここで [START/STOP] を押すと、サンプリングスタンバイ状態になります。

(サンプリング開始参照→P56)

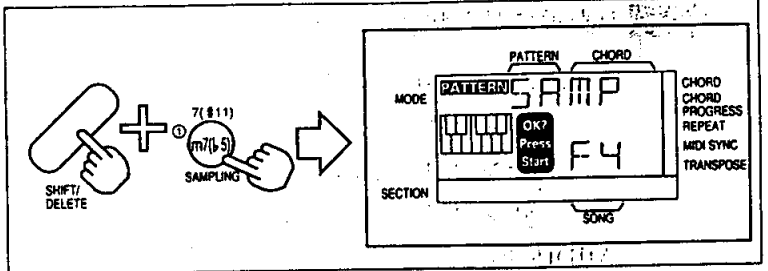


## 6. システム機能について

### サンプリング時間の設定

- 3 ボイスナンバーを選んだ状態から、[SHIFT] を押しながら、数字ボタンの①を押します。

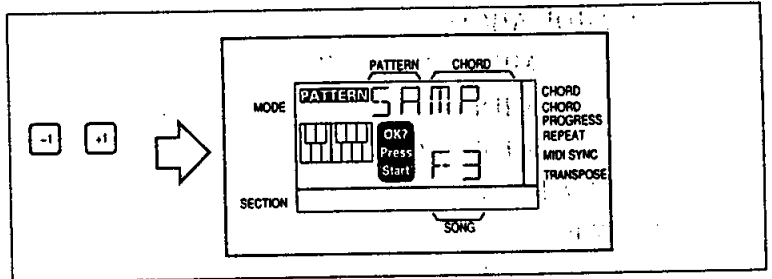
- サンプリング時間の種類が表示されます。
- 押すごとに、ボイスナンバーの選択画面と、サンプリング時間の設定画面が、交互に切り替わります。



- 4 [-1] [+1] でサンプリング時間を設定します。(F1~F4)

- サンプリング時間は次のようになっています。

画面表示	サンプリング時間	音質
F1	3.2秒	低
F2	2.0秒	↑
F3	1.2秒	↓
F4	0.8秒	高

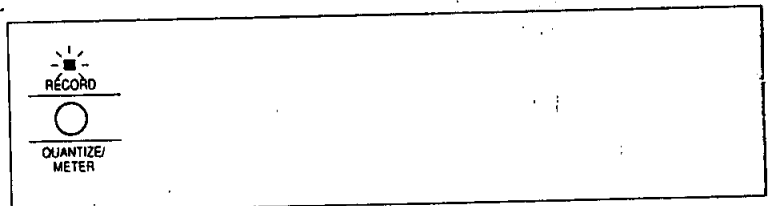
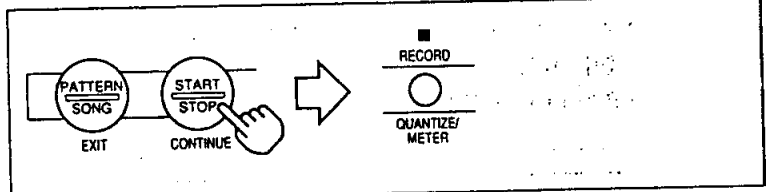


- サンプリング時間が短いほど良い音で記録できます。
- ここで[START/STOP]を押すと、サンプリングスタンバイ状態になります。(次のサンプリング開始参照)

### サンプリング開始

- 5 [START/STOP] を押すと、内蔵マイクによりサンプリングを開始します。

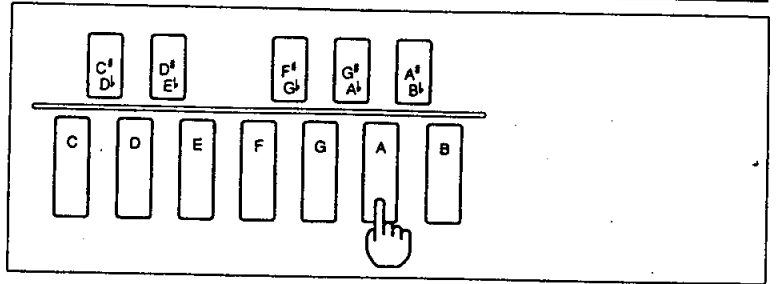
- [RECORD] のランプが点灯します。内蔵マイクで音声信号を入力してください。または外部機器からインプット端子に音声信号を入力してください。
- 一定の入力レベルを超えると録音が自動的にスタートします。(音によっては頭が欠ける場合があります。)
- フットスイッチが ON になっていると外部入力端子から入力することはできません。(フットスイッチ機能参照→P61)
- INPUT 端子を使って外部信号を録音する場合、内蔵マイクは自動的にオフになります。
- 録音がスタートすると、[RECORD] のランプが点滅します。
- 設定した時間だけ録音され、自動的に終了します。



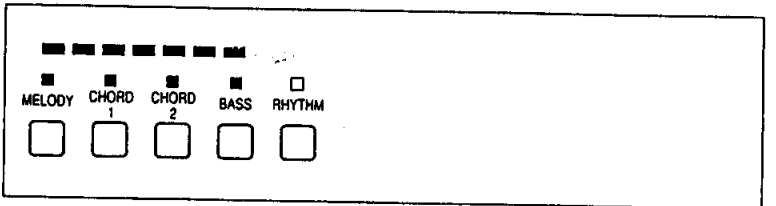


6 ミニ鍵盤のAを弾いてみましょう。

- 画面にオクターブボタンの表示がないとき、記録したそのままの音程で確認できます。
- その他の鍵盤を弾くと、サンプリングボイスで音階演奏ができます。
- [START/STOP] を押せば何回でも録音をやりなおすことができます。



- トラックのランプが録音のレベルメーターとして機能します。録音レベルは、後で説明する入力レベルの設定を行った上で、ランプの4つが点灯して5つ目が時々点灯するように、音源からの距離や、外部機器のボリュームで調節してください。  
(入力レベルの設定参照→P63)



7 [EXIT (PATTERN/SONG)] を押すと、録音を終了し、元のモードに戻ります。

- 録音したサンプリングボイスは、パターンやソングデータと同じように、ヤマハ MDF2 のような MIDI データファイラーを使って保存することができます。  
(次のMIDI 機能参照)



## MIDI 機能

QR10 の内部データの送信や受信、外部機器との同期演奏の設定をします。

パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

バルクダンプやシンクの設定の画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。

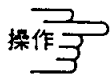
## MIDI バルクダンプ

インターナルメモリーの全データを送信します。

QR10 で作成した大切なデータを、ヤマハ MDF2 のような MIDI データファイラーを使って保存する機能です。

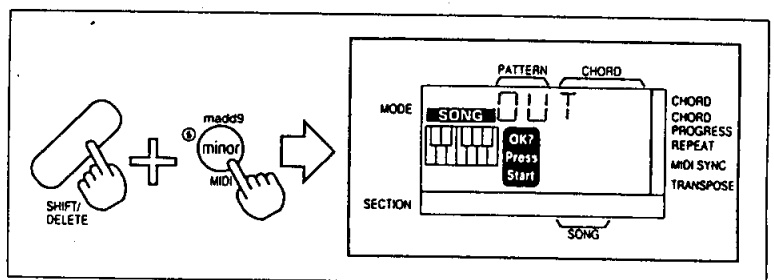
下記の操作に移る前に、MIDI ケーブルを使って QR10 と MDF2 を接続します。

(QR10 MIDI OUT → MDF2 MIDI IN)



1 [SHIFT] を押しながら数字ボタンの 5 を押します。

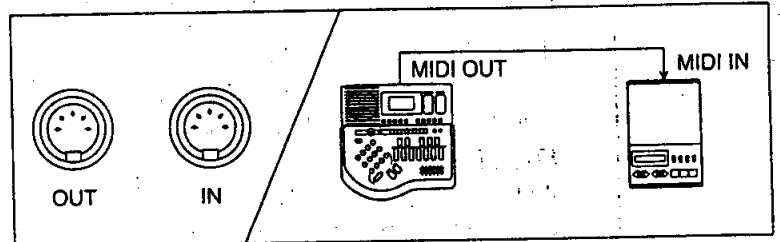
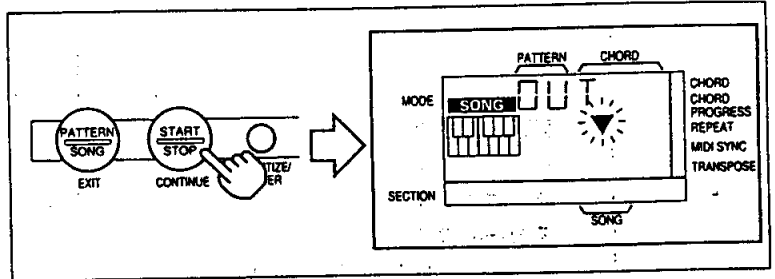
- 押すごとに、MIDI バルクダンプ画面と、次に説明するシンク画面が、交互に切り替わります。



## 6. システム機能について

### 2 [START/STOP] を押します。

- ・ 送信がはじまると、画面の▼が点滅します。
- ・ 送信が終了すると E n D が表示され、メイン画面に戻ります。



### MIDI バルクレシーブ

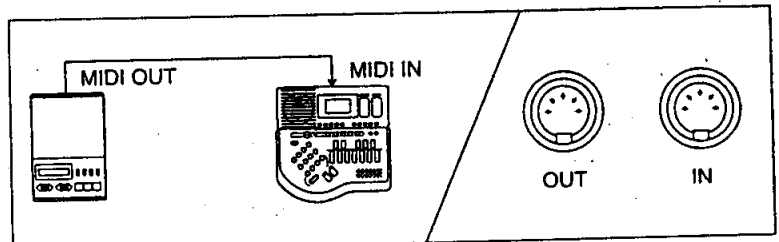
インターナルメモリーの全データを受信します。

パターンモード、ソングモードのメイン画面のとき、バルクダンプ機能を使って保存したデータが送られてくると、受信することができます。

下記の操作に移る前に、MIDI ケーブルを使って QR10 と MDF2 を接続します。

(QR10 MIDI IN ← MDF2 MIDI OUT)

- ・ 受信がはじまると、画面に I n 表示され▼が点滅します。
- ・ 受信が終了すると E n D が表示され、メイン画面に戻ります。
- ・ システム機能の場合やレコードスタンバイ状態の時に受信するとエラーメッセージ Err 06 が表示され受信できません。



- ・ 外部データを受信すると、受信前に QR10 に記録していたデータはすべて消去されます。



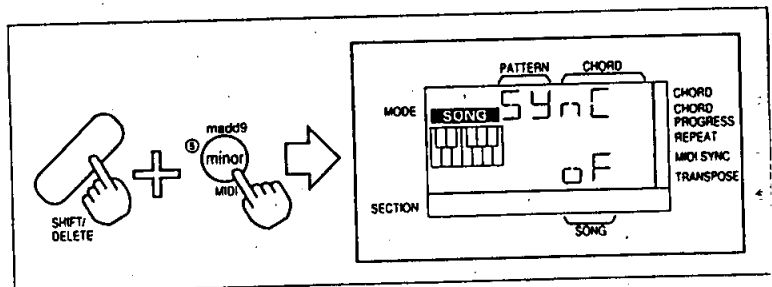
注意

### MIDI シンクの設定

外部 MIDI 機器のテンポに QR10 を同期させる機能です。

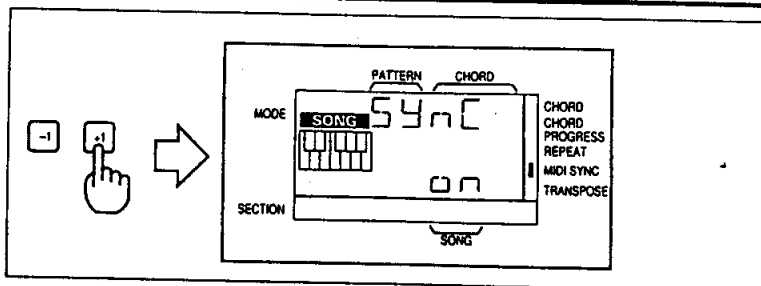
### 3 MIDIバルクダンプの画面から、[SHIFT] を押しながら数字ボタンの 5 を押します。

- ・ 押すごとに、バルクダンプ画面とシンク画面が、交互に切り替わります。



4 [-1] [+1] でシンクの設定をします。

- ・ on で MIDI タイミングクロックを受信できますが、タイミングクロックが送られてこないとき QR10 の [START/STOP] を押しても、演奏はスタートしません。
- ・ off で MIDI タイミングクロックを受信しません。単体で使用されるときは、この設定にします。
- ・ on にすると、画面右端の MIDI SYNC に ■ が表示され、テンポ表示は “---” になります。



## MIDI ABC機能

QR10 の ABC 機能 (オートベースコード機能) は、外部 MIDI キーボードで押えた和音を検出し、そのコードでパターンを再生するという自動伴奏機能です。

たとえば、MIDI キーボードの左端1オクターブを ABC が機能する範囲に設定し、そのオクターブ内で [ドミソ] の和音を弾くと、QR10 が和音を読みとり 「Cメジャー」を画面に表示して、読みとったコードでパターンを自動演奏します。

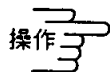
ここでは、MIDI ABC ゾーンの ON/OFF、ゾーンの範囲設定を行います。

パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

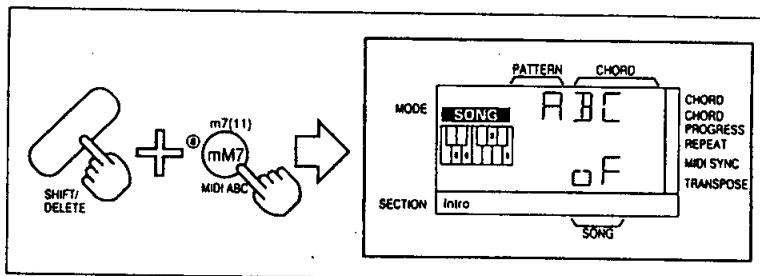
MIDI ABC の設定の画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。

## MIDI ABC ゾーンの ON/OFF



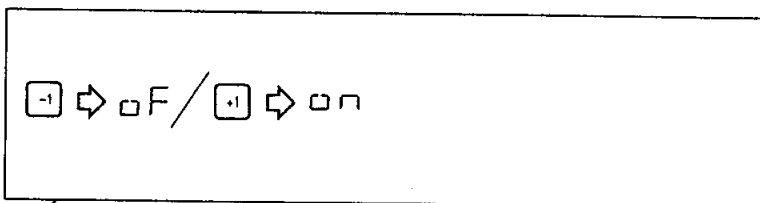
1 [SHIFT] を押しながらか数字ボタンの 3 を押します。

- ・ 押すごとに、MIDI ABC ゾーンの ON/OFF 画面と、次に説明する最低音の設定画面、最高音の設定画面の3つが切り替わります。



2 [-1] [+1] で ON/OFF の設定をします。

- ・ on にすると MIDI ABC ゾーンが有効になり、外部の MIDI キーボードを接続した場合、次項の ABC ゾーン内の鍵盤の音は鳴りません。
- ・ off にすると MIDI ABC ゾーンが無効になり、MIDI ABC は機能しません。
- ・ MIDI ABC 機能は、画面右端の CHORD に ■ が表示されている場合に使用できます。



注意

## 6. システム機能について

### MIDI ABCゾーンの最低音の設定

3 MIDI ABCゾーンの ON/OFF 画面から、[SHIFT] を押しなが  
ら数字ボタンの③を押しま  
す。

- 押すごとに、MIDI ABC ゾーンの ON/OFF 画面、最低音の設定画面、後に説明する最高音の設定画面の3つが切り替わります。

手を離すと右図

4 [-1] [+1]が数字ボタンで、最  
低音の値を設定をします。ま  
た、外部 MIDI キーボードを  
接続しているときは、鍵盤か  
ら直接設定することもできま  
す。

- 範囲は 00~127 です。
- 初期値は 36 になっています。これは 61 鍵のキーボードの場合、左端の C1 になります。

### MIDI ABC ゾーンの最高音の設定

5 最低音の設定画面から、  
[SHIFT] を押しなが  
ら数字ボタンの③を押しま  
す。

- 押すごとに、MIDI ABC ゾーンの ON/OFF 画面、最低音の設定画面、最高音の設定画面の3つが切り替わります。

手を離すと右図

6 [-1] [+1]が数字ボタンで、最  
高音の値を設定します。ま  
た、外部 MIDI キーボードを  
接続しているときは、鍵盤か  
ら直接設定することもできま  
す。



- ・ 範囲は 00~127 です。
- ・ 初期値は 54 になっています。これは 61 鍵のキーボードの場合、左から 2 番目の F#2 になります。
- ・ 最高音を最低音より低く設定したり、逆に最低音を最高音より高く設定することはできません。
- ・ MIDI ABC 機能は、どの MIDI チャンネルでも機能します。

## フットスイッチ機能

INPUT 端子にフットスイッチをつないで、[START/STOP] を押す代わりにスタート/ストップを行ったり、コードプログレス機能でのコードチェンジを行うことができます。

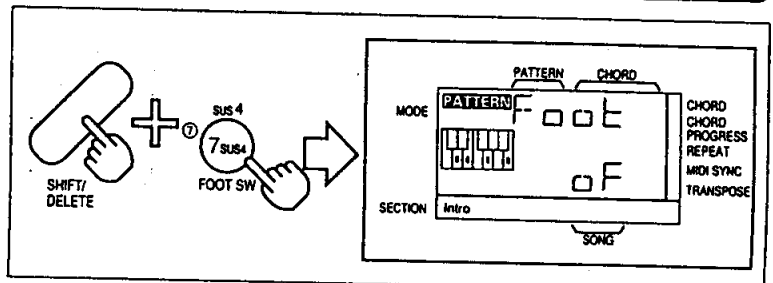
パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

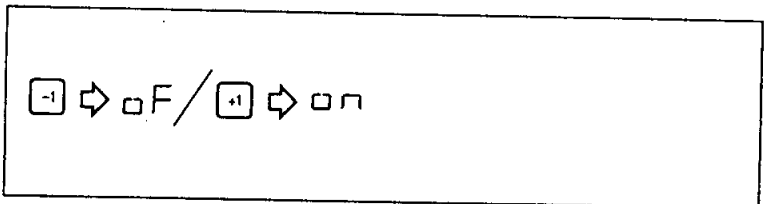
フットスイッチ画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。



- 1 [SHIFT] を押しながら数字ボタンの 7 を押します。



- 2 [-1] [+1] で ON/OFF の設定をします。



- ・ on にするとフットスイッチが有効になり、外部入力による音声入力はできなくなります。
- ・ off にするとフットスイッチが無効になり、外部入力による音声入力ができるようになります。
- ・ 通常はスタート/ストップの機能になります。コードプログレス機能のときは、  
最初踏むとスタート  
次からは踏むごとにコードチェンジ  
コードがなくなってから踏むとストップの機能になります。
- ・ 電源を入れた状態で INPUT ジャックに接続しないでください。故障の原因になります。電源を切って接続してください。



## 6. システム機能について

### フレーズタイプの選択

QR10には2つのPHRASE（フレーズ）パッドがあり、それぞれのパッドには50種類のソングのスタイルに合ったフレーズが内蔵されています。合計で100種類のフレーズは、どのソングナンバーにでも選択、設定できます。

ソングを演奏するとき効果のあるフレーズタイプを選択します。

フレーズタイプを変えると、音色は最も適したものに自動的に変わります。

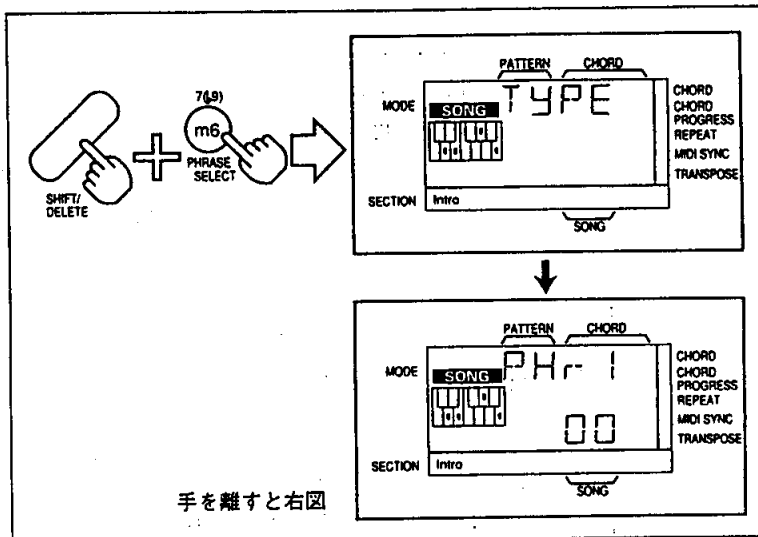
パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

フレーズタイプの選択画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)]を押します。



- 1 [SHIFT] を押しながら数字ボタンのm6を押します。

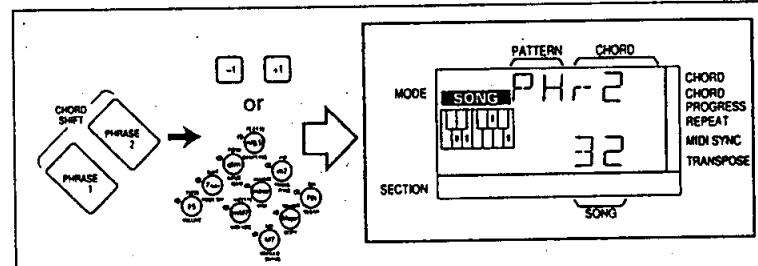


- 2 選択したい [PHRASE1] か [PHRASE2] を押し、[-1] [+1] か数字ボタンで設定します。

- [PHRASE1] と [PHRASE2] には、それぞれ00~49まで、50種類のフレーズタイプがあります。

- 現在選択しているソングがユーザーソングのとき、[PHRASE1][PHRASE2]にそれぞれのタイプを記憶することができます。

- フレーズタイプは他のソングを選んだり、パターンモードに移ったり、電源をオン/オフしたりすると、初期設定のフレーズに戻ります。
- フレーズ機能はパターンモードでは機能しません。



## トランスポーズ

半音単位でQR10の音程を上下します。この機能を使うと、移調の操作が簡単に行えます。

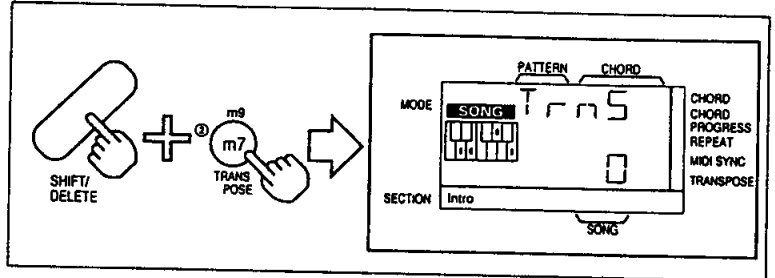
パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中のときはストップします。

トランスポーズの設定画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。

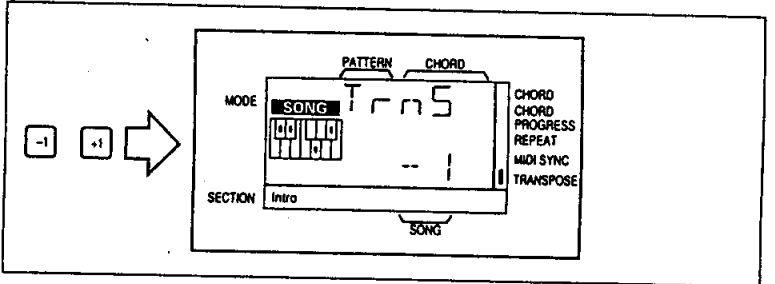


- 1 [SHIFT] を押しながらか数字ボタンの②を押します。



- 2 [-1] [+1] でトランスポーズを設定します。

- ・ -12~+12の上下1オクターブの範囲で半音ずつ設定できます。
- ・ トランスポーズ機能がオフの場合は0です。またそれ以外の場合(トランスポーズ機能がオン)は、画面右のTRANSPOSEに■が表示されます。



## 入力レベルの設定

INPUT 端子に音声信号を入力する場合の入力レベル設定機能です。

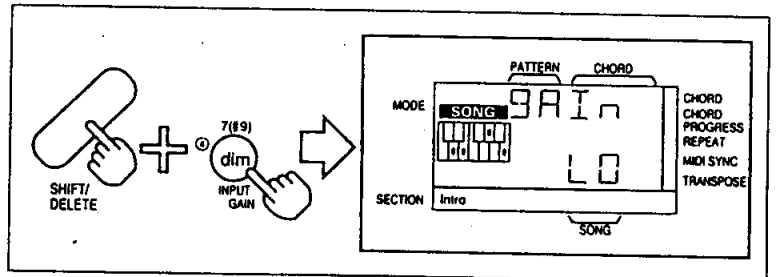
パターンモード、ソングモードのメイン画面から呼び出します。

演奏中の場合はストップします。

入力レベルの設定画面から抜きたいときは、[EXIT (PATTERN/SONG)] を押します。

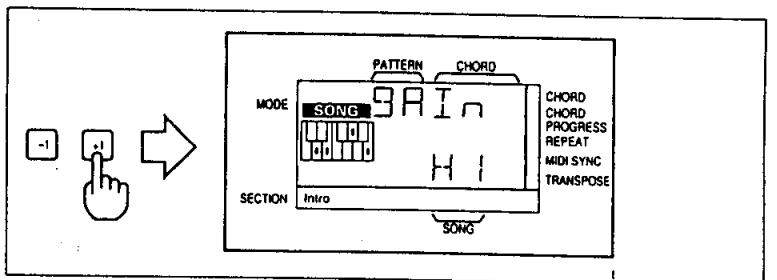


- 1 [SHIFT] を押しながらか数字ボタンの④を押します。



- 2 [-1] [+1] でゲインを設定します。

- ・ 外部入力にマイクを使うときはH1 ([+1]) にします。
- ・ 外部入力にエレキギターやキーボードやカセットデッキやCDプレイヤーを接続するときはL0 ([-1]) にします。



# 7. 資料

## 1. 仕様

### 音源部

音源方式  
最大同時発音数  
マルチティンバー数  
プリセット音色数

AWM音源  
28音  
16音色  
ノーマルボイス 69  
ドラムボイス 60

### サンプリング

サンプリング数  
サンプリング時間  
録音ソース

2音色録音可能 (バッテリーバックアップ機能付)  
最大3.2秒  
内蔵マイク 又はエクスターナルインプット

### シーケンサー部

ソング  
ソング数  
トラック構成  
フレーズ数  
コードタイプ  
パターン  
パターン数  
セクション  
トラック構成  
入力方式  
分解能  
その他の機能

100 (プリセット 50 / ユーザー 50)  
2 (アカンパニメントトラック / メロディトラック)  
100種類 (2つのパッドそれぞれに50種類)  
12ルート×24タイプ  
100 (プリセット 50 / ユーザー 10 / コンビネーション 40)  
6 (イントロ / ノーマル / バリエーション / フィル1 / フィル2 / エンディング)  
4 (リズム / ベース / コード1 / コード2)  
リアルタイムでオーバーレコーディング  
96分音符 (♩/24)  
スイング / リピート

### 操作子

パワースイッチ / マスターボリューム

### パネルスイッチ

48

### 表示

LCD (バックライトなし)  
LED6個

### 接続端子

MIDI IN/OUT各1  
ヘッドフォン 1 (ステレオミニジャック)  
ラインアウト 1 (ステレオミニジャック) 出力インピーダンス 1KΩ  
エクスターナルインプット 1 (標準ジャック) 入力インピーダンス 330KΩ  
DC IN

### 電源

単3乾電池×6本

### 電池寿命

ACアダプター (別売PA-3)  
(本体スピーカを最大音量で鳴らしたとき、マンガン乾電池で約1時間、アルカリ乾電池で約5時間の連続使用が可能。ヘッドフォンを使用の場合、マンガン乾電池で約3時間、アルカリ乾電池で約8時間の連続使用が可能。)

### 寸法

242.6(W) × 245.4(D) × 45.7(H)(mm)

### 重量

0.9kg (乾電池を除く本体のみ)

### 付属品

保証書、マンガン乾電池単36本

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



## 2. プリセットパターン&amp;ソングリスト

No.	カテゴリー	名前	拍子	No.	カテゴリー	名前	拍子
00	Dance & Pop	Disco	4/4	25		Rock Shuffle	4/4
01		Euro Beat	4/4	26		Boogie Woogie	4/4
02		Dance Pop	4/4	27		Rock'n' Roll	4/4
03		House	4/4	28	Jazz & Swing	Swing	4/4
04		Rap	4/4	29		Big Band	4/4
05		Dance Shuffle	4/4	30		Slow Swing	4/4
06	Funk & Soul	Funk Shuffle	4/4	31		Swing Waltz	3/4
07		16Beat Ballad	4/4	32	Dixieland	4/4	
08		16Beat Pop	4/4	33	Slow Fox	4/4	
09		24Beat Pop	4/4	34	Latin	Bossa Nova	4/4
10	Soul Ballad	4/4	35	Mambo		4/4	
11	Rock1	Piano Ballad	4/4	36		ChaCha	4/4
12		Analog Ballad	4/4	37		Rhumba	4/4
13		Folk Ballad	4/4	38		Tango	4/4
14		8Beat Pop1	4/4	39		Samba	4/4
15		8Beat Pop2	4/4	40	Caribbean	Reggae	4/4
16		8Beat Rock	4/4	41	Country & World	Country Ballad	4/4
17		Heavy Metal	4/4	42		Country Rock	4/4
18	Rhythm & Blues	R & B	4/4	43		Bluegrass	4/4
19		Soul Rock	4/4	44	Lambada	4/4	
20		Motown Shuffle	4/4	45	March & Waltz	March 1	4/4
21		Gospel	6/8	46		March 2	4/4
22		Slow Rock	4/4	47		Polka	4/4
23	Blues Boogie	4/4	48	Waltz	3/4		
24	Rock 2	Pop Shuffle	4/4	49	New Age	New Age	4/4

## 3. ボイスリスト

この表はQR10のボイスセレクトナンバーに対応しています。  
またMIDIのプログラムチェンジナンバーにも対応しています。  
発音数は最大28です。

NO.	カテゴリー	ボイスネーム	EL*	NO.	カテゴリー	ボイスネーム	EL*	
0	PIANO	Acoustic Grand Piano	1	35		String Ensemble 2	2	
1		Bright Acoustic Piano	1	36		String Ensemble 3	2	
2		Electric Grand Piano	2	37		Synth Strings	2	
3		Honky-tonk Piano	2	38		Hit Strings	2	
4		Electric Piano 1	1	39		Voice Oohs	2	
5		Electric Piano 2	2	40		Orchestra Hit	1	
6		Electric Piano 3	1	41		BRASS&REED	Trombone	1
7		Electric Piano 4	2	42			Brass Section	2
8	Clavi.	1	43	Synth Brass	2			
9	MALLET	Glockenspiel	1	44		Tenor Sax	1	
10	ORGAN	Percussive Organ	1	45	SYNTH LEAD	Synth Lead 1 (square)	2	
11		Rock Organ	1	46		Synth Lead 2 (saw tooth)	2	
12		Pipe Organ	2	47		Synth Lead 3 (fifth)	2	
13		Accordion	2	48		Synth Lead 4 (bass+lead)	2	
14	GUITAR	Acoustic Guitar (steel)	1	49	SYNTH PAD	Synth Pad 1 (bell strings)	2	
15		Acoustic Guitar (12strings)	2	50		Synth Pad 2 (piano)	2	
16		Electric Guitar (jazz)	1	51		Synth Pad 3 (seq.)	2	
17		Electric Guitar (clean1)	1	52		Synth Pad 4 (new age)	2	
18		Electric Guitar (clean2)	2	53		Synth Pad 5 (warm)	2	
19		Electric Guitar (clean3)	2	54		Synth Pad 6 (choir&string)	2	
20		Electric Guitar (12strings)	2	55		Synth Pad 7 (analog)	2	
21		Electric Guitar (muted1)	1	56		Synth Pad 8 (steam)	2	
22		Electric Guitar (muted2)	2	57		Synth Pad 9 (swish)	2	
23		Distortion Guitar 1	2	58		Synth Pad 10 (bell)	2	
24		Distortion Guitar 2	2	59		Synth Pad 11 (harpsichord)	2	
25		Distortion Guitar 3	2	60		Synth SFX 1 (soundtrack)	2	
26	BASS	Acoustic Bass	1	61		Synth SFX 2 (crystal)	2	
27		Electric Bass (finger1)	1	62		Synth SFX 3 (atmosphere)	2	
28		Electric Bass (pick)	1	63		Synth SFX 6 (sci-fi)	2	
29		Fretless Bass	1	64	ETHNIC	Banjo	1	
30		Slap Bass	1	65		Kalimba	1	
31		Synth Bass 1	1	66	OTHERS	Tinkle Bell	2	
32	Synth Bass 2	1	67	Breath		1		
33	STRINGS&ENS.	Tremolo Strings	2	68		Reverse Cymbal	1	
34		String Ensemble 1	1					

EL\*: エレメント数 (1キーに対応する発音数です。)

## 4. ドラム・キーアサインリスト

リズムトラックを選んだとき鍵盤に対応する楽器名です。

Note No.	Note	楽器名	Note No.	Note	楽器名
35	B 0	Bass Drum 2	66	F# 3	Low Timbale
36	C 1	Bass Drum 1	67	G 3	High Agogo
37	C# 1	Side Stick	68	G# 3	Low Agogo
38	D 1	Acoustic Snare	69	A 3	Cabasa
39	D# 1	Hand Clap	70	A# 3	Maracas
40	E 1	Rim Snare	71	B 3	Metronome Click L
41	F 1	Low Floor Tom	72	C 4	Metronome Click H
42	F# 1	Closed Hi-Hat	73	C# 4	Short Guiro
43	G 1	High Floor Tom	74	D 4	Long Guiro
44	G# 1	Pedal Hi-Hat	75	D# 4	Claves
45	A 1	Low Tom Soft	76	E 4	Hi Wood Block
46	A# 1	Open Hi-Hat	77	F 4	Low Wood Block
47	B 1	Low-Mid Tom	78	F# 4	Stick High
48	C 2	Hi-Mid Tom	79	G 4	Bass Drum 2
49	C# 2	Crash Cymbal 1	80	G# 4	Gated Bass Drum
50	D 2	High Tom	81	A 4	Gated Snare
51	D# 2	Ride Cymbal 1	82	A# 4	Shaker
52	E 2	Chinese Cymbal	83	B 4	Power Snare
53	F 2	Ride Bell	84	C 5	Power Rim Snare
54	F# 2	Tambourine	85	C# 5	Quarter Hi-Hat
55	G 2	Splash Cymbal	86	D 5	Analog Bass Drum
56	G# 2	Cowbell	87	D# 5	Analog Snare 1
57	A 2	Crash Cymbal 2	88	E 5	Analog Snare 2
58	A# 2	Reverse Cymbal	89	F 5	Analog Low Tom
59	B 2	Ride Cymbal 2	90	F# 5	Analog Mid Tom
60	C 3	Hi Bongo	91	G 5	Analog Hi Tom
61	C# 3	Low Bongo	92	G# 5	Analog CHH
62	D 3	Mute Hi Conga	93	A 5	Analog OHH
63	D# 3	Open Hi Conga	94	A# 5	Analog Hi Conga
64	E 3	Low Conga	95	B 5	Analog Low Conga
65	F 3	High Timbale			

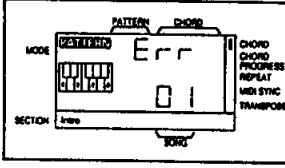
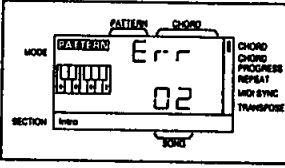
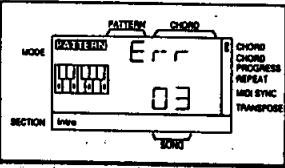
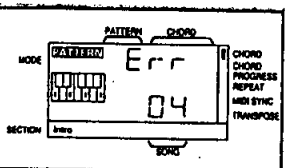
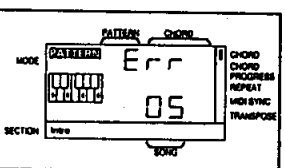
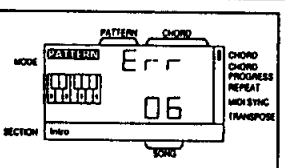
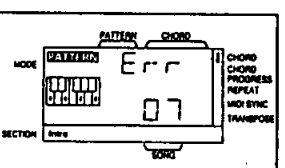
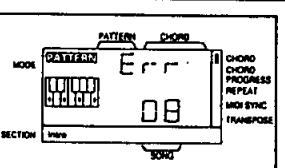
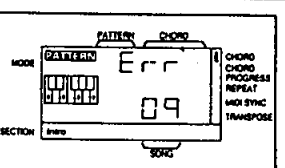
## 5. 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときには、まず次の項目をチェックしてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店または巻末の電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

症状	考えられる原因	参照ページ
電源が入らない	ACアダプターは、完全に差し込まれていますか? 乾電池は入っていますか? (ACアダプター未セット時) 乾電池の向きはあっていますか?	→P5, 11 →P11 →P11
音が出ない	ボリュームスライダーは上がっていますか? 各トラックのボリュームは上がっていますか? 各トラックがミュートされていませんか? 音を録音していないサンプリングボイスを選んでいませんか?	→P10 →P30, 51 →P20, 40 →P55
スピーカーから音が出ない	ヘッドフォンジャックに何かささっていませんか?	→P10
インプット入力しない	フットスイッチモードの設定がオンになっていませんか?	→P61
音が歪む	乾電池が消耗していませんか?	→P11
インプットした音が歪む	入力レベルが大きすぎませんか? 入力レベルの設定は正しくされていますか?	→P63 →P63
弾いたキーの音程が出ない	トランスポーズが0以外に設定されていませんか? コード入力状態になっていませんか? (指定したコードが和音で鳴ります。)	→P63 →P25
音が途切れる	全体の発音数が、最大同時発音数(28音)を越えていませんか?	→P64
[START/STOP]を押しても演奏がスタートしない	データの入っているパターンやソングを選んでいませんか? MIDIシンクの設定がオンになっていませんか?	→P18, 39 →P58
テンポが設定できない	MIDIシンクの設定がONになっていませんか?	→P58
拍子の設定ができない	すでにデータの入っているパターンの拍子を変えようとしていませんか?	→P44
ソングの再生中コードが変わらない	[CHORD PROGRESS]機能がオンになっていませんか?	→P25
フレーズが鳴らない。	パターンモードでは鳴りません。 (コードシフトキーとして動作します。)	
フットスイッチが動作しない。	フットスイッチモードの設定がオンになっていますか?	→P61
A B C機能が使えない。	A B CがOFFになっていませんか? A B Cゾーンは正しく設定されていますか?	→P59 →P60
バルクデータを受信しない。	ソングまたはパターンのメイン画面になっていますか?	→P55

## 6. エラーメッセージとその対応

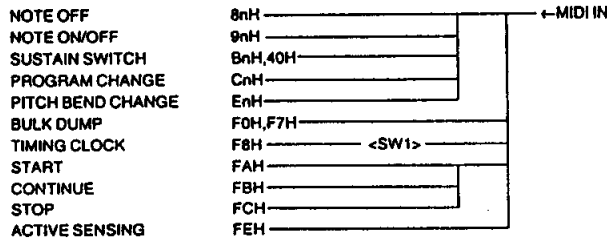
元の画面に戻るには[PATTERN/SONG]を押します。

ディスプレイの表示	原因
	<p>プリセットパターンまたはプリセットソングに録音しようとしています。 パターンナンバー、ソングナンバーを選び直してください。</p>
	<p>設定しようとした数値が正しくありません。正しい数値を設定してください。</p>
	<p>メモリーの残量が足りません。余分なデータを削除して、やり直してください。</p>
	<p>電池が寿命です。交換してください。(→P11)</p>
	<p>QR10に入ってくるMIDIデータの量が、QR10の処理能力を超えたときに表示されます。 送信側のデータ量を減らしてください。</p>
	<p>送られてきたMIDIのバルクデータの受信にエラーがありました。 QR10の受信状態を <b>PATTERN / SONG</b> を押してパターンモードやソングモードのメイン画面にします。 送信側の各種の設定を確認してもう一度送信し直してください。</p>
	<p>送信されてきたバルクデータはQR10では受信できないデータです。</p>
	<p>送信されてきたバルクデータが途中で来なくなりました。 もう一度データを送信し直してください。</p>
	<p>内蔵のリチウム電池が寿命です。交換してください。(→P5)</p>

# 7. MIDIデータフォーマット

## 1. 受信条件

### 1-1. 受信データ及び受信条件



<SW1> MIDI Sync On/Off  
Timing Clockとして内部Clockを使用するか又はMIDI INから入るClockを使用するかを選択する。

### 1-2. 受信データ詳細

#### 1-2-1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

\*一度FEHを受信すると、以後約400msec以上の間何も受信しなかった場合に発音している音と、SUSTAIN SWITCHを強制的にOFFする。

#### 1-2-2. チャンネルメッセージ

##### 1) NOTE OFF

STATUS	1000nnnn	(8nH)	n = 0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k = 0 (C-2)-127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvvv		vは無視 0-127

##### 2) NOTE ON/OFF

STATUS	1001nnnn	(9nH)	n = 0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k = 0 (C-2)-127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	(v≠0)	NOTE ON v = 1-127
	00000000	(v=0)	NOTE OFF

##### 3) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn	(BnH)	n = 0-8,10-15 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	01000000	(40H)	SUSTAIN SWITCH
CONTROL VALUE	0vvvvvvv		v = 0-63:OFF,64-127:ON

##### 4) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn	(CnH)	n = 0-8,10-15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp		p = 0-127

\*各VOICE CHANNELにおいて内部音源に対して有効なPROGRAM NUMBERは以下の通りである。

VOICE CH.No.	PROGRAM No.
0, 4-8, 10-15	0-71
1-3	0-70

71 = 1234

##### 5) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn	(EnH)	n = 0-8,10-15 VOICE CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvvv		PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvvv		PITCH BEND CHANGE MSB

\*チャンネルメッセージは、RECORD MODE においての受信は常にomni onとなる。

### 1-2-3. システムエクスクルーシブメッセージ

SONG MODE, PATTERN MODEの初期画面以外及び演奏中の受信は行わない。

#### 1) BULK DUMP

下記の4つのバルクダンプデータ全てが受信されなければなりません。その条件に合わない場合データを受信しても無視します。

##### (Tone Generator System)

STATUS	11110000	(F0H)
IDENTIFICATION	01000011	(43H)
SUB STATUS	00000000	(00H)
FORMAT NUMBER	01111110	(7EH)
BYTE COUNT(MSB)	0bbbbbbb	
BYTE COUNT(LSB)	0bbbbbbb	
CLASSIFICATION NAME	01001100 (4CH) ASCII'L 01001101 (4DH) ASCII'M 00100000 (20H) ASCII'_ 00100001 (21H) ASCII'` 00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010100 (54H) ASCII'T 01010011 (53H) ASCII'S	
DATA FORMAT NAME	00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010100 (54H) ASCII'T 01010011 (53H) ASCII'S	data bytes
DATA	0ddddddd   0ddddddd	
CHECK SUM	0eeeeeee	2's complement of 7 bits sum of all data bytes
EOX	11110111	(F7H)

##### (Sample Data)

STATUS	11110000	(F0H)
IDENTIFICATION	01000011	(43H)
SUB STATUS	00000000	(00H)
FORMAT NUMBER	01111110	(7EH)
BYTE COUNT(MSB)	0bbbbbbb	
BYTE COUNT(LSB)	0bbbbbbb	
CLASSIFICATION NAME	01001100 (4CH) ASCII'L 01001101 (4DH) ASCII'M 00100000 (20H) ASCII'_ 00100001 (21H) ASCII'` 00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010111 (57H) ASCII'W 01000100 (44H) ASCII'D	
DATA FORMAT NAME	00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010111 (57H) ASCII'W 01000100 (44H) ASCII'D	data bytes
DATA	0ddddddd   0ddddddd	
CHECK SUM	0eeeeeee	2's complement of 7 bits sum of all data bytes
EOX	11110111	(F7H)

##### (Sequencer System)

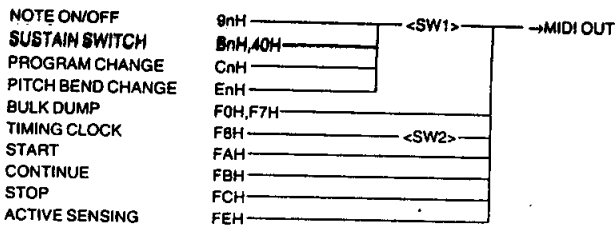
STATUS	11110000	(F0H)
IDENTIFICATION	01000011	(43H)
SUB STATUS	00000000	(00H)
FORMAT NUMBER	01111110	(7EH)
BYTE COUNT(MSB)	0bbbbbbb	
BYTE COUNT(LSB)	0bbbbbbb	
CLASSIFICATION NAME	01001100 (4CH) ASCII'L 01001101 (4DH) ASCII'M 00100000 (20H) ASCII'_ 00100001 (21H) ASCII'` 00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010011 (53H) ASCII'S 01010011 (53H) ASCII'S	
DATA FORMAT NAME	00110000 (30H) ASCII'0 00110001 (31H) ASCII'1 00110010 (32H) ASCII'2 00110011 (33H) ASCII'3 01010011 (53H) ASCII'S 01010011 (53H) ASCII'S	data bytes
DATA	0ddddddd   0ddddddd	
CHECK SUM	0eeeeeee	2's complement of 7 bits sum of all data bytes
EOX	11110111	(F7H)

(Sequence Data)		
STATUS	11110000	(F0H)
IDENTIFICATION	01000011	(43H)
SUB STATUS	00000000	(00H)
FORMAT NUMBER	01111110	(7EH)
BYTE COUNT(MSB)	0bbbbbbb	
BYTE COUNT(LSB)	0bbbbbbb	
CLASSIFICATION	01001100	(4CH) ASCII'L
NAME	01001101	(4DH) ASCII'M
	00100000	(20H) ASCII'_'
	00100000	(20H) ASCII'_'
DATA FORMAT	00110000	(30H) ASCII'0
NAME	00110001	(30H) ASCII'1
	00110010	(31H) ASCII'2
	00111011	(38H) ASCII'3
	01000010	(42H) ASCII'B
	01010011	(53H) ASCII'S
DATA	0ddddd	
	0ddddd	
CHECK SUM	0eeeeeee	2's complement of 7 bits sum of all data bytes
EOX	11110111	(F7H)

data bytes

2. 送信条件

2-1. 送信データ及び送信条件



<SW1> Track Mute On/Off  
Track毎に送信の On/Off を設定できる。  
Transmit Channel は Track 毎に固定されている。  
(0~3,6,7,9)

<SW2> MIDI Sync On/Off  
外部へTiming Clock を送信するかしないかの選択を  
します。

2-2. 送信データ詳細

2-2-1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

\*約180ms毎にFEHを送信する。

2-2-2. チャンネルメッセージ

1) NOTE ON/OFF

STATUS	1001nnnn	(9nH) n = 0-7,9
		VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk	k = 0 (C-2)-127 (G8)
VELOCITY	0vvvvvvv	(v≠0) NOTE ON v = 1-127
	00000000	(v=0) NOTE OFF

2) CONTROL CHANGE

STATUS	1011nnnn	(BnH) n = 0-3 VOICE CHANNEL NUMBER
CONTROL NUMBER	01000000	(40H) SUSTAIN SWITCH
CONTROL VALUE	0vvvvvvv	v = 0-127

3) PROGRAM CHANGE

STATUS	1100nnnn	(CnH) n = 0 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp	p = 0-127

4) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn	(EnH) n = 0-7 VOICE CHANNEL NUMBER
LSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE LSB
MSB	0vvvvvvv	PITCH BEND CHANGE MSB

2-2-3. システムエクスクルーシブメッセージ

1) BULK DUMP

内容は受信データ一覧のものと同じ。  
4種類のバルクデータが順次送信される。

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default Channel Changed	1 - 8,10 x	1 - 16 x	memorized
Mode Default Messages Altered	3 x *****	3 x x	
Note Number : True voice	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
Velocity Note ON Note OFF	o 9nH, v=1-127 x 9nH, v=0	o 9nH, v=1-127 x	
After Touch Key's Ch's	x x	x x	
Pitch Bender	o	o 0-2 semi	
Control Change	0-63 x 64 o 65-120 x	x o x	Sustain
Prog Change : True #	o 0 - 127 *****	o 0 - 127	
System Exclusive	o	o	song data etc.
System : Song Pos. : Song Sel. Common : Tune	x x x	x x x	
System :Clock Real Time :Commands	o o	o o	*1
Aux :Local ON/OFF :All Notes OFF Mes- :Active Sense sages:Reset	x x o x	x x o x	

Notes: \*1 = receive clock at MIDI sync mode.

Mode 1 : OMNI ON, POLY      Mode 2 : OMNI ON, MONO      o : Yes  
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY    Mode 4 : OMNI OFF, MONO    x : No



## 9. 50音順索引

## ア

アカンパニメントトラック .....	7
エグジット .....	9
ABC .....	59
エラーメッセージ .....	69
オクターブ .....	10
音符分解能 .....	27, 43

## カ

クオンタイズ .....	27, 43
コードシフト .....	16
コードプログレス .....	25
コピー .....	31, 52
クリア .....	32, 53
コンビネーションパターン .....	38, 49

## サ

サンプリングボイス .....	55
サンプリング録音 .....	55
小節 .....	45
スイング .....	54
セクション .....	23
ソング .....	17

## タ

デモ演奏 .....	12
デリート .....	29, 46
電源アダプター .....	5, 11
テンポ .....	22, 43
トラック .....	9, 20, 40
トラックミュート .....	20, 40
トラックボリューム .....	51
ドラムボイス .....	67
トランスポーズ .....	63

## ナ

入力レベル .....	63
-------------	----

## ハ

拍子 .....	44
プリセットソング .....	17, 65
プリセットパターン .....	38, 65
フレーズ .....	19

## マ

ミュート .....	20, 40
メジャー .....	45
メロディトラック .....	26
モード .....	7
MIDI ABC .....	59
MIDIシンク .....	58
メイン画面 .....	55

## ヤ

ユーザーパターン .....	38, 41
----------------	--------

## ラ

リアパネル .....	10
リアルタイム録音 .....	24
リチウム電池 .....	5
リピート .....	33
レコードスタンバイ .....	21

## サービスについて

### ユーザーサポートサービスのご案内

このたびは、ヤマハQR10をお買い求めいただきましてありがとうございます。

ヤマハデジタル商品は、常に新技術・高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担と煩わしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究・改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどの色々な知識や経験を必要としてしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない。」「手順通りに動作しない。」「記載が見つからない。」といったさまざまな問題が起る場合があります。そのようなお客様への一助となるよう弊社では、デジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。お気軽にご利用いただきますようご案内いたします。

### ユーザーサポートサービスについて

ヤマハデジタルインフォメーションセンターでは、デジタル楽器の使用法やトラブルなどについて、電話による質問をお受けいたします。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ずお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

ヤマハデジタルインフォメーションセンター

TEL 03-3770-4486

◆受付日 月曜日～金曜日（祝日および当社の休業日を除く）

◆受付時間 10:30～13:00 / 14:00～17:00

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。（現金、ローン、月賦などによる区分はございません。）  
また保証は日本国内においてのみ有効といたします。

### ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買上月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

### ●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様にご購入の日から向こう1ヶ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますよう充分ご配慮の上で保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。

後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認などで便利にご利用頂けます。

### ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合お買上店にご連絡いただきますと、技術者が修理・調整いたします。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買上店より遠方に移転される場合は、事前にお買上店あるいは電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続きいたします。**満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。**なお、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

### ■ヤマハ電気音響製品サービス拠点 [修理受付および修理品お預かり窓口]

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 (ヤマハセンター内)	Tel: (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 (仙台卸商共同配送センター3F)	Tel: (022) 236-0249
新潟サービスセンター	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F	Tel: (025) 243-4321
東京サービスセンター	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F	Tel: (03) 3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	Tel: (044) 434-3100
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 [ヤマハ(株)宮竹工場内]	Tel: (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 [ヤマハ(株)名古屋流通センター3F]	Tel: (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 [ヤマハ(株)千里丘センター内]	Tel: (06) 877-5262
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7 [ヤマハ(株)高松店内]	Tel: (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原2-27-39	Tel: (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	Tel: (092) 472-2134
本社カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 [ヤマハ(株)宮竹工場内]	Tel: (053) 465-1158

### ■デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道支店LM営業課	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 (ヤマハセンター内)	Tel: (011) 512-6113
仙台支店LM営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10	Tel: (022) 222-6147
東京支店LM営業課	〒104	東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル	Tel: (03) 3574-8592
名古屋支店LM営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	Tel: (052) 201-5199
大阪支店LM営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋ブラザビル東館	Tel: (06) 252-5231
広島支店LM営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	Tel: (082) 244-3749
九州支店LM営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	Tel: (092) 472-2130
国内営業推進本部LM営業部 デジタル楽器営業課	〒104	東京都中央区銀座7-9-18 パールビル	Tel: (03) 5568-2935

\*住所及び電話番号は変更になる場合があります。